

学校保健活動 推進マニュアル



財団法人 日本学校保健会

まえがき

近年における都市化、情報化など社会環境や生活様式の変化、自然環境の変化、少子化などが子供の身体的活動・遊びの減少、食生活の変化、精神的負担の増大、人間関係の希薄化などをもたらし、さらには家庭や地域の教育力の低下をもたらすなど子供の心身の健全な発育・発達に様々な影響を与えています。このような複雑、多様化している子供の心身の健康課題の他、いじめや不登校など生徒指導の課題に関しても心の健康とのかかわりから、保健主事が積極的にその役割を果たし、学校における健康教育の充実と指導体制の一層の強化を図ることが急務となっています。

このような状況の中で、保健主事の資質向上が緊急な課題となっており、これまで、本会保健主事資質向上委員会では、「保健主事の手引（改訂版）」及び「学校保健委員会マニュアル」等を発刊し、啓発に努めて参りました。

これらの成果を元に、平成12年度には保健主事及び校長に対する実態調査を実施、平成13年度に報告書を作成しました。調査結果では、学校保健と学校教育全体との調整や保健管理の適切な実践がよく行われているが、他の項目、とりわけ学校保健の評価が十分ではない状況が明らかとなりました。

そこで、今年度は、それらの調査結果を受け、各学校での保健活動充実のため、本書「学校保健活動推進マニュアル」を作成しました。各学校において、これまで発刊した資料と併せて本書を活用することにより、保健主事を要とした各学校における保健活動の一層の推進が図られるよう期待しています。

末尾となりましたが、本書の作成にご協力いただきました委員の方々並びに関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成15年 2 月20日

財団法人日本学校保健会
会長 矢野 亨

目 次

まえがき	1
I 保健主事の役割を確かめ、学校保健活動を推進しましょう	1
1 学校保健活動を学校の教育計画に位置付けましょう	1
2 学校保健活動推進の要となる保健主事の役割を確かめましょう	1
(1) 保健主事は、学校保健活動の企画・調整に当たります	1
(2) 保健主事の基本的な役割を確認しましょう	2
(3) 保健主事の具体的な役割を示しました	3
3 児童生徒の健康課題が学校課題として推進できるようにしましょう	5
(1) 児童生徒の健康に関する課題を把握しましょう	5
(2) 学校運営の年度の重点に健康課題を位置付けましょう	6
(3) 健康課題解決の推進事例を示しました	7
4 校内推進体制の確立を図りましょう	8
5 家庭や地域社会との連携の下に課題解決を目指しましょう	9
II 児童生徒の健康な心と体をはぐくむ学校保健計画の作成とその実施を推進しよう	10
1 学校保健活動は、学校保健計画に基づいて行われます	10
(1) 学校保健計画の作成は「学校保健法」に定められています	10
(2) 学校保健計画は「保健」に関することが中心となります	11
(3) 学校保健計画の作成と実施は、学校教育の円滑な実施に役立ちます	11
2 保健主事は 学校保健計画の作成とその実施の推進について連絡、調整します	16
(1) 学校保健活動の評価結果を生かし、実態を踏まえた計画にしましょう	17
(2) 保護者・関係機関等の意見も生かし、支援・協力の意識を高める計画にしましょう	18
(3) 学校保健計画の内容が教職員に理解されるよう、作成の過程を大切にしましょう	19
(4) 個に応じた行き届いた指導ができるよう、連絡・調整に努めましょう	22
3 学校保健計画の実施は全ての教職員で進めます	24
(1) 学校保健計画の実施には、次のようなことがそれぞれの教職員に求められます	24
(2) 運営上の観点や実施に当たっての配慮事項を理解し、円滑な実施に努めましょう	26
III 保健教育は計画的・継続的に実施しましょう	27
1 保健主事の企画・調整で保健教育の充実が期待できます	28
2 保健教育の現状と課題を知りましょう	29
(1) 調査の結果でこのようなことがわかりました	29
3 保健主事の役割をもとに課題解決に取り組みましょう	31
(1) 保健指導の充実を目指します	31
(2) 保健指導の題材名と指導時期を学年ごとに示しました	32
(3) 指導過程を工夫し問題の解決を図ります	34

(4) 体育・健康に関する指導の趣旨を理解し保健指導の充実を図りましょう	36
(5) 指導のための資料や教材はたくさんあります	38
Ⅳ 保健管理を適切に進めましょう	40
1 保健管理を適切に進めるに当たって、次のことに留意しましょう	41
2 保健管理を推進していく上で次のような課題があります	43
3 養護教諭と連携協力して課題の解決を図りましょう	44
4 問題解決の実践例を参考にしてください	45
(1) 健康観察と指導者（教員）の果たすべき役割	45
(2) 健康観察の方法	46
(3) 健康観察結果の活用	46
5 定期健康診断の結果の生かし方	49
6 快適な学校生活が送れるよう、環境衛生活動に取り組んでいきましょう	50
(1) 学校環境衛生の目的と管理	50
(2) 環境衛生活動と保健教育	50
(3) 生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動	51
7 保健集会の実践例を紹介します	54
8 学校環境衛生活動として取り上げる小学校のコンポスト活用例があります	56
Ⅴ 学校保健に関する組織活動を推進しましょう	57
1 学校保健の組織・体制を整備・充実させます	57
(1) 円滑に推進するためには、次のような観点到留意することが必要です	57
(2) 企画力とリーダーシップが求められます	58
(3) 学校保健委員会の開催は学校保健活動を活性化します	58
2 組織活動の推進には、次のような課題があります	58
(1) あまりよく行われていない現状があります	58
(2) いくつかの課題があります	59
(3) 課題解決のための実践例を参考にしてください	60
Ⅵ 評価することで自校の学校保健活動のよさを引き出します	77
1 評価を生かした学校保健活動の実践が大切です	77
2 学校保健活動は評価から始まります	77
3 いくつかの課題があります	78
4 学校保健活動の評価は次のように進めます	79
(1) 分かりやすい方法で評価します	79
(2) 評価にはいくつかの方法があります	79
(3) タイムリーに評価します	80
(4) 評価は手順よく進めましょう	81
5 保健主事としての自己評価をしてみましょう	82
6 さまざまな評価の事例があります	85
保健主事資質向上委員会名簿	97

I 保健主事の役割を確かめ、学校保健活動を推進しましょう

1 学校保健活動を学校の教育計画に位置付けましょう

児童生徒の心身の健康の保持増進を図ることは、学校教育に課せられた重要な課題であり、それらの課題解決のため、学校保健活動の一層の充実が求められています。

学校保健活動は、保健教育と保健管理の諸活動を通して、児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育目標の実現に寄与することを目指して行われるものです。

したがって、学校の教育計画全体の中に学校保健が適切に位置付けられ、全教職員の共通理解の下で、家庭や地域の関係機関・団体等との連携を図った組織的な取組を行うことが必要となります。

近年、児童生徒の心身の健康課題が深刻かつ多様になっている現状の中で、学校保健の要となる保健主事（主任等を含む。以下同じ。）に大きな期待が寄せられています。

2 学校保健活動推進の要となる保健主事の役割を確かめましょう

保健主事の役割は、学校保健に関する計画の立案とその円滑な実施を図るための連絡調整にあります。このことは、学校教育法施行規則にも規定されていますが、近年児童生徒の心身の健康問題が複雑、多様化し、とりわけいじめの問題をはじめとする生徒指導上の諸問題への対応についても期待が増してきています。こうした中、学校保健活動の企画・調整に当たる保健主事の役割は、学校教育目標の具現化を図り「生きる力」をはぐくむ上からも、ますます大きいものといえます。

(1) 保健主事は、学校保健活動の企画・調整に当たります

保健主事の役割は、学校教育法施行規則第22条の4第3項に規定される「保健に関する事項の管理に当る」ことです。ここでいう「管理」は、「いわゆる管理・監督ではなく、学校保健活動全体の『企画・調整』に当るということであり、調整の中には学級担任等への指導・助言も含まれる。」（保健主事の手引（改訂版）P. 8）とされております。

第22条の4 小学校においては、保健主事を置くものとする。ただし、特別の事情のあるときは、これを置かないことができる。

2 保健主事は、教諭又は養護教諭をもって、これに充てる。

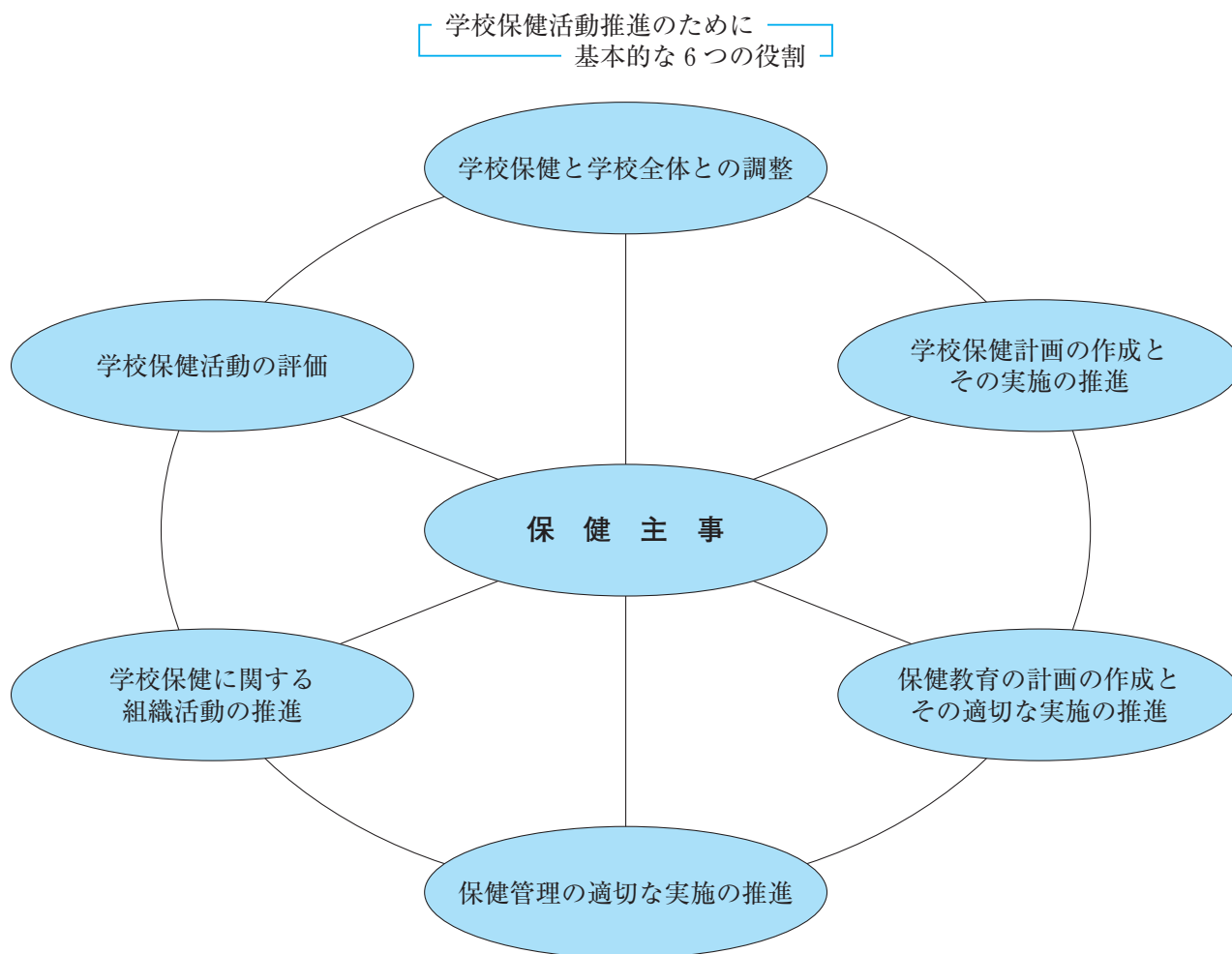
3 保健主事は、校長の監督を受け、小学校における保健に関する事項の管理に当る。

保健主事の重要性と資質の向上については、平成9年9月に出された文部省保健体育審議会の答申においても健康に関する指導体制の要となることが提言されています。

保健主事は、健康に関する指導体制の要として学校教育活動全体の調整役を果たすことのみならず、心の健康問題や学校環境の衛生管理など健康に関する現代的課題に対応し、学校が家庭・地域社会と一体となった取組を推進するための中心的存在としての新たな役割を果たすことが必要です。

(2) 保健主事の基本的な役割を確認しましょう

学校保健活動を推進するための基本的役割としては、次の6つが示されています。



(3) 保健主事の具体的な役割を示しました

保健主事の基本的な役割として、6項目を示しましたが「保健主事の手引（改訂版）」では、さらにそれぞれの職務を充実させるために、具体的な役割についても示しています。これらは、活動を進めていく上で、重要な手掛かりになるものです。以下に紹介します。

具体的な役割

役割 1

学校保健と学校教育全体との調整

1. 健康状態・健康生活の把握
2. 健康問題を学校運営の重点に
3. 学校保健の位置付け
4. 役割分担の調整をする
5. 教務主任や教科主任との連携

役割 2

学校保健計画の作成とその実施の推進

6. 学校保健の評価記録を生かす
7. 児童生徒の実態を生かす
8. 保護者、関係機関等の意見も生かす
9. 保健指導の時間の適切な確保
10. 学校保健計画の作成過程を大切に
11. 個に応じた指導の調整

役割 3

保健教育の計画作成とその適切な実施の推進

12. 学年ごとの題材名等の明確化
13. 題材ごとの指導計画を作成
14. 特別活動主任などとの調整
15. 保健学習と保健指導との関連
16. 指導資料の整備と活用

役割 4

保健管理の適切な実施の推進

- 17. 毎朝の健康観察
- 18. 児童生徒の心身の状態を把握
- 19. 定期健康診断の意識付け
- 20. 学校環境衛生の定期検査・日常点検の適切な実施
- 21. 適切な環境の維持・改善
- 22. 美化活動の推進
- 23. 保健指導の計画や指導の改善に生かす
- 24. 定期の健康診断や検査後の教職員との懇談
- 25. 健康診断後の学校医、学校歯科医との懇談
- 26. 定期検査後の学校薬剤師との懇談

役割 5

学校保健に関する組織活動の推進

- 27. 校務分掌組織との連携による活動の実施
- 28. 学校保健に関する校内研修
- 29. 保護者に対する啓発方法の工夫
- 30. 関係機関や団体との連携
- 31. 学校保健委員会の組織化と運営

役割 6

学校保健活動の評価

- 32. 評価の目的の明確化
- 33. 評価の対象事項（保健教育、保健管理、組織活動）の明確化
- 34. 評価の基準の明確化
- 35. 評価の時期の明確化
- 36. 評価に関する全教職員の理解・協力
- 37. 評価の結果を次の計画と活動に生かす

3 児童生徒の健康課題が学校課題として推進できるようにしましょう

児童生徒の健康課題の解決を図ることは、各学校の学校教育目標の実現に直接かかわるものであり、当然のことながら、学校保健活動の充実につながることになります。

このため、保健主事は、学校全体で児童生徒の健康課題に取り組むことができるよう、学校保健活動と学校の教育活動全体との企画調整や学級担任等への指導助言に当たることなどが強く求められています。

(1) 児童生徒の健康に関する課題を把握しましょう

近年、児童生徒を取り巻く社会環境や生活様式が大きく変貌し、児童生徒の心身の健康に大きな影響を与えていることが指摘されています。例えば、食生活を始めとする生活習慣の乱れや生活習慣病の兆候、性やエイズの問題、喫煙、飲酒、薬物乱用の問題、心の健康の問題などです。これらの課題については、新しい学習指導要領でも、体育・保健体育科はもちろん学校教育活動全体を通じて、心身の健康の保持増進に関する教育を進めるよう強調しています。

したがって、保健主事は、養護教諭等と連携し、児童生徒の健康診断結果、保健意識や保健行動の実態、児童生徒を取り巻く家庭や地域社会も含めた健康問題、全国的に共通する健康問題等の実態について把握し、児童生徒の実態や発達段階等を考慮しながら、具体的な指導目標や重点の設定につなげることが大切です。

例えば、次のような課題が把握できます。

○児童生徒の健康診断結果から

- ・むし歯や歯肉炎などの歯・口の健康問題
- ・肥満ややせの傾向
- ・視力低下の問題
- ・アレルギー性疾患
- ・生活習慣病の兆候

○調査結果や保健意識・保健行動の観察等から

- ・朝食の欠食、好き嫌いの多い食生活
- ・睡眠の不足等
- ・健康的でない生活リズム
- ・運動や外遊びの不足
- ・生活習慣病の兆候
- ・不登校やいじめなどの問題
- ・不定愁訴、精神疾患等

○児童生徒を取り巻く家庭や地域社会も含めた健康問題から

- ・生活習慣の乱れ
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用等の問題
- ・性やエイズの問題
- ・食中毒、O157腸管出血性大腸菌感染症
- ・インフルエンザ、赤痢、結核等

○全国的に共通する問題その他

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用等の問題
- ・基本的な生活習慣の乱れの問題
- ・生活習慣病の兆候
- ・環境化学物質の問題

等

(2) 学校運営の年度の重点に健康課題を位置付けましょう

保健主事は、前記のような多くの課題の中から、児童生徒や学校、地域社会の実情等を勘案し、その年度の重点とすべきものを決定し、保護者や地域の関係機関・団体等の協力を得て、年間を通じて継続的、組織的に学校保健活動を進めます。

重点を設定する際には、養護教諭と連携し、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の指導助言を受けて教職員の保健部等で原案を作成し、学校保健計画（案）に必要な事柄を盛り込み、職員会や学校保健委員会での検討や共通理解を経て、実践に移されるようにすることが必要です。

そのためには、現在の自校の児童生徒の健康実態が、全国的な水準や具体的な目標値、都道府県や市町村の水準や具体的な目標値、過去の自校の実態、地域社会の現状から予想される課題などに照らして、どのような課題がより深刻かつ緊急であり、学校全体として緊急に取り組む必要があるかということについて国や都道府県の状況なども勘案し、十分検討することが必要です。

例えば、健康診断結果については、文部科学省の学校保健統計等との比較が可能であり、平成12年に厚生労働省で公表した「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」の目標値なども参考にできます。

「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」目標値等

*児童生徒関連抜粋（抄）

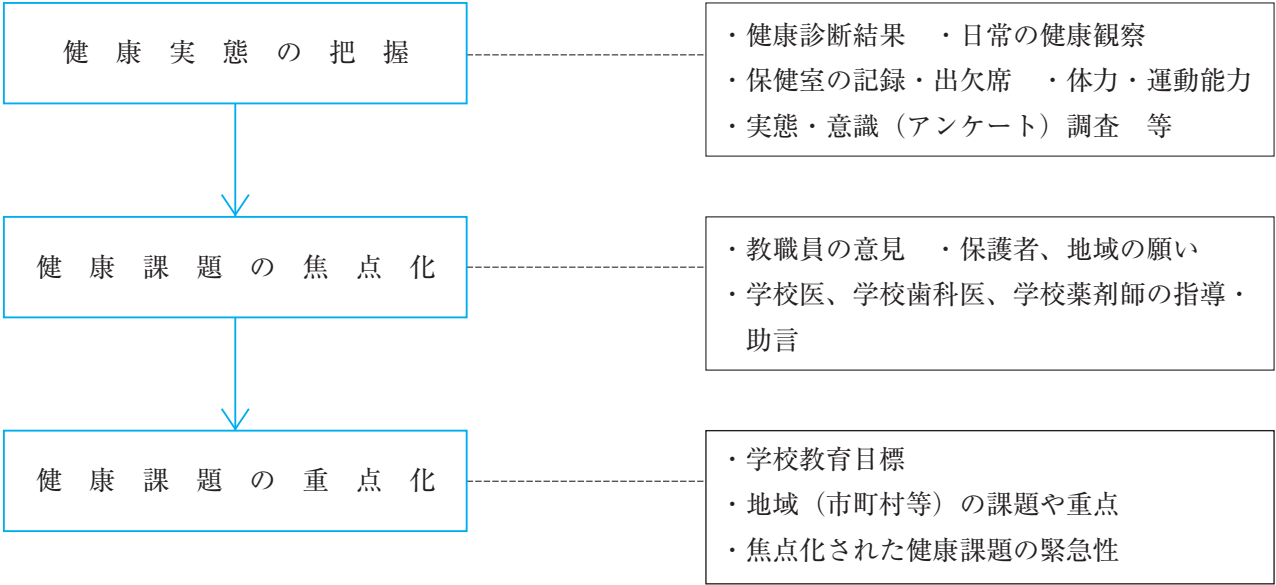
—2010年の目標値—

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ○児童生徒の肥満
(日比式による標準体重の20%以上) | 7%未満 |
| ○12才児における1人平均う歯数 | 1歯以下 |
| ○学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合 | 90%以上 |
| ○学齢期において過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けた者の割合 | 30%以上 |
| ○未成年の喫煙をなくす。 | |
| ○未成年の飲酒をなくす。 | |

—個人目標例—

- 外遊びや運動・スポーツを実施する時間を増やす。
- テレビを見たり、テレビゲームをするなどの非活動的な時間をなるべく減らす。

健康課題の重点づくり作成手順

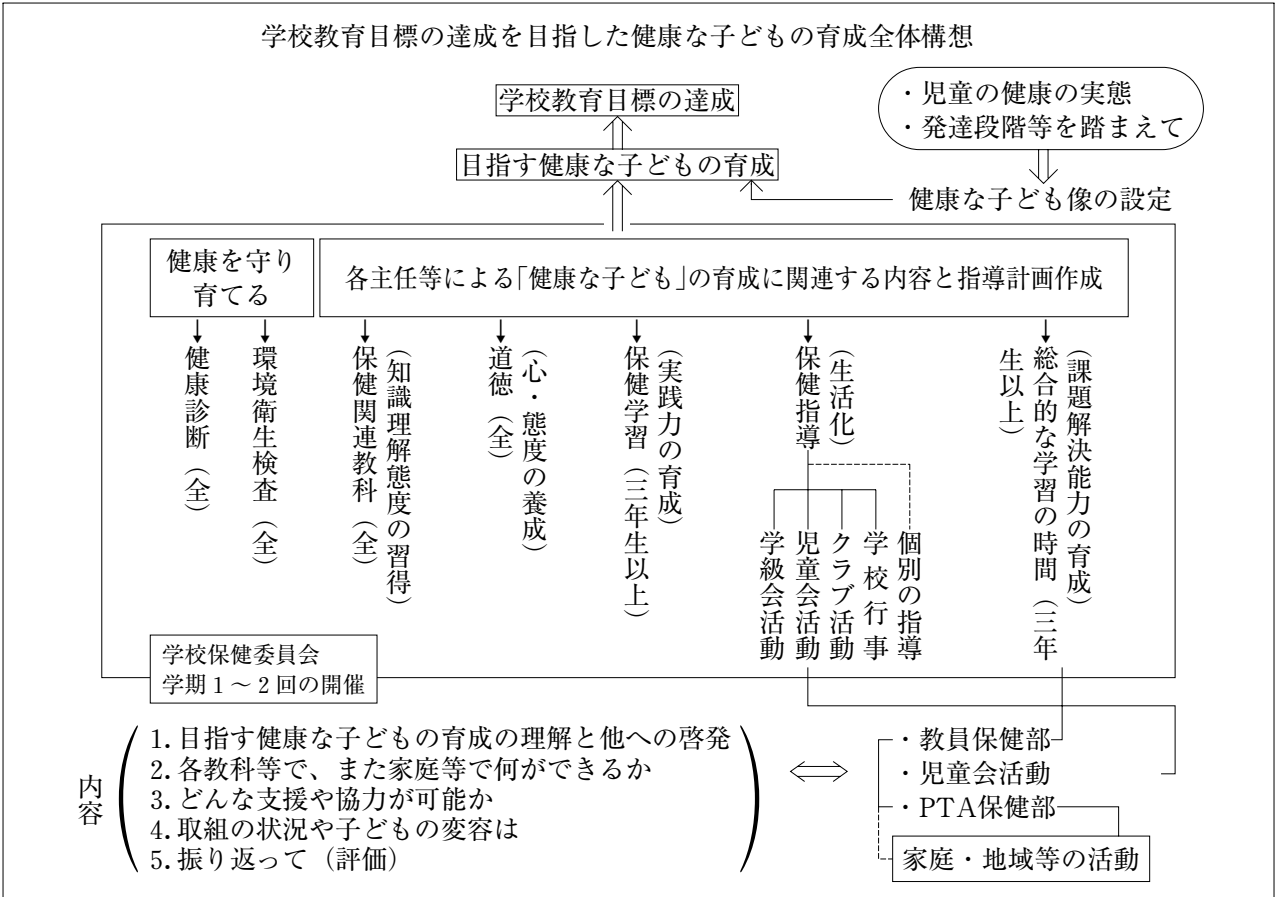


(3) 健康課題解決の推進事例を示しました

学校運営の重点に健康課題が位置付けられ、その取り組みが明確になれば教職員の理解を得やすく、また、一人一人の果たす役割も具体的に示すことができます。

保健主事は、目指す健康な子どもの育成にかかわる事柄について、全体構想を示し、教職員の共通理解と学校教育目標を具現化する形で具体的な活動を促すようにしましょう。

〇〇小学校の例



4 校内推進体制の確立を図りましょう

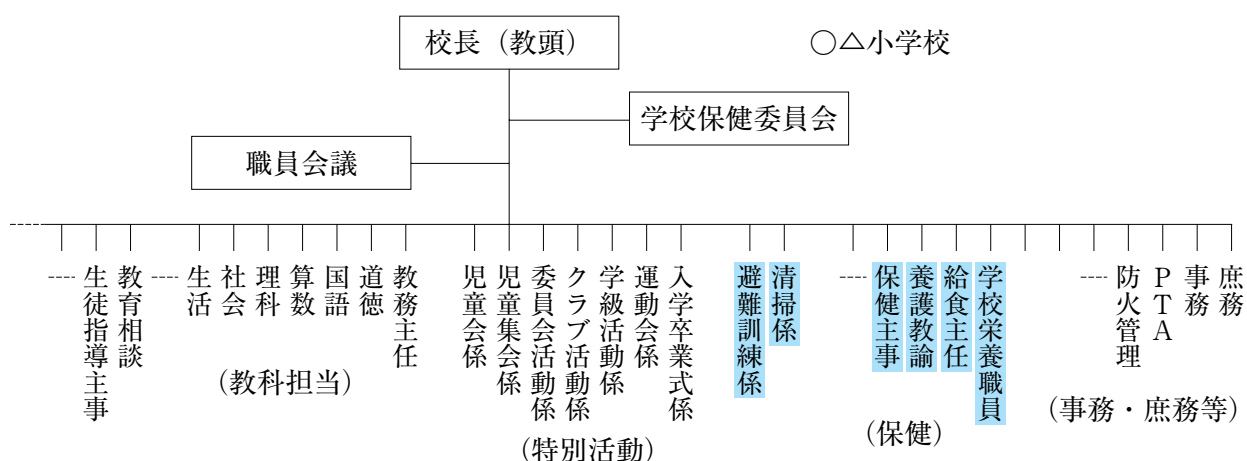
学校における保健管理と保健教育が有機的に関連付けられ、その成果を挙げるには教職員が役割分担し、協力して組織的に活動を展開することが重要です。

しかしながら、学校保健と教育活動全体との調整を行う上で、保健主事が困っているという回答では、中、高等学校で「運営組織の不備」が第1位、小学校でも第3位となっています。また、職務多忙、他教員の協力不足、自分の努力不足などが挙げられ、保健主事が独りで学校保健を担い、大変な重荷となって円滑に推進できない原因となっていることが伺えます。

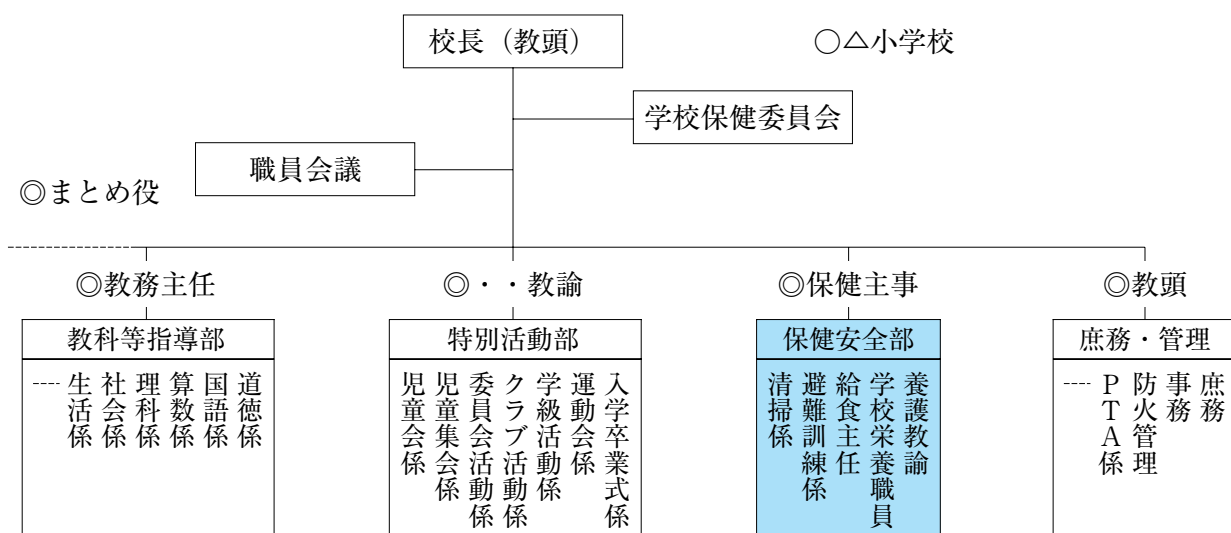
そのような現状を打開するためには、保健主事を孤立させないように、学校運営組織の中に、保健部、保健安全部、健康指導部などを位置付けるとともに、複数の者で互いに協力して、他の校内組織、例えば、生徒指導部、特別活動部、教育相談部、いじめ・不登校対策委員会等との綿密な連携を図るなど、皆で保健主事に支援・協力して学校保健活動の円滑な推進に努める必要があります。

次に、改善の一例を紹介します。

(旧) 課題：係制でなかなか相談もできず、協力体制が組めない。



(新) 改善内容：部制にし、まとめ役を決め、複数の者で構成。相談や協力がしやすくなった。



5 家庭や地域社会との連携の下に課題解決を目指しましょう

児童生徒にとって家庭や地域社会は、生活の大半を過ごすところです。したがって、健康状態に大きな影響を及ぼすことになります。学校保健活動を効果的に推進していく上で、家庭や地域との連携は実践力や習慣化を図るのに大切です。また、健康に関する現代的な課題に対応するためには、その連携を緊密にすることが重要となります。

次のような視点をもとに、家庭や地域社会との連携を推進しましょう。

- ・家庭は、保健に関する基礎的なしつけの場です。
- ・健康の保持増進に関する活動は、実践することによって継続され積み上げられます。
- ・学校保健活動は、家庭や地域の関係機関等の協力が必要です。
- ・学校保健委員会の組織や運営の在り方を問題解決型に工夫し、活性化を図ります。

積極的な連携は、学校教育目標の実現に寄与します

今、地域に開かれた学校としての役割が求められています。地域・家庭との積極的な連携は、学校教育への理解・支援にもつながり、教育の活性化が期待できます。

- 児童生徒に健康な生活についての理解を深めることができます。
- 学校がコミュニティーの中心として役割を高めます。
- 多くの関係機関との連携が拡大し、次の円滑な活動につながります。
- 他の機関の実践等を、学校保健の研修として学ぶ機会がもてます。
- 自校の学校保健を見直すと同時に、新しい情報、組織運営などについて視野が広がります。

そのため、保健主事が中心となって、学校保健活動を家庭・地域に理解され、協力が得られるように啓発活動を行います。また、地域や関係機関へ直接出向き、日常のコミュニケーションを図るなど日頃から連絡調整に努めるようにします。

Ⅱ 児童生徒の健康な心と体をはぐくむ学校保健計画の作成とその実施を推進しよう

学校保健計画は、全校的な立場から、年間を見通した保健に関する諸活動の総合的な基本となる計画です。

保健主事には、教職員の理解と協力の下、学校保健計画の作成とその実施について企画・調整し学校保健活動の円滑、適切な推進に努めることが求められています。

1 学校保健活動は、学校保健計画に基づいて行われます

(1) 学校保健計画の作成は「学校保健法」に定められています

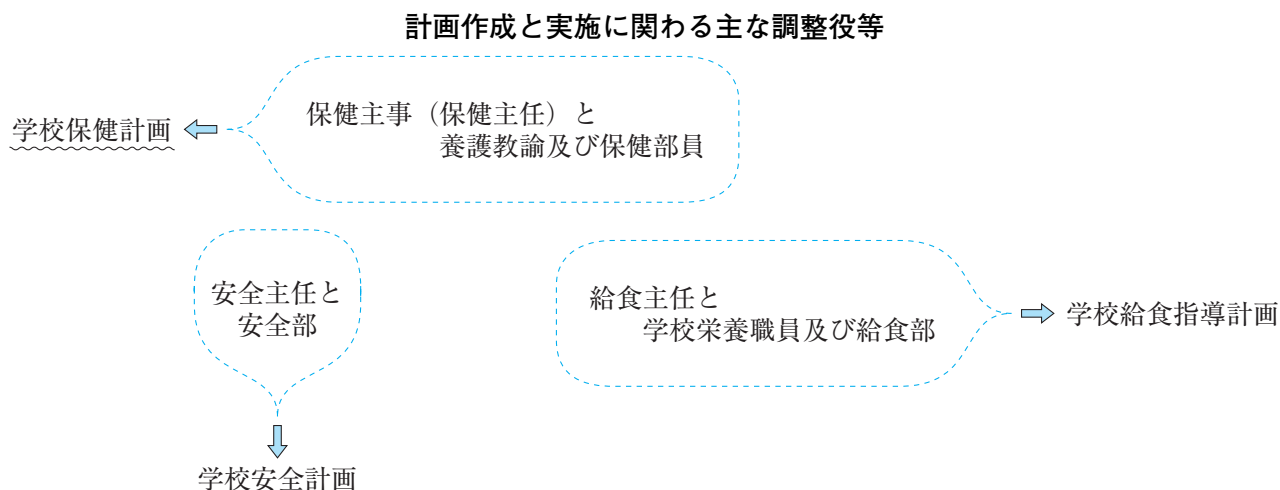
学校における保健管理及び安全管理に関し、必要な事項を定めてあるのが「学校保健法」です。その2条には、次のように、学校保健計画の作成を規定しています。

学校においては、児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施しなければならない。

※ 学校教育法（第12条）「学校においては、別に法律で定めるところにより、学生、生徒、児童及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。」として定められた「特別法」が学校保健法です。

(2) 学校保健計画は「保健」に関することが中心となります

子どもの複雑、多様化、深刻化する健康問題に適切に対応するため、学校保健計画は、学校安全計画とは別個に作成する必要があります。これによって、保健主事の職務の内容等が明確になり、学校保健活動の充実が期待できます。



(3) 学校保健計画の作成と実施は、学校教育の円滑な実施に役立ちます

学校における保健教育と保健管理、そして学校保健委員会等の組織活動などを内容とする学校保健計画は、その実施によって、児童生徒の健康の保持増進を図り、学校教育目標の具現化に資するものです。

なお、「総合的な学習の時間」の健康関連分野の取組は、保健教育等と相俟って、学校教育の円滑な実施に一層の効果が期待できます。

学 校 保 健 計 画 (例)

※保健目標 心身ともに健康で明るい生活を送る実践力を養う

区分 月	月の重点	学校保健 関係行事	保 健 管 理		保 健 学 習	
			対 人 管 理	対 物 管 理	体 育 保健領域	関 連 教 科
4	自分のからだを知ろう 学校をきれいにしよう	・ 定期健康診断 ・ 大掃除	・ 保健調査や健康観察の要領の確認 ・ 健康診断と事後措置 ・ 身体計測 ・ 内科検診 ・ 歯科検診等 ・ 治療勧告 ・ 健康相談の実施	・ 清掃計画配布 ・ 大掃除 ・ 飲料水検査 [定期] ・ 机、椅子の整備等	3 年 (4 時間) ・ 毎日の生活と健康	1 年〈生活〉 ・ ともだちをつくろう 5 月〈家庭〉 ・ 協力して楽しく生活しよう
5	病気を早く治そう 清けつな環境をつくろう	・ 定期健康診断 ・ 家庭訪問 ・ 校外学習 ・ 学校保健委員会	・ 健康診断と事後措置 ・ 1 年生歯みがき指導 ・ 治療勧告 ・ 職員健康診断 ・ 健康相談	・ 机、椅子の整備等 ・ 飲料水検査 ・ 照度・照明環境 ・ 騒音環境及び騒音レベル ・ 学校の清潔	5 年 (5 時間) ・ けがの防止	1 年〈生活〉 ・ がっこうたんけんをしよう ・ あさがおをそだてよう 5 年〈理科〉 ・ 魚の育ち方 6 年〈理科〉 ・ 人と動物のからだ 6 年〈家庭〉 ・ 生活時間や買物の工夫をしよう

○「総合的な学習の時間」の健康の扱いについては健康に関する認識を深めたり、健康な生活を送る実践力を育成したりすることが期待できることから保健学習の欄に位置付けた。

○学級活動に学年ごとの保健指導を位置付けた。

○児童生徒の健康の実態に応じて実施する個別指導を「聞いてみよう、自分の健康」として、児童生徒の側から受け入れられやすい名称とした。

保 健 教 育	道 徳 (内容)	保 健 指 導			組 織 活 動
		学 級 活 動	個別指導 日常指導	児 童 会 (保健)	
総合的な学習 (健康の分野)					
5、6年生 オリエンテー ション 5年 見つけよう、 心や体にいい こと 6年 自分を見つめ て「より健康 な自分づく り」	1年、2年、3 年 ・節度ある生活 5年 ・思いやり、親 切	1年 ・さそいにのらない ・おいしいきゅうしょく 2年 ・じょうずなそうじ 3年 ・そうじのやりかた 4年 ・そうじの仕方の工夫 5年 ・学校をきれいにしよう 6年 ・清掃オリエンテーショ ン 全学年 ・健康診断の受け方	・清掃指導 ・歯みがき 指導 ・治療勧告 ・「きいて みよう自 分の健 康」 ・個別指導 の指導体 制を整え て随時行 う	・委員会の みんなと 活動の予 定 ・全校への お知らせ づくり ・ポスター づくり (月の重点 に向けて)	(職員) ・学校保健計画の 理解と確認を含 めた研修 ・実施及び評価等 の役割分担 ・保健だより及び 月間計画等の発 行 ・健康診断の確認 (P) 組織編成 ・学校保健計画の 理解と活動計画 の作成 ・4月行事等の評 価と5月の計画 確認
5年 見つけよう、 心や体にいい こと 6年 自分を見つめ て「より健康 な自分づく り」	1年 節度ある生活、 態度 2年 礼儀 4、5、6年 信頼、友情	1年 ・きゅうしょくとうばん をがんばろう 2年 ・えんそくを楽しく 3年 ・私たちの体 4年 ・食事の衛生 5年 ・心と体の成長 ・初経と精通 6年 ・給食とマナー 全学年 ・体や衣服を清潔にしよ う	・トイレの 使い方 ・歯みがき 指導 ・治療勧告 ・基本的な 生活のあ り方「き いてみよ う自分の 健康」の 個別指導 を随時行 う	・月の重点 に向かっ て集会活 動 ・学校保健 計画の全 校へのお 知らせ ・学校保健 委員会提 言資料作 成	(職員) ・健康診断に関わ る検診要項配布 ・保健統計集計 ・学校保健委員会 ・5月行事等の評 価と6月の行事 計画確認

○組織活動の内容に計画、実施後の評価を位置付けた

※6月以後の学校保健計画例については、日本学校保健会発行『保健主事の手引』(改訂版) P 84を参照下さい(小学校P 84、中学校P 90、高等学校P 96)

学 校 保 健 計 画 (例)

※保健目標 心身の健康を保持増進し、活力ある生活を送る実践力を育成する

区分 月	月の重点	学校保健 関係行事	保 健 管 理		保 健 学 習	
			対 人 管 理	対 物 管 理	保 健 学 習	
					保 健 体育科目	関 連 教 科
4	健康診断を受け、健康の状況を把握しよう 学習環境を整備しよう	・ 定期健康診断 ・ 学年健康集会	・ 保健関係公簿の提出 ・ 定期健康診断の計画と実施 ・ 健康状況の把握 ・ 保健調査票の整理 ・ 健康観察の進め方と実施 ・ 教育相談の実施	・ 衛生備品の整備充実 ・ 保健室の整備 ・ 環境検査 ・ 施設等の点検 ・ 清掃の年間計画と実施 ・ 大掃除 ・ 机、椅子の整備 ・ 水道水の検査	1、2年共に 週1時間 ×35 1年 「現代社会と健康」 1. 国民の健康水準と疾病構造の変化 2年 「生涯を通じる健康」 1. 思春期と健康	・ 世界史A(4) 現代世界と日本 ・ 世界史B(7) 現代の課題 ・ 政治経済(1) 現代の世界と日本 ・ 地理A(3) 現代世界の課題と国際協力 ・ 倫理(1) 青年期としての在り方、生き方
5	疾病の予防と早期治療に努めよう	・ 定期健康診断 ・ 校外学習	・ 定期健康診断の実施と治療勧告 ・ 健康状況の把握 ・ 保健調査票の整理 ・ 日本体育、学校健康センター加入手続 ・ 毎日の健康観察 ・ 健康相談の実施	・ 光化学スモッグ対応 ・ 水質検査 ・ 施設等の点検[定期] ・ 照度及び騒音検査	1年 2. 健康の考え方と成り立ち 2年 2. 結婚生活と健康	・ 生物1A(3) 生命を維持する働き ・ 家庭一般(4) 食生活の設計と調理 ・ 生活技術(4) 衣食住の生活管理と技術 ・ 生物1A(2) 生物としての人間 親から子へ(4) ・ 家庭一般(6) 乳幼児の保育と親の役割 ・ 生活一般(8) 乳幼児の保育

○「総合的な学習の時間」の健康の扱いについては健康問題に関する認識を深めたり、健康な生活を送る実践力を育成したりすることが期待できることから保健学習の欄に位置付けた。

○HR活動に学年ごとの保健指導を位置付けた。

○生徒の健康の実態に応じて実施する個別指導を「今を生きる」として、生徒の側から受け入れられやすい名称とした。

総合的な学習 (健康の分野)	保 健 指 導				組 織 活 動
	HR活動 (単位時間)	HR 活 動 (短時間)	個別指導	生 徒 会 (保健)	
1 年、2 年 「オリエンテーション」 1 年 「身体と心の健康」 2 年 「健康と社会」	1 年 ・健康診断とその活用 2 年 ・望ましい生活リズム 3 年 ・卒業期の健康	1 年 ・汚れた教室さようなら ・自分の健康を測ろう 2 年 ・体に合った机、椅子 ・早起きを習慣に 3 年 ・生体リズム (1) ・生体リズム (2)	年間を通じて随時行う「今を生きる」指導の指導体制を整えて実施	・委員会の活動計画・役割分担 ・年間計画と目標の全校への周知 ・定期健康診断の補助役員 ・保健だより ・ポスター作成	(職員) ・学校保健目標と計画についての理解、確認を含めた研修の実施 ・計画実施及び評価する人の役割分担 ・保健だより作成の援助 ・4 月行事等の評価と 5 月行事計画の確認
1 年 「身体と心の健康」 2 年 「健康と社会」	1 年 ・生き生きとした高校生活 2 年 ・喫煙がもたらすもの 3 年 ・増える心臓の病気	1 年 ・友人をつくろう ・五月病 2 年 ・荒れる 17 歳 ・花一杯運動 3 年 ・夜食に注意 ・良心こそ睡眠の友 全学年 ・光化学スモッグ対応	随時 「今を生きる」指導	・保健委員会 一月の重点への取り組み ・定期健康診断の補助役員 ・健診等の結果から必要事項をもとに保健だより作成 ・環境美化と衛生活動 ・学校保健委員会の資料等準備	・保健統計まとめ ・保健だより作成の援助 ・性、エイズ教育研修 ・学校保健委員会 ・5 月行事等の評価と 6 月行事計画の確認

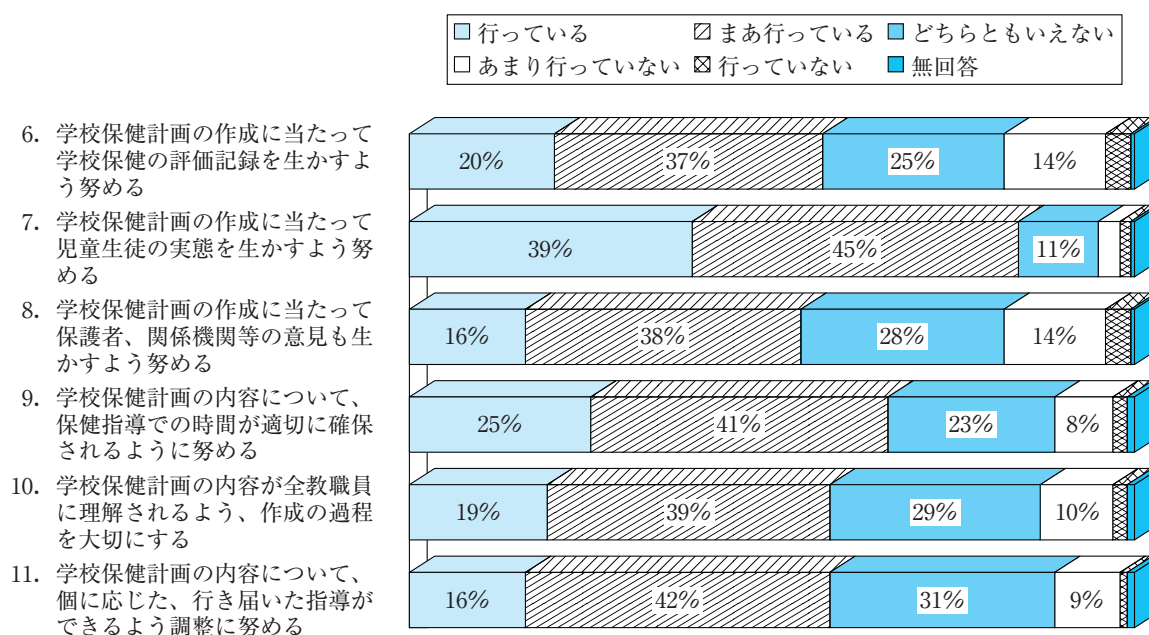
○組織活動の内容に計画実施の評価を位置付けた。

※ 6 月以後の学校保健計画例については、日本学校保健会発行『保健主事の手引』(改訂版) P 84 を参照下さい。(小学校 P 84、中学校 P 90、高等学校 P 96)

2 保健主事は 学校保健計画の作成とその実施の推進について連絡、調整します

学校保健計画の作成には、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等の積極的な支援、協力が必要です。また、教職員や保護者等もその作成に関わり、各学校における学校保健活動が円滑に推進されるようにしなければなりません。

現在、多くの保健主事が、児童生徒の健康課題の解決を目指して活躍しているところですが、平成13年度実施の「保健主事（主任等）の活動状況等に関する実態調査」では、「②学校保健計画の作成とその実施の推進」についての課題も報告されています。



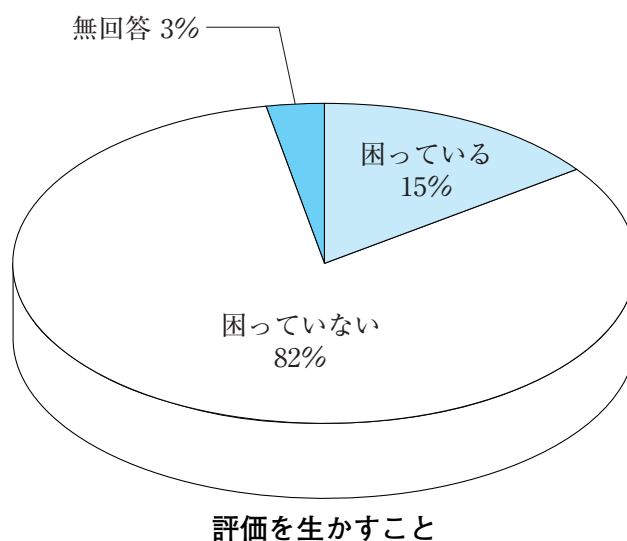
学校保健計画の作成とその実施の推進

上図では「6. 学校保健計画の作成に当たって、学校保健の評価記録を生かすよう努める」、「8. 学校保健計画の作成に当たって、保護者、関係機関等の意見も生かすよう努める」、「10. 学校保健計画の内容が教職員に理解されるよう作成の過程を大切にする」、「11. 学校保健計画の内容について、個に応じた、行き届いた指導ができるよう調整に努める」については、いずれの学校種でも「行っている、あるいは、まあ行っている」と実感している割合が6割程度であり、学校保健計画作成とその実施の推進に保健主事が苦慮していることも推察されます。

保健主事は、これら推進上の課題の解決に努め、学校保健計画の改善と円滑な実施のため、次のような事柄に留意したいものです。

(1) 学校保健活動の評価結果を生かし、実態を踏まえた計画にしましょう

児童生徒の健康についての教職員の問題意識は様々であり、前年と変わらない学校保健計画もあるようです。学校保健関係行事等の反省や評価を行い、その結果が生かされることで計画の実施についての教職員の意識も高まるでしょう。

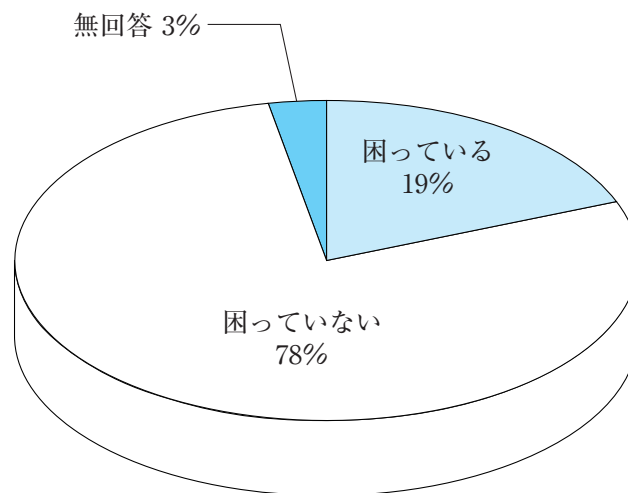


困っていることについては、「指導計画の不備」や「学級担任・養護教諭が多忙」が主な理由となっています。

保健主事としては、行事等の実施のつど、教職員の感想も含めて評価を行い、それらについて教職員に周知し、次年度の方向を定めるなど適時に計画や活動の改善を図るようにすることが大切です。

(2) 保護者・関係機関等の意見も生かし、支援・協力の意識を高める計画にしましょう

保健管理の面ばかりでなく、保健教育や組織活動などで学校医・学校歯科医・学校薬剤師やPTA役員、保護者と連携した取り組みが求められてきています。そのため、協力や支援等を踏まえたそれぞれの思いや考えを学校保健計画に反映させることが大切です。



保護者、関係機関の意見を生かすように努めること

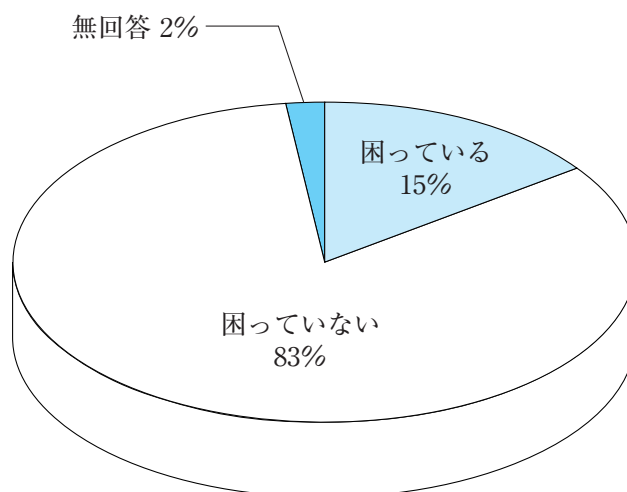
困っている理由としては、「打ち合わせなど日程の調整がうまくいかない」、「運営組織の不備」、「保護者の意識の低さ」などです。それぞれの立場の考えもあって思うように意見がまとまらないこともあるようです。このため、調整の煩雑さもあり保護者、関係機関等の意見はあまり生かされていないことも考えられます。

保健主事は、多くの関係者で構成する学校保健委員会でその内容等を話し合い、多くの関係者の意見を反映するよう努める配慮が必要です。

(学校保健委員会の組織、構成メンバー等については、(財)日本学校保健会発行の「学校保健委員会マニュアル」を参照されたい)

(3) 学校保健計画の内容が教職員に理解されるよう、作成の過程を大切にしましょう

学校保健計画の作成に関わったり、健康問題への認識を深める研修等も含めて、教職員に学校保健計画全体を理解してもらう必要があります。

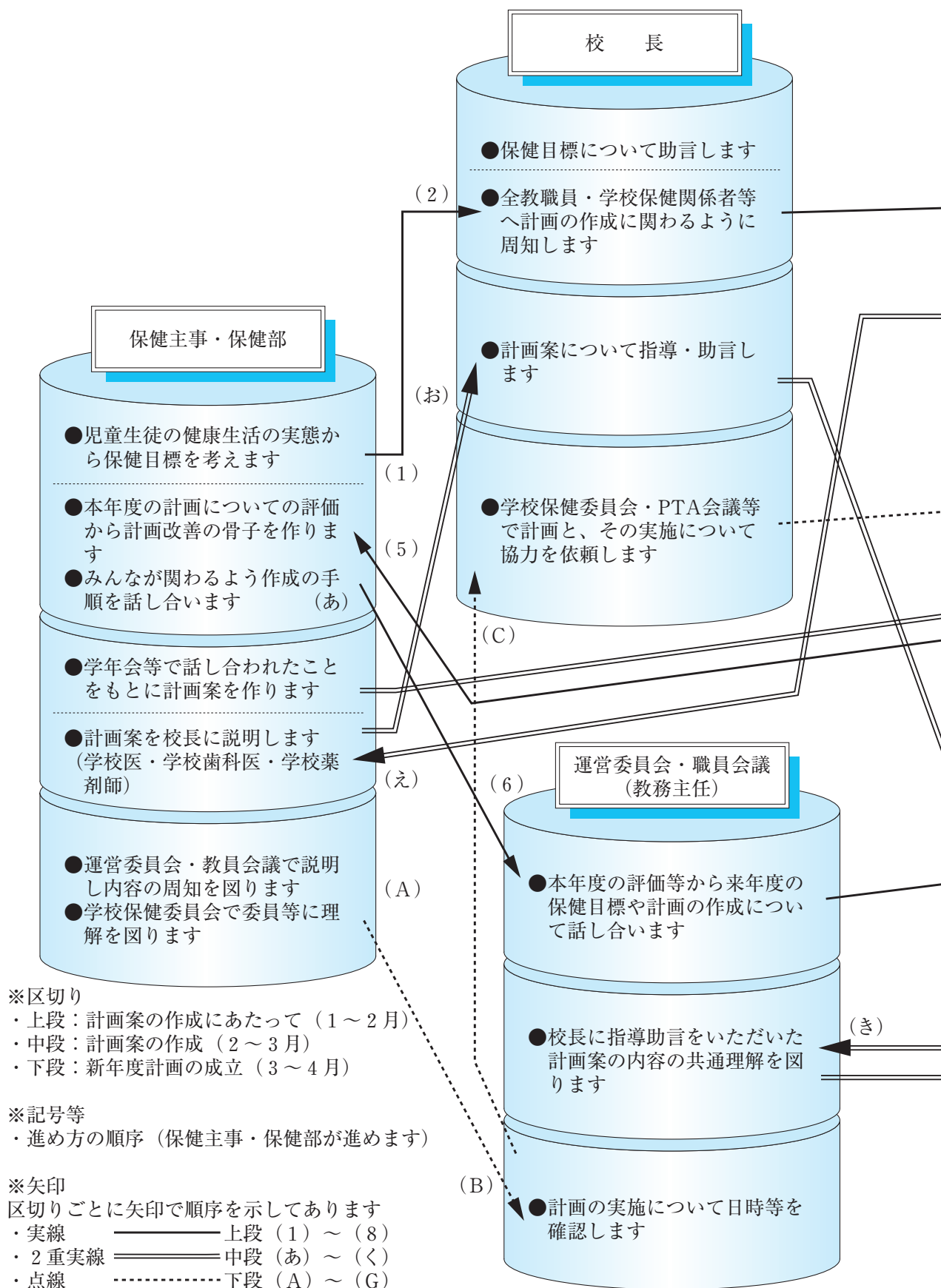


計画の内容が全教職員に理解されるよう、作成の過程を大切にすること

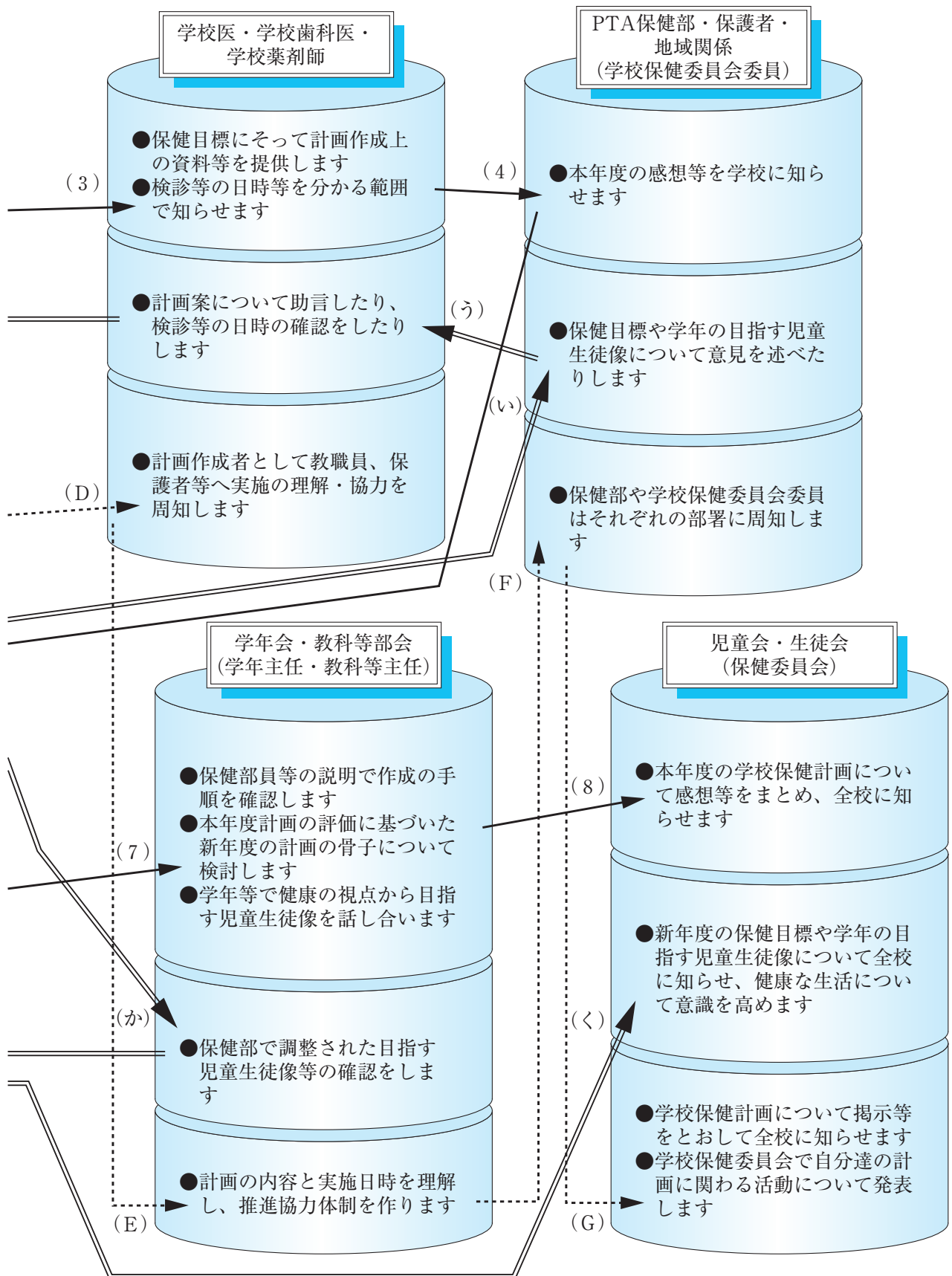
困っている理由としては、「日程の調整がうまくいかない」、「学級担任、養護教諭の職務で多忙」や「その他の教員の協力不足」という回答の多い学校種もあります。計画の作成と実施、協力体制は、できるところから、一步一步継続的に進めていくことが着実な前進につながります。

保健主事は、多忙な中ではありますが、学年会などの組織や教職員それぞれが、学校保健計画の作成に関わるように連絡調整することが大切です。そのためには、教務主任等と連携し、運営委員会や職員会議の議題とするなどして児童生徒の健康問題について教職員の意識を高め、学校保健計画についての理解を図る必要があります。これらの過程を得ることによって作成への一層の協力、支援が期待できます。

学校保健計画はこう



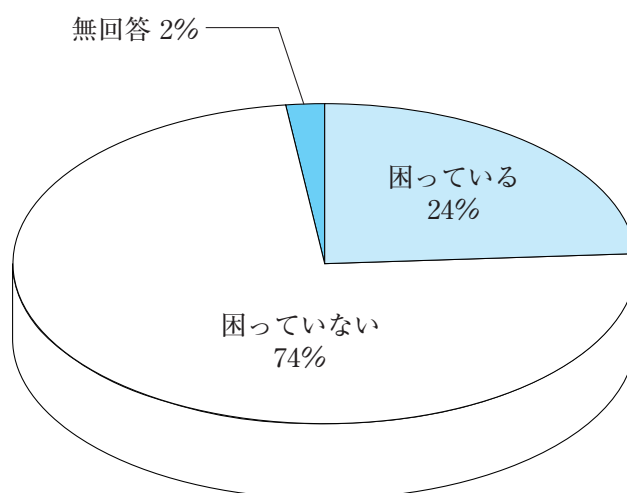
して作ります (例)



(4) 個に応じて行き届いた指導ができるよう、連絡・調整に努めましょう

健康を保持増進するための生活習慣についての指導や歯周病、喫煙、飲酒、薬物乱用、性の逸脱行動など様々な児童生徒の状況に応じた指導が求められています。

このため、児童生徒一人一人の健康の実態を確実に把握し、それらを踏まえて学校保健の目標を設定し、その実現を目指して学校保健計画に個に応じた指導を位置付けます。ここで大切なことは、個に応じて適切に指導する体制づくりです。



計画の内容について、個に応じた、行き届いた指導ができるよう調整に努めること

困っていることとして「指導時間の不足」、「学級担任・養護教諭の職務で多忙」などが中心的な理由となっています。保健主事は、学校の実情を踏まえて作成された学校保健計画について、児童生徒の実態に合った支援体制など個に応じて、行き届いた指導が実施されるよう配慮する必要があります。

健康な生活や行動に関する児童生徒の実践力を養うためには、学校内や学校外の専門性を有する方々、関係団体等と連携を図るなどして内容に応じた指導体制についてのマニュアル等を作成しておくことも大切なことです。

●健康課題に応じ、連携して取り組むことが可能な学校内・学校外の主な関係者の例

健康課題等	学 校 関 係	家 庭 等	地域等関係	専門等機関
喫煙・飲酒 薬物乱用性	校長・教頭 保健主事・主任 養護教諭 生徒指導主任 学級担任	保 護 者 PTA役員 学年保健委員	民生・児童委員 地区・町会代表 警察署	学 校 医 学校歯科医 学校薬剤師 教育相談所 児童相談所 教育委員会
心の健康 いじめ 不登校	校長・教頭 保健主事・主任 養護教諭 教務主任 生徒指導主任 学年・学級担任 学校栄養職員 教育相談担当	保 護 者 PTA役員 学年保健委員	民生・児童委員 地区・町会代表 ボランティア	学 校 医 学校歯科医 学校薬剤師 教育相談所 児童相談所 教育委員会
結核等 感染症	校長・教頭 保健主事・主任 養護教諭 学校栄養職員 教務主任 学年・学級担任	保 護 者 PTA役員 学年保健委員	地区・町会 ボランティア 地区内の学校	保 健 所 学 校 医 学校歯科医 学校薬剤師 教育委員会

※状況に応じて学校保健委員会を開き、方策を検討する。

3 学校保健計画の実施は全ての教職員で進めます

学校保健の目標の達成を目指す学校保健活動は、学校保健計画に基づいて実施されます。この活動や行事などにはそれぞれ目的やねらいがあり、教職員はそのことを理解し実施の必要性を自覚するとともに、役割を適切に果たすことが大切です。

(1) 学校保健計画の実施には、次のようなことがそれぞれの教職員に求められます

ア 校長先生には

- ・学校教育目標を具現化する視点として、児童生徒の健康の実態から課題を把握し、その解決を目指して、学校保健計画の実施の推進を、全職員に周知します。
- ・学校保健計画の実施のために、校内組織を整え機能するように指導します。
- ・保健主事を育てるための連絡調整方法などについて指導助言を行います。



イ 保健主事には

- ・学校保健目標を達成するための学校保健計画の推進役として、その実施のために教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者、地域関係等の機関などと実施のための連絡、調整、相談を行います。
- ・学校内、学校外の専門性を有する方々の持ち味が生かせるよう養護教諭と協力しあって活動の場づくりなどの工夫をします。
- ・実施後に関係者の反省や評価を行い、それらを学校保健計画の改善に生かします。



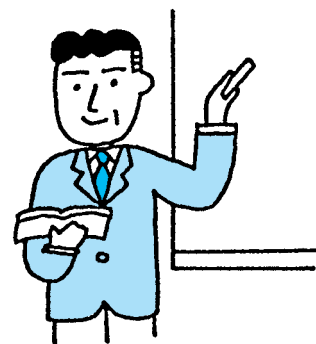
ウ 養護教諭には

- ・学校保健計画の実施について、指導用の資料を作成し、保健主事とともにその効果的な活用について説明したりして支援します。
- ・配慮を要する児童生徒について担任等とともに全職員へ周知し、専門医や学校医、学校歯科医、学校薬剤師など関係者とも連携して適切に学校保健計画が実施されるようにします。
- ・児童会・生徒会の活動を通して、学校保健計画の年間や学期の内容を全校の児童生徒が見通して主体的に実施し、自分の健康を守り、育てていくという意識や態度と実践力の醸成に努めるようにします。



エ 学級担任には

- ・学校保健計画を生かし、一人一人の健康の状況に配慮した学級経営に努めます。
- ・学校保健計画の実施者として、保健主事、養護教諭、保護者等と連絡を取り合って、その実施について、事前の打ち合わせを積極的行います。
- ・計画実施後の反省や評価を行い、学校保健計画の見直し等に協力します。



オ 特に配慮を要する児童生徒の学級担任には

- ・学校保健計画について、その子なりにできることから少しずつでも主体的に参加させます。
- ・どの教職員でも対応できるよう必要な情報を提供し、学校の協力体制を整え、計画を実施します。
- ・学校保健計画の実施には、保護者、専門医や、養護教諭等との連携を十分にとり、余裕をもって行います。



(2) 運営上の観点や実施に当たっての配慮事項を理解し、円滑な実施に努めましょう

保健主事は、行事に関わる人、物、時間、場所等を考慮し、事前の準備・実施・事後措置・評価等の活動を見通すことが大切です。その上で、担当者に指導計画を作成させ、状況に応じて助言を与えるなどして行事が目的に沿って円滑に行われるよう配慮することが必要です。

● 学校保健計画の運営上の観点及び実施に当たっての配慮事項

保健主事の手引〈改訂版〉より

(1) 運営上の観点

学校保健計画の実施に当たっては、計画に盛り込まれた事柄が実施に移されていくことが大切である。

そのためには、保健主事の立場から教職員全員によって展開されることを第一とし、そのように運営されるよう絶えず配慮する必要がある。

運営上の観点についてまとめるとおおよ次のようになる。

① 活動ごとの実施計画を作成する。

保健教育の領域では、特別活動の学級活動・ホームルーム活動における保健指導の年間指導計画や清掃指導計画、保健管理の領域では、定期・臨時健康診断の実施計画や健康観察実施要領、定期・臨時の学校環境衛生検査等を作成し、全校教職員の共通理解を図り、実施の成果が上がるようにする。

② 保健指導の指導計画は、学年別に毎月題材ごとの指導計画を作成し、資料や教具・教材を整え、活用できるようにする。

年間指導計画を提供しても、必ずしも活用してはもらえない。そこで、毎月翌月の指導計画を提供し、よりよい指導が期待できるようにする。その際、指導過程のモデルを示すなど説教や単なる知識の伝達にならないよう配慮する。

③ 養護教諭の専門性を生かす。

保健管理の実施に当たっては、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の専門性の活用を図ることは勿論であるが、養護教諭との連携を密にし、養護教諭の役割が十分発揮できるようにする。

④ 教職員の健康管理にも配慮する。

学校保健法に位置付けられた教職員の健康診断については、当然学校保健計画の内容として位置付けられることになるが、事後措置等を含めて保健主事として衛生管理者等への協力にも十分配慮する。

⑤ 学校保健計画の評価を大切にする。

学校保健活動を展開するに当たって、全校的な推進体制、保健管理、保健教育、組織活動の各分野について、教職員が役割を分担して自己評価を行い、本年度の反省をすると同時に、次年度の学校保健計画の重点の設定に役立てるようにする。

(2) 実施に当たっての配慮事項

① 保健室を通してみられる児童生徒の心と体の健康上の問題は、職員朝会などの機会をとらえ指導の要点の周知を図る。

② 保健活動に積極的でない学級がある場合には、養護教諭と協力して変容のための手だてを工夫し働きかける。

③ 教職員保健部等の打ち合わせ会は、毎月開くようにし、進行状況を確認合う。

④ 教職員保健部等を中心に、主な活動の責任者を明確にする。

⑤ 学校保健計画の学級化が図られるようにするため、必要に応じ月間計画または学級保健計画の作成についても考慮する。

⑥ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師との協力関係が円滑なものになるよう常に連絡を取る。必要に応じ、教職員保健部等の打ち合わせ会に出席してもらう。

⑦ 児童生徒の保健委員会の自発的・自治的な活動を盛り上げるようにする。

Ⅲ 保健教育は計画的・継続的に実施しましょう

児童生徒に、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うことが学校保健の目指すところです。このため、保健教育は、当面する健康に関する問題の判断や処置、望ましい習慣の育成、さらに健康に関する基礎的、基本的な事項等の系統的な理解と思考力、判断力を高め、これらの能力をはたらかせて、より適切に意志決定や行動選択ができるようにすることを目的として行われます。

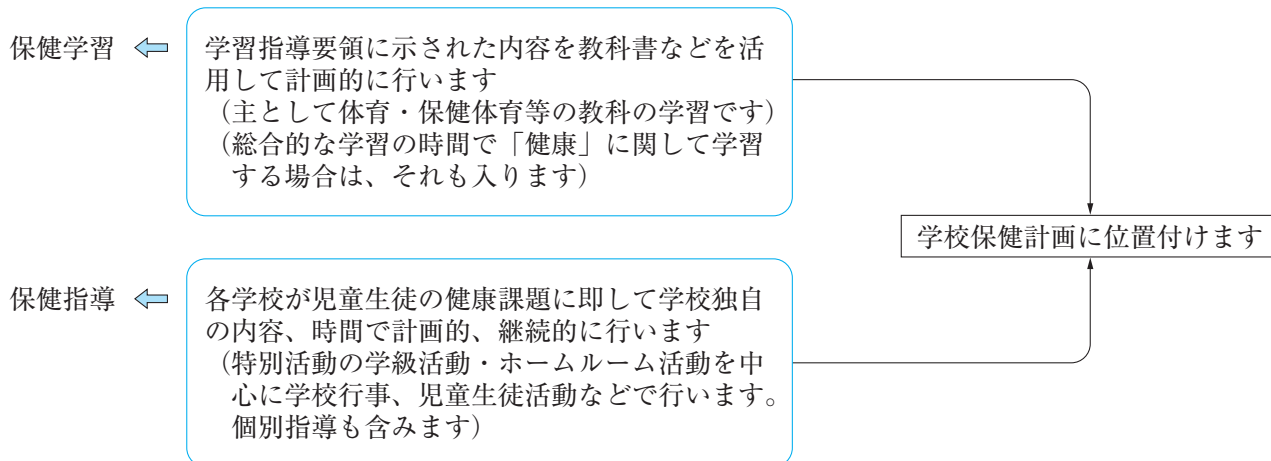
このような保健教育は、計画的、継続的に行うことによってその成果が期待できるものです。各学校においては、児童生徒の実態や地域の実情を十分把握し、そこに生起している心身の健康問題を的確にとらえ、各教科、道徳（公民）、特別活動との関連を図り、学校保健計画や保健教育の指導計画にそれらの指導内容を位置付けることが必要です。

また、その実施に当たっては、教職員の理解と協力はもちろんですが、保護者等と連携した取り組みが重要なことになってきています。

これらの調整も含めて、保健主事のリーダーシップが強く求められています。

保健教育は、内容として保健指導と保健学習とに分けられています。

保健学習と保健指導の内容のちがい



1 保健主事の企画・調整で保健教育の充実が期待できます

近年見られる小児期からの生活習慣病の兆候、心の健康づくり、歯、口の健康づくりなど児童生徒の新しい健康上の課題を解決するなど思考力、判断力等を生かして実践的能力や態度の向上を図る取り組みが、各学校でなされてきています。しかしながら、今後、さらに増大、悪化の傾向が予想されるこれらの問題に、適切に対処できるよう児童生徒自身の健康問題への認識と実践力を高めることが一層強く求められているところです。

このため、計画の作成と実施、評価など保健教育の充実を目指して企画・調整に当たる保健主事の取り組みに大きな期待が寄せられています。

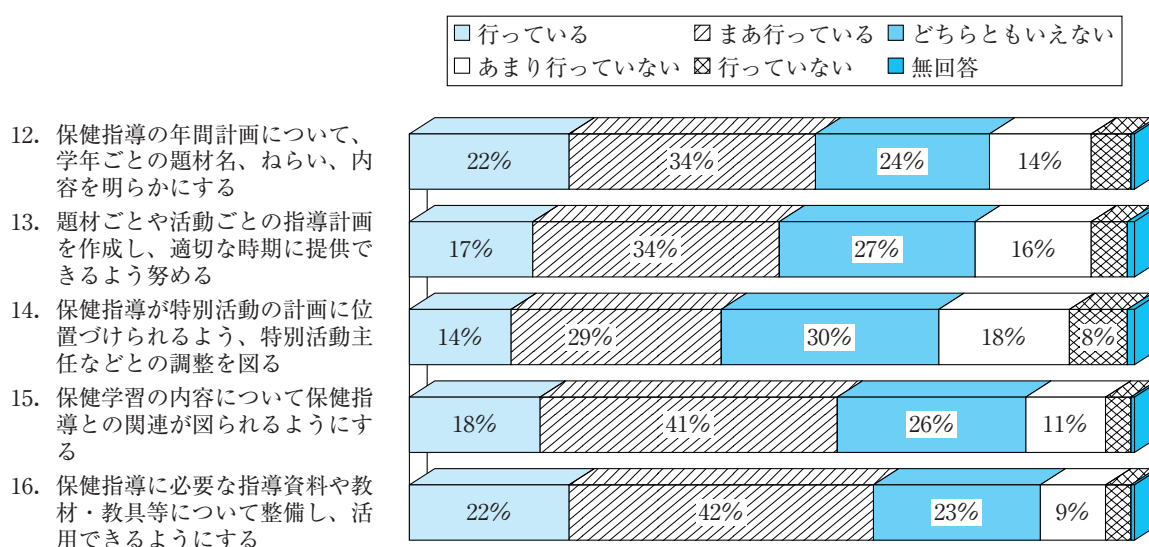
	保健教育における保健主事の企画・調整など	協力・連携の中心となる人
保健教育	保健指導 ↓ ・学校保健目標の設定とその具現化を目指し、児童生徒の健康の実態に応じた指導内容を設定する ・学年、時期、時間を決め、学校保健計画に位置付ける ・指導案、教材・教具等のマニュアルを一括して整理し、活用できるようにしておく ・資料等の保管場所と指導時期を表示し教職員へ周知し、活用を図る ・個別指導・日常指導マニュアル、自己評価カード等の保管と活用及び外部の指導者との連絡先と活用など ・児童会・生徒会が主催して行う保健に関する行事の進め方マニュアルの保管と活用	↓ ⇨養護教諭 ⇨保健部・特活主任 ⇨養護教諭・保健部 ⇨養護教諭 ⇨養護教諭・保健部 ⇨養護教諭・特活担当
	保健学習 ・保健指導との関連を図る観点から、保健学習の指導内容を月別・学年別に学校保健計画に位置付ける ・調べ学習、見学、実験など体験的で実感できる学習の場所、人、物など連絡先も含めて整理し活用できるようにしておく ・活用した教材・教具や資料について、改善点などの話し合いの機会を設ける	⇨体育主任・養護教諭 ⇨養護教諭 ⇨体育主任

2 保健教育の現状と課題を知りましょう

当面する健康問題や、今後予想される健康問題に、児童生徒が主体的に、適切に対応できるようその能力や資質の向上を目指して、積極的な保健教育への取り組みが多く和学校で見られるようになってきています。このような中、保健主事としての推進上の課題も報告されています。各学校の推進上の課題は様々だと考えられますが、それらを克服し、保健主事としての着実な活動を期待するところです。

(1) 調査の結果でこのようなことがわかりました

平成13年度実施の「保健主事（主任等）の活動状況等に関する実態調査」によると、「③保健教育の計画作成とその適切な実施の推進」について、次のような回答が寄せられました。



また、保健主事が保健教育それも保健指導に積極的に取り組めなくて困っている理由として報告されたことをまとめると次のようになります。

③保健教育の計画作成とその適切な実施の推進で困っている理由

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小 学 校	自分自身の努力不足	学級担任・養護教諭の職務で多忙	指導資料の不足・不備	指導計画の不備	教材の不足・不備
中 学 校	自分自身の努力不足	指導計画の不備	学級担任・養護教諭の職務で多忙	教材の不足・不備	指導資料の不足・不備
高等学校	自分自身の努力不足	教材・教具の不備	指導計画の不備	指導資料の不足・不備	日程の調整がうまくいかない

小学校、中学校、高等学校共に、「自分自身の努力不足」、「指導計画や教材の不足、不備」また、小学校、中学校では「学級担任や養護教諭の職務で多忙」などがあげられています。

学校には、児童生徒がかかえる健康上の課題は様々あるものと考えられますが、保健主事はそれらの中から、年度の重点を設定し、養護教諭とともに保健部を中心に関係部門の主任などの協力を得ながら、その課題の克服に努めることが大切です。こうした歩みによって、保健主事としての達成感が得られる活動につながっていくものと考えます。

3 保健主事の役割をもとに課題解決に取り組みましょう

様々な健康の問題に対して、各学校においては、児童生徒の実態や地域の実情を把握することが、当面の健康問題を解決するスタートになります。そして、そこに起因する健康問題を的確にとらえ、学校としての計画のもと、保健教育の充実に努めることが肝要となります。

(1) 保健指導の充実を目指します

学校における保健教育には、保健学習と保健指導がありますが、とりわけ保健指導は、児童生徒が現在当面しているか、ごく近い将来当面するであろう健康問題を具体的に引き上げ、問題を解決できるようにすることを目指しています。

このため、特別活動の学級活動・ホームルーム活動、学校行事の保健に関する行事及び児童会活動・生徒会活動を中心に行われる保健指導の指導計画を作成し、全校的に計画的、継続的な指導を展開できるようにすることが必要です。

保健指導の充実を目指した年間計画づくり

課題解決のためには計画的、継続的に取り組むことが重要となります。計画作成に当たっては、突発的な問題も考え、弾力的に取り組む内容もありますが、児童生徒の実態把握をもとに適時性を生かした年間の指導計画を立てるようにします。

①まず児童生徒の実態把握をします

- ・日常の観察、地域環境の実態（性的情報など）
- ・アンケート調査による意識や行動

②指導内容、題材を考えます

- ・問題解決のための題材 ・地域を越えての全国的な課題（薬物など）
- ・将来当面するであろう課題（タバコ、アルコールなど）

③適切な指導時期を検討します

- ・季節や環境などの考慮
（食中毒やインフルエンザなどは柔軟性をもたせる）

④指導学年、指導のねらいを決めます

- ・発達段階を考慮し、学年に合った指導内容の設定
- ・学年の指導のねらいの明確化

(2) 保健指導の題材名と指導時期を学年ごとに示しました

児童生徒の健康の実態等に応じて計画的・継続的に指導が実施されるように保健主事は、養護教諭とともに、関係者等との連絡調整に努めましょう。

保健指導の

学校 種別	月 学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小 学 校	1	◎さそいにのらない ○おいしいきゅうしょく ○きれいなは ○健康診断の受け方	○きゅうしょくとう ばんをがんばろう ○トイレの使い方 ○治療の大切さ	◎6さいきゅうしを みがこう ○雨の日のすごし方 ○からだの清潔 ○プールの決まりについて	◎みんなでクリーン さくせん ○きれいな教室 ○歯みがき上手 ○プールの決まりを守ろう		◎きれいなからだ ○簡単な応急処置 ○運動会を元気でが んばろう
	2	○じょうずなそうじ ○きれいなは ○健康診断の受け方	○えんそくを楽しく ○トイレの使い方 ○治療の大切さ	◎前歯をきれいにみ がこう ○雨の日のすごし方 ○プールの決まりについて ○からだの清潔	○きれいな教室 ○歯みがき上手 ○汗のしまつ ○プールの決まりを守ろう		○運動会を元気でが んばろう ○簡単な応急処置
	3	○そうじのやりかた ○健康診断の受け方	○私たちの体 ○校外学習を楽しく ○体や衣服を清潔に	◎歯ならびに合った みがき方 ○雨の日のすごし方 ○プールの使い方	○きれいな学校 ○汗のしまつ ○プールの決まりを守ろう		○運動会を元気でが んばろう ○簡単な応急処置
	4	○そうじの仕方の工夫 ○健康診断の受け方	◎心と体の成長 ○校外学習を楽しく ○体や衣服を清潔に ○治療の大切さ	○むし歯のできやす いところ ◎男の子の子 ○雨の日のすごし方 ○プールの使い方	○きれいな学校 ○汗のしまつ ○プールの決まりを守ろう ○夏休みのすごし方 を考えよう		○運動会を元気でが んばろう ○簡単な応急処置
	5	○学校をきれいに ○健康診断の受け方	○心の健康、けがの防止 ○体や衣服を清潔に ○疾病の治療	◎むし歯の原因と予防 ○雨の日のすごし方 ○プールの使い方	○きれいな学校 ○プールの決まりを守ろう ○夏休みのすごし方 を考えよう ◎給食と栄養 ○楽しい自然の教室		○運動会を元気でが んばろう ○簡単な応急処置
	6	○清掃オリエンテー ション ○健康診断の受け方	◎給食とマナー ○体や衣服を清潔に ○疾病の治療	○第2大臼歯を探ろう ◎性教育講演会 ○プールの使い方	○プールの決まりを守ろう ○夏休みのすごし方 を考えよう ◎楽しい自然の教室		○運動会を元気でが んばろう ○簡単な応急処置
中 学 校	1	○健康への出発 (健康診断の意義 と活用) ○保健室の利用法	◎学校ぎらい ○食中毒を防ごう ○清潔な環境をつくろう (清掃)	◎あなたのDMF (歯の大切さ)	○すがすがしさを求めて (美化) ○疾病の治療 ○プール指導		○あなたとわたし (男女の人間関係) ○けがや病気の予防
	2	○健康への出発 (健康診断の意義 と活用)	◎子どもから大人へ (二次性徴を迎えて) ○食中毒を防ごう ○清潔な環境 (清掃)	◎一生自分の歯で (歯周疾患とその 予防)	○季節と健康 (夏の健康) ○疾病の治療 ○プール指導		○カッコいいだけで はない (姿勢と健康) ○けがや病気の予防
	3	○健康への出発 (健康診断の意義 と活用)	○かけがえのないもの (生命の誕生) ○食中毒を防ごう ○清潔な環境 (清掃)	◎自分の歯を守る	○睡眠にはタイプがある (生活リズム) ○疾病の治療 ○プール指導		◎B型肝炎とは (感染症) ○けがや病気の予防
高 等 学 校	1	◎健康診断とその活用 ○汚された教育よさ ようなら ○自分の健康を測ろう	◎生き生きした高校生活 ○友人をつくろう ○五月病 ○光化学スモッグ対応	◎忍びよる歯肉の病気 ○清潔な服装 ○歯無しは話しにな らない	◎男女交際を考える ○治療は夏休みに ○炎暑に負けるな		◎恐ろしいシンナー ボンドの吸引 ○夏バテの回復 ○潜在危険に目を向ける ○避難と人命救助
	2	◎望ましい生活リズム ○体に合った机、腰掛 ○早起きを習慣に	◎喫煙がもたらすもの ○荒れる17歳 ○花一杯運動 ○光化学スモッグ対応	◎健康相談とその活用 ○むし歯とイチロー選手 ○保健室への訪問	◎性情報の賢い選択 ○慢性病を治そう ○夏こそ鍛えよう勉 学の道		○体の調子を整える ○救急法の練習を ○避難と人命救助
	3	◎卒業期の健康 ○生活リズム(1) ○生活リズム(2)	◎増える心臓の病気 ○夜食に注意 ○良心こそ睡眠の友 ○光化学スモッグ対応	○歯の治療は今のうち ○相談は自己解決の道	◎人間の幸福は望ま れた出生から ○悔いなき青春のために ○食事を大切に		◎生きることの大切さ ○心身症ということ ○忘れることの大事さ ○避難と人命救助

※ ○は20分程度の指導、◎は1単位時間の指導

題材名 (例)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
○めのびょうきとしせい	◎友だちと仲良くしよう ○男の子女の子 ○楽しい学校生活にしよう	◎ふゆやすみだいさくせん ○うがい、手洗いをしよう ○大切な朝食 ○持久走大会と健康	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう	○冬を健康に	◎みんなでクリーンさくせん
○目の病気としせい ◎すききらいなく食べよう	◎赤ちゃんはどこから ○楽しい学校生活にしよう	◎わたしのたんじょう ○うがい、手洗いをしよう ○大切な朝食 ○持久走大会と健康 ○冬休みのすごし方	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう	○冬を健康に	◎ありがとう教室
○目の病気の予防をしよう ◎楽しい食事とよい食べ方	◎わたしとお父さん ○身の回りのせいとん ○楽しい学校生活にしよう	○大切な朝食 ○持久走大会と健康 ○空気の流れかえをしよう ○冬休みのすごし方	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう ◎男女の協力	○冬を健康に ○性被害の防止	○1年間をふりかえって
○目の病気の予防をしよう ○衣服の調整をしよう	◎男女仲良く ○相手の気持ちを考えて ○楽しい学校生活にしよう	○大切な朝食 ○持久走大会と健康 ○空気の流れかえをしよう ○冬休みのすごし方	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう ◎エイズってなあに	○冬を健康に ○情報と私たち	○1年間をふりかえって
○目の健康 ○規則正しい生活をしよう	◎エイズの予防 ○男女の協力 ○楽しい学校生活にしよう	○大切な朝食 ○持久走大会と健康 ○空気の流れかえをしよう ○冬休みのすごし方	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう	○冬を健康に ○病気の人への思いやり	○1年間の健康生活をふりかえって
○目の健康 ◎男らしさ女らしさ ○休養・睡眠と健康な生活について	◎病気の人への思いやり(エイズと人権) ○異性の友だち ○楽しい学校生活にしよう	○大切な朝食 ○持久走大会と健康 ○空気の流れかえをしよう ○冬休みのすごし方	○給食週間を考えよう ○かぜ、インフルエンザを予防しよう ◎生命の誕生	○冬を健康に	○1年間の健康生活を振り返って ◎大人へダッシュ
◎視力の低下と勉強、運動(目の健康) ○よい姿勢	◎エイズを知ろう ○栄養と偏食について	◎ライアン君の願い(エイズと人権) ○部屋の換気と健康 ○冬季休業中の健康生活	◎アンテナは正しく向けて(性情報の正しい選択) ○かぜ、インフルエンザの予防	○脊柱側弯とその矯正(姿勢)	○聞こえることばのルート(耳、鼻、咽喉の健康) ○1年間の健康生活を振り返って
◎目は口ほどにものをいい(目の健康) ○よい姿勢	◎青春に向かって(不安、悩みとその解消) ○栄養と夜食について	◎難病と闘う人々 ○部屋の換気と健康 ○冬季休業中の健康生活	◎意外と知らない生活のリズム(生活のリズム、運動、食事、休養)	◎要は使い方次第(くすりの正しい使い方)	○春休み中の健康生活 ○1年間の健康生活を振り返って
◎「知らなかった」では遅い(タバコの害) ○よい姿勢	○心の健康	◎正しく知ればこわくない(エイズ) ○部屋の換気と健康 ○冬季休業中の健康生活	○調和のとれた食事 ○受験前の健康生活	○知るほどに増す怖さ(シンナーの害)	○1年間の健康生活を振り返って ○春休み中の健康生活
○体を動かすこと ○秋の日射しは目に毒	○換気は何故必要か ○うがい、手洗いを馬鹿にするな	○JRCの精神に学ぶ ○うすい血に注意 ○インフルエンザ対策	◎学校清掃を考える ○汚さない努力 ○潜在している病気のこわさ	◎栄養、運動、睡眠の調和 ◎エイズを知る ○果物は野菜の代わりにはならない ○運動の継続は長寿	◎健康生活の自己評価 ◎エイズの予防 ○教室を清潔にして次の学年に
○内省のひとつ ○目と緑 ○修学旅行保健指導	○愚かなこと喫煙 ○not drinking	◎ボランティアから学ぶ ○ユニセフの活動 ○救世軍の歴史、托鉢の僧 ○インフルエンザ対策	◎便利さ、快適さを見返す ○粗衣粗食に甘んずる楽しさ ○新しい進路への心構え	◎エイズと人権 ○清涼飲料水より牛乳 ○覚醒剤の恐ろしさ ○駅伝前後の健康管理	◎健康生活の自己評価 ◎高校生と性のトラブル ○教室を清潔にして次の学年に
◎家族の健康づくり ○臍の緒を手にする ○ホームドクターは誰	○インフルエンザ対策 ○受験生に遅刻は許されない	○無報酬の報酬 ○無財の七施 ○インフルエンザ対策	○寒いからこそ頑張れ ○かぜの予防	◎人間の生き方と性 ○駅伝前後の健康管理	○ストップ ジ エイズ

(3) 指導過程を工夫し問題の解決を図ります

保健指導の授業の展開に当たっては、児童生徒が自分の問題として気づき、積極的な実践行動へ結びつける展開の工夫が大切です。そのためには、次のような指導過程を参考に、指導内容やねらいによって、展開の前段や後段に重点を置くなど柔軟性をもった指導に当たることが必要です。

[指導過程の一例]



〈支援〉

- 問題に気付く
 - ・自分たちの生活体験をもとに、実感をもたせる。
 - ・問題の共通化を図る。
- 問題の原因を追求する
 - ・健康問題の原因や理由について、話し合い、考える。
 - ・問題解決の必要感をもたせる。
- 問題の解決方法を探り、確かめる
 - ・解決のための方法と実践の手立てを探り、解決する。
 - ・解決に役立つ技能等を身に付ける。
- 実践への意欲付けをする
 - ・学習したことをまとめる。
 - ・実践への具体化を図り、意欲付けをする。

指導過程の例を参考にした指導事例

- 指導過程の例を参考に、内容やねらいに即して指導の展開を図ってみましょう。

ア、小学校低学年「歯をしっかりとみがこう」

○ねらい 第一大臼歯の特徴を知り、きちんとみがくことができる。



- ①第一大臼歯の位置を鏡で観察したり、手で触って気付いたことを話し合う。
*出ていない子は、場所を確認させる。
- ②第一大臼歯の生える様子と役割を知ると同時に、むし歯になりやすい理由を考える。
- ③第一大臼歯の汚れを工夫してみがき、汚れが落ちているか確かめる。
*プラークテストを用いて、実際に確かめる。
- ④正しい(汚れの落ちる)第一大臼歯のみがき方をカードにまとめ、それがいつでもできるようにする。

* [■] は、活動の中心になるところです。 * は、支援・留意点を示します。

イ、小学校高学年「エイズはどんな病気」

○ねらい エイズに関心をもち、偏見や差別をなくすとともに健康の意識を高める

導入 (気付く)	
展開	前段 (追求する)
	後段 (探る・解決する)
終末 (まとめる・意欲付けする)	

- ①学習課題「エイズはどんな病気なのだろう」について知る。
- ②ビデオを視聴してエイズについて知る。
- ③感染や予防方法について考える。
*日常生活では、感染しないこと。
- ④差別や偏見について考えをもつ。
*エイズをよく知り、偏見や差別をもたないこと、しないこと。

ウ、中学生「性感染症の予防」

○ねらい 性感染症について理解し、予防のための適切な判断や意志決定ができるようにする。

導入 (気付く)	
展開	前段 (追求する)
	後段 (探る・解決する)
終末 (まとめる・意欲付けする)	

- ①「病気とその予防」の学習をもとに、感染症の予防を復習する。
*感染症の3要素をおさえる。
- ②性感染症の発生から、性感染症を理解する。
- ③性感染症の増加の理由を考える。
- ④性感染症を予防するにはどうしたらよいか考える。
- ⑤男女の人間関係をおさえ、自分の考えをまとめる。

エ、高等学校「薬物乱用、ダメ、ゼッタイ」

○ねらい 薬物乱用が身近にあることを知り、その被害から手をださないようにする。

導入 (気付く)	
展開	前段 (追求する)
	後段 (探る・解決する)
終末 (まとめる・意欲付けする)	

- ①薬物乱用のアンケートをもとに話し合う。
*社会問題を背景にして、意識の現状をおさえる。
- ②乱用される薬物から種類の分類をし、薬物の性質、依存性と耐性について理解する。
*薬物乱用の健康障害が軽度であるという誤解が、青少年の乱用をふやしている。
- ③大麻の急性影響・慢性影響について、写真VTRをもとに知る。
*心身への影響の他、犯罪行為などもあることに触れる。
- ④誘惑の手口が巧妙であることを強調し、絶対に手を出さないこと。

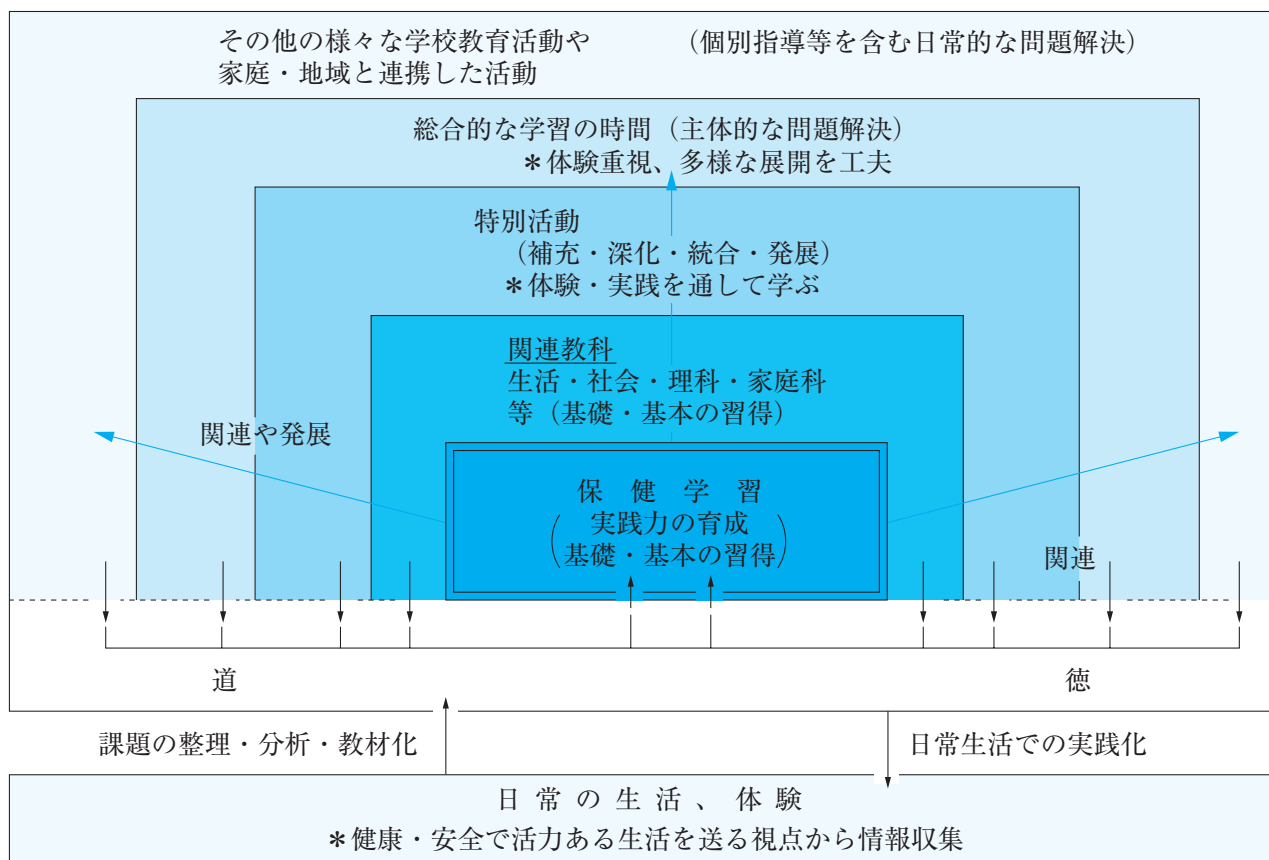
(4) 体育・健康に関する指導の趣旨を理解し保健指導の充実を図りましょう

学校における健康教育は、広義には学校保健、学校安全及び学校給食に関する指導を包括したものであり、それらの管理と表裏一体として進められるものです。学習指導要領の総則「体育・健康に関する指導」の項で、体力の向上と合わせて、次のようにその基本方針が示されています。保健主事は、これを受けて、保健学習など他の教育活動との関連を図りながら保健指導の充実を図ることが大切です。

学校における体育・健康に関する指導は、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、体力の向上及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育（保健体育）科の時間はもとより、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮しなければならない。

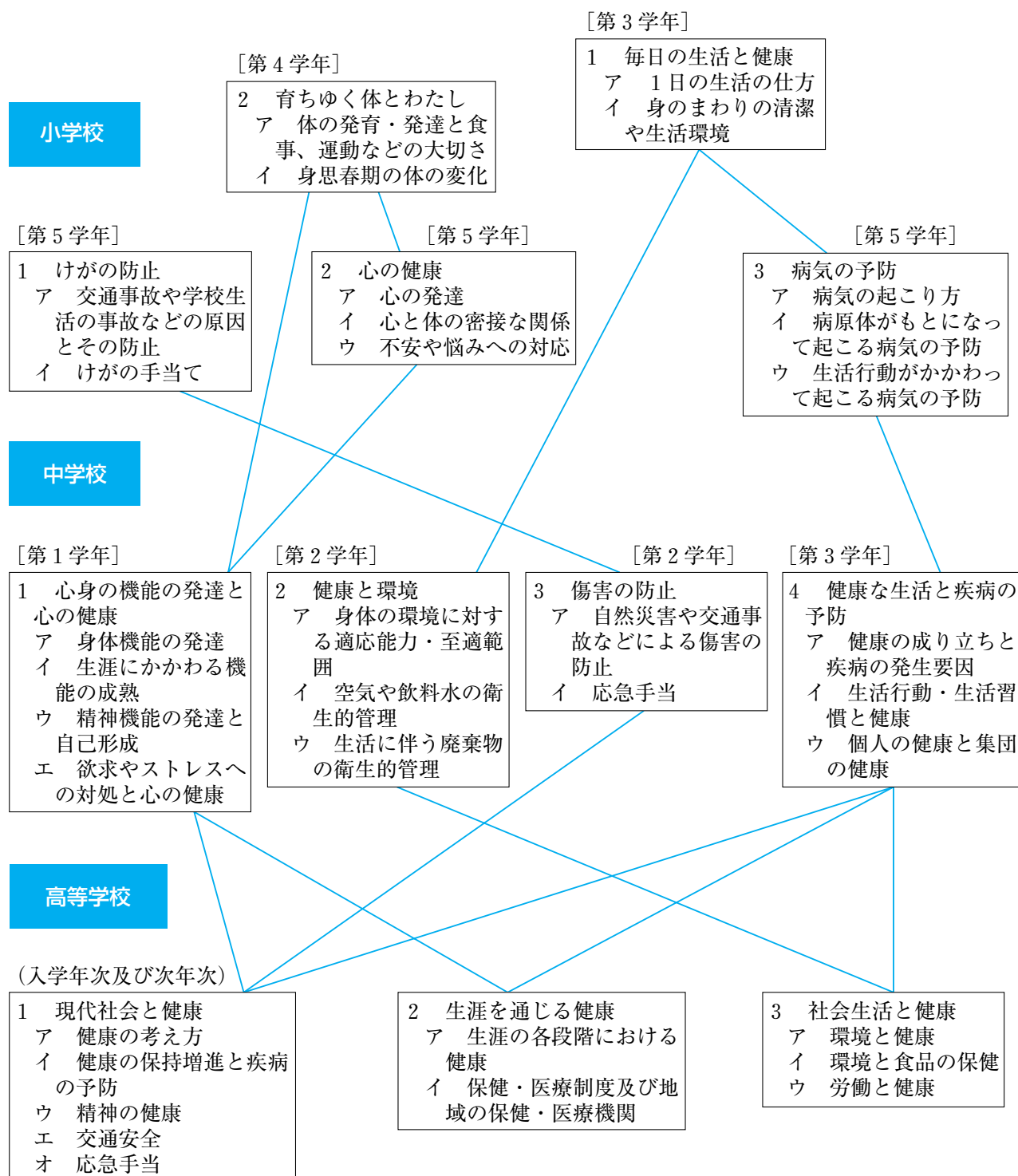
その際、それぞれの活動には、次のような特質があることを理解し、互いに指導内容の関連を図ったり、指導時期に配慮したりしながら、その特質に応じて効果的に保健指導を行うことが必要です。

〈学校における健康教育の構造・特質のイメージ〉



なお、保健指導と極めて関連の深い、体育、保健体育科の保健学習の内容は、次のように構成されており、保健指導の指導計画作成や指導に活用します。

〈小、中、高等学校の「保健」の内容構成及び関連図〉



(5) 指導のための資料や教材はたくさんあります

保健指導を含む保健教育の資料や教材は、文部科学省や財団法人日本学校保健会で作成し、配布（頒布）しています。その他にも各都道府県教育委員会等で作成したものがああります。各学校では、それを保管し、活用するようにしましょう。一例を紹介します

生活習慣

生活習慣からみた児童生徒の健康づくりのポイント

（平成11年度出版）

ゆたかな身体と心を育むための「望ましい生活習慣づくり」

（平成11年度版）

平成12年度 児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書

（平成14年出版）

目、耳、骨、アトピー

学校生活とコンタクトレンズ

（平成14年出版）

心因性視覚障害Q & A

（平成12年度版）

児童生徒の眼の健康のしおり

（平成9年度出版）

子どもの心因性難聴Q & A

（平成11年度版）

骨の健康づくり

（平成9年度出版）

学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q & A

（平成11年度版）

保健学習

新しい保健学習のモデル

—中学校における課題学習、授業書方式、ライフスキル—

（平成11年度版）

3・4年生から始める小学校保健学習のプラン

（平成12年度版）

実践力を育てる「中学校保健学習のプラン」

（平成13年度版）

意志決定・行動選択の力を育てる「高等学校保健学習プラン」

（平成13年度版）

養護教諭の特質を生かした保健学習・保健指導の基本と実際

（平成12年度版）

歯・口の健康

小学校歯の健康指導の手引

（平成4年文部科学省）

生きる力をはぐくむ

「歯・口の健康づくり」

（平成12年度版）

歯・口の健康づくりをめざして II

—健康診断と保健指導の進め方—

（平成10年度出版）

歯・口の健康と食べる機能

（平成10年度出版）

学校における性教育の考え方、進め方

（平成11年文部科学省）

みんなで生きるために

—エイズ教育資料—

（平成12年度改訂版）

性感染症予防に関する指導マニュアル

（平成14年出版）

性教育、エイズ教育



* 文部科学省と明示してあるもの以外は、全て日本学校保健会で作成したものです。

保健管理

改訂 学校検尿のすべて
(平成2年度版)
学校における糖尿病の管理指導
—小児糖尿病の手引—
(昭和61年度版)
尿糖検査と糖尿病児管理指導のしおり
(学校・学校医用)(平成4年度出版)
学校における結核管理マニュアル
(平成11年度版)
学校における水泳プールの保健衛生管理
(平成11年度版)
学校において予防すべき伝染病の解説
(学校関係者用)(平成10年度版)
心疾患児 新・学校生活管理指導のしおり
(学校・学校医用)(平成14年出版)
腎疾患児 新・学校生活管理指導のしおり
(学校・学校医用)(平成14年出版)

喫煙、飲酒、薬物乱用防止

新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引
「中学校編(平成7年度版)」
「小学校編(平成9年度版)」
喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する用語事典
(平成14年出版)
知識と勇気〜ストップ・ザ・ドラッグ
(小・中・高校生向の3種類)

心の健康

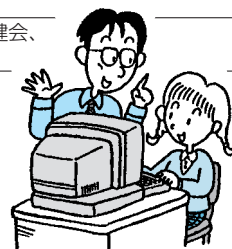
教師のための心の健康問題の理解と対応
(平成11年度版)

学校保健の基本

改訂版 保健主事の手引
(平成11年度版)
学校保健委員会マニュアル
(平成11年度版)
小学校保健指導の手引
(改訂版)(平成6年文部科学省)

〈学校保健会のホームページもあります〉

ホームページ 薬物乱用防止教育 No! Drug	ホームページ エイズ教育情報ネットワーク みんなでいけるために
○意義と必要性 ○我が国の取組 ○学習指導要綱 ○教材・参考資料 ○関係法令 ○用語解説 ○Q & A http://www.hokenkai.or.jp/3	○エイズ動向報告 ○エイズQ & A ○エイズ図書館 ○エイズ教育シンポジウム、中央研修 ○エイズ教育推進地域 ○学習指導要領 ○リンク集 http://www.hokenkai.or.jp/2
日本学校保健会、1999より	日本学校保健会、1998より



〈ビデオ教材もあります〉

なくした自由(中学生用)	薬物乱用防止教育ビデオ (中学生用) No! 脳からの警告
○「乱用」「依存」「中毒」の違い ○薬物乱用の悪影響 ○薬物乱用問題の危険性 ○薬物依存は一生のたたかい ○薬物乱用によって失うもの	○「乱用」「依存」「中毒」の違い ○薬物乱用の悪影響 ○薬物乱用問題の危険性 ○薬物依存は一生のたたかい ○薬物乱用によって失うもの
文部科学省、1997	共和映画社(文部省指定製作)、1998

育てたい「生きる力」	たばこは体になぜ悪いの？
○いま、中学校の保健学習に求められているもの ○課題学習をどう進めるか ○ライフスキル学習をどう進めるか	○たばこの健康への影響 ○たばこの周囲の人々への影響
日本学校保健会、2001	日本学校保健会、1999

◎もっともっとたくさんの資料や教材が各学校に配布されています。



資料・教材を活用するためには

- 保管場所を決めておきましょう。職員室、図書室、教材室、保健室等の活用しやすい場所を決めます。
- 資料や教材のリストを作成し、先生方に周知しておきましょう。
- 棚や透明な箱などに入れたりして、内容が分かる表題をつけておきましょう。
- 自作の資料や教材なども空き教室などを利用して整理しておきましょう。

Ⅳ 保健管理を適切に進めましょう

学校における保健管理は、児童生徒の健康の保持増進を図ることによって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的に展開されるものです。

保健管理の内容としては、①心身の管理、②生活の管理、③学校環境の管理、があげられます。保健管理の推進にあたって、学校保健の調整役としての保健主事は、全教職員の理解と協力を得るとともに、養護教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師と連携を図りながらその充実に努め、児童生徒が快適な学校生活を送ることができるようにすることが大切です。したがって、その推進に当たって中心的役割を担う保健主事には、個々の内容が計画に基づき、組織的かつ円滑に実施されるよう努めることが求められています。

1 保健管理を適切に進めるに当たって、次のことに留意しましょう

保健管理を適切に進めるに当たっては、以下のような点に留意することが大切です。なお、これらの留意点は、そのまま評価の観点と捉えることができます。

心身の管理

- ① 健康観察の目的や方法について全教職員に周知徹底を図り、児童生徒の健康状態を把握します。
- ② 健康診断が適切かつ効果的に行われるようにします。
- ③ 学校医、学校歯科医による健康相談を計画的に行います。
- ④ 健康相談活動を積極的に行います。
- ⑤ 健康に問題を持つ児童生徒の管理を適切に行います。
- ⑥ 健康診断の終了後、学校医、学校歯科医と教職員との懇談の機会を設け、相互の理解が深められるようにします。

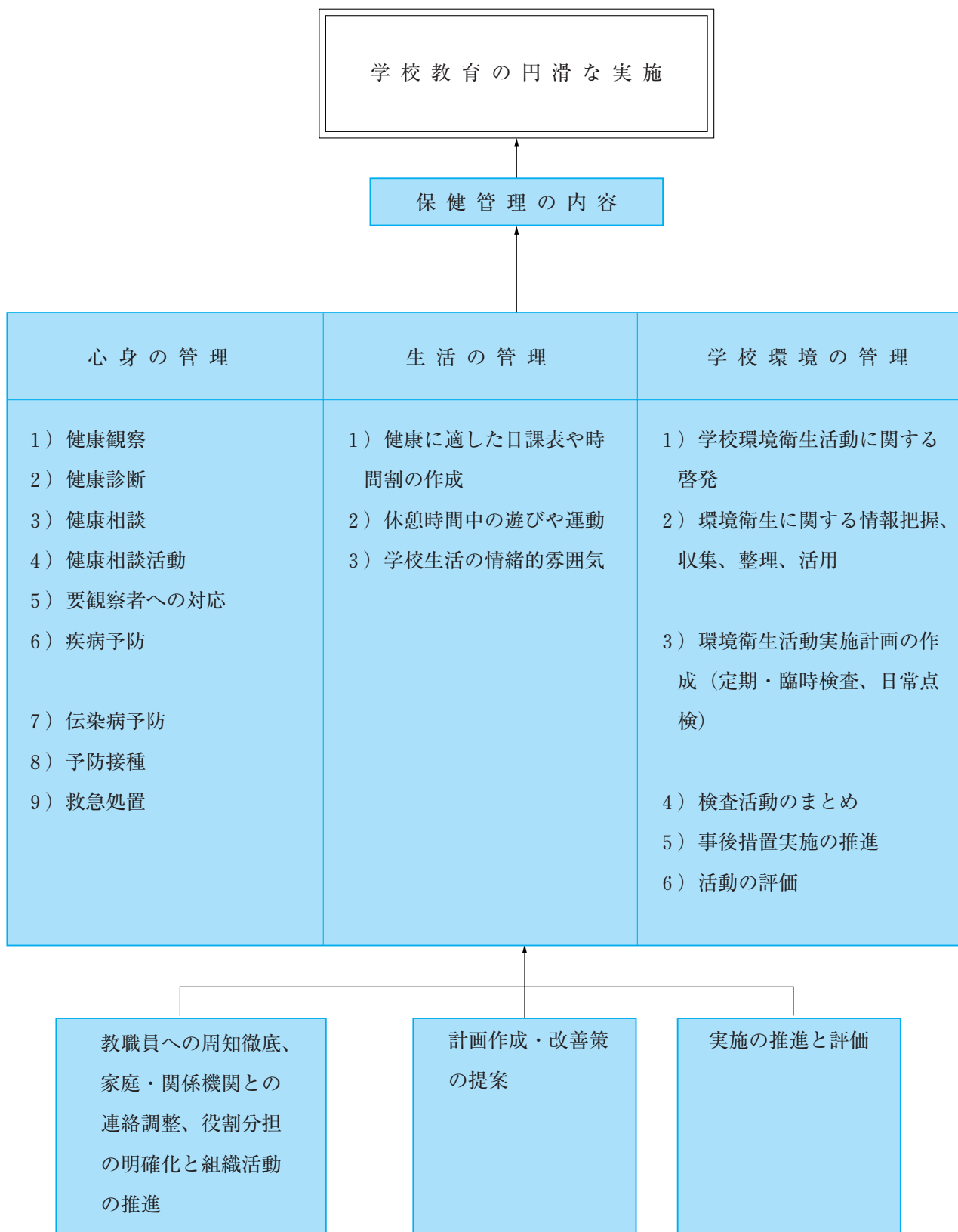
生活の管理

児童生徒の健康生活の実践状況を把握し、学校生活がより快適生活の管理で楽しいものとなるよう、学校行事や週時程、日課表の作成について工夫改善を図ります。また、学校生活の情緒的雰囲気についても配慮します。

学校環境の管理

- ① 「学校環境衛生基準」に基づき、健康で快適な学習環境の維持・改善に努めます。
- ② 学校環境衛生の定期検査の終了後、学校薬剤師と教職員との懇談の機会を設け、相互理解が深められるようにします。
- ③ 保健室の備品や薬品の管理が適切に行われているかを点検します。
- ④ 法令に基づく評簿を整備するとともに、必要な記録を整理します。

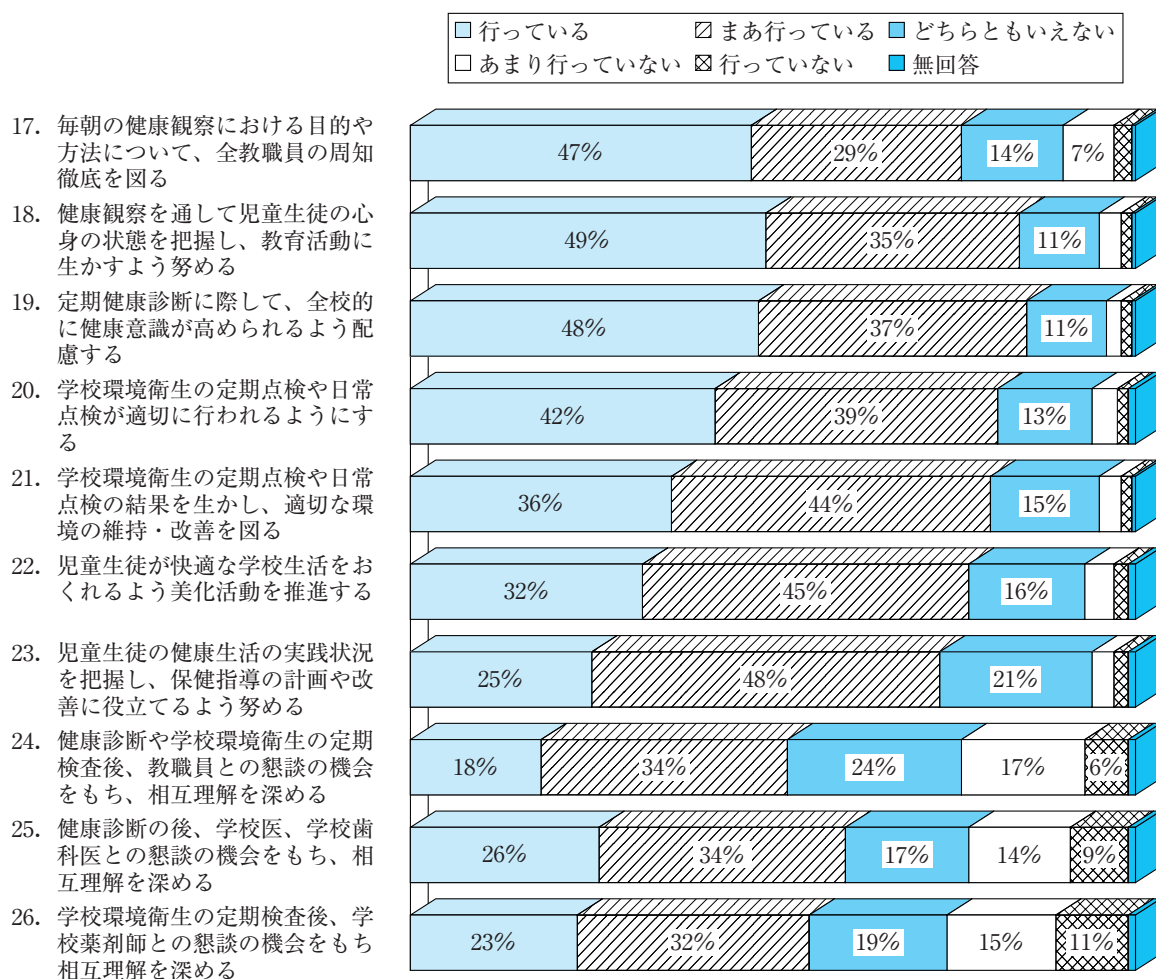
保健管理を進めるに当たって、保健主事は下図のような役割を担っています。



2 保健管理を推進していく上で次のような課題があります

平成13年度実施の「保健主事（主任等）の活動状況等に関する実態調査」によると、「保健主事の職務内容の6項目」のうち、「④保健管理の適切な実施の推進」に関すること（問17～26）は、全体としてみれば「行っている」と回答した割合が7割をこえ、比較的行われている割合の高い職務内容であることが明らかにされました。しかしながら、下図に示したように、その職務内容を詳細に見ると、より一層充実すべき内容もあることが示唆されています。

例えば、「24. 健康診断や学校環境衛生の定期検査後、教職員との懇談の機会を持ち、相互理解を深める」、「25. 健康診断の後、学校医、学校歯科医との懇談の機会を持ち、相互理解を深める」、「26. 学校環境衛生の定期検査後、学校薬剤師との懇談の機会を持ち相互理解を深める」については、他の職務内容に比して「行っている」への回答が低くなっています。そして、これらの職務を遂行していく上で「困っている」理由は、以下の表に示されるようになっていきます。したがって、保健管理の適切な実施の推進に当たっては、こうした点を改善するよう努めることが大切であるといえます。



保健管理の適切な実施の推進

保健管理の適切な実施の推進で困っている理由

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
日程の調整がうまくいかない	学級担任・養護教諭の職務で多忙	自分自身の努力不足	学校医・学校歯科医・学校薬剤師の協力不足	児童生徒の意識の低さ

3 養護教諭と連携協力して課題の解決を図りましょう

保健管理を進めるに当たって、養護教諭と連携協力しそれぞれの職務内容については以下のような点に配慮しながら適切に進めることが大切です。

「17. 毎朝の健康観察における目的や方法について、全教職員の周知徹底を図る」、「18. 健康観察を通して児童生徒の心身の状態を把握し、教育活動に生かすように努める」については、特に、高等学校において行われる割合の少ないことから、小学校や中学校の事例を参考にし、高校生用にアレンジするなどして、適切な健康観察が行われるよう努めることが大切です。

「19. 定期健康診断に際して、全校的に健康意識が高められるよう配慮する」、「20. 学校環境衛生の定期点検や日常点検が適切に行われるようにする」については、健康安全に関する学校行事についてその目的を明確にするとともに、学校保健計画に明示しておくことが求められます。さらに、行事ごとの実施計画では、全教職員の役割分担を明確にし、協力を仰ぐよう努めることが大切です。

「21. 学校環境衛生の定期点検や日常点検の結果を生かし、適切な環境の維持・改善を図る」、「22. 児童生徒が快適な学校生活を送れるよう美化活動を推進する」では、児童生徒の立場にたって、よりよい環境の維持改善を図るよう努めることが大切です。これらについては、他校の実践事例に学ぶことも必要です。

「23. 児童生徒の健康生活の実践状況を把握し、保健指導の計画や改善に役立てるよう努める」では、養護教諭や保健体育科教員の協力を得るとともに、保健学習の成果を踏まえ、各学校が創意工夫を生かした学校保健計画を作成し、形成的評価を加えながらその充実を図るよう努めることが大切です。

「24. 健康診断や学校環境衛生の定期検査後、教職員との懇談の機会を持ち、相互理解を深める」については、健康診断や学校環境衛生検査の結果をこれまでの保健管理の成果として捉え、全教職員がそれを認識できる機会を学校保健計画の中に盛り込むことが大切です。

「25. 健康診断の後、学校医、学校歯科医との懇談の機会を持ち、相互理解を深める」、「26. 学校環境衛生の定期検査後、学校薬剤師との懇談の機会を持ち、相互理解を深める」については、事後措置の重要性を踏まえ、保健主事が、学校医、学校歯科医、学校薬剤師への協力を仰ぐことが大切になってきます。できれば、こうした機会についても学校保健計画に盛り込んでおくことが必要でしょう。また、こうした学校外の関係職員との連携を効果的に進める上で、平素よりこうした関係職員と連携を持つことの多い養護教諭の協力を得ることが重要です。

4 問題解決の実践例を参考にしてください

〈保健管理の課題解決を図るための実践例〉

健康観察に関する実践例

このA校の実践例は、日常の健康観察による児童生徒の健康状態について、その適切な実施と事後指導を全教職員に周知徹底する上で参考となるものです。A校では、以下のような趣旨及び方法で健康観察を実施しています。

学校教育活動では、児童生徒が負傷したりするような事故が発生することがあります。

その際、学校教育活動について、児童生徒の生命や身体の安全を確保するために、監督者たる教職員には注意義務が要求されます。事故発生の際には、健康観察にも配慮された指導だったのかについても問題点となります。子どもの顔色や表情の変化は、心と体の変化を表すので、教師は子ども一人ひとりの健康の様子をみる目、そして学級を単位とした集団の健康実態の把握が観察できる目をもつ必要があります。保健主事は健康観察が全教師に習慣化されるようにすることと、中学・高校においては教科間での連絡を密にとるシステムづくりを推進する役割が大切になります。

(1) 健康観察と指導者（教員）の果たすべき役割

健康観察にあたって、教員は次のような点に留意することが大切です。

- ① 健康診断の結果を参考にして、児童生徒一人一人の健康状態を把握しておきましょう。
- ② 自分の健康状態を意識させる方法で児童生徒から朝の会や授業前に健康状態を聞きとるとともに、保健的立場からの観察、学習生活の中の観察、医学的観察を通し、個々の児童生徒を見ていきましょう。
- ③ 心疾患等は自覚症状がはっきりしないことから、めまいを起こしたり、運動中に倒れたりしたことがあった児童生徒には、日常の健康観察をきめこまかく行うとともに、医師への受診をすすめることが肝要です。
- ④ 中学校・高等学校においては、学級担任から教科担任、教科担任から学級担任への連絡体制づくり（連絡票など）を位置付けておく必要があるでしょう。
- ⑤ 異常のある児童生徒を確認したら保健室に連れて行き養護教諭の観察を受けるようにしましょう。

命に関わる場合や、重い障害が残るような学校事故の発生については、児童生徒に対する健康状態の把握が日常十分なされていたのかが問題点となります。私たちは、日頃から理解と納得が得られる保健管理を行うことが大切です。

A校では保健的立場からの観察として、次のような項目をあげています。	学習生活の中の観察のポイントは以下のような点です。	医学的観察としては、次のような点をあげています。
○顔色、顔つき ○皮膚の変化 ○苦痛の状況 ○倦怠感（異和感）の有無 ○肢体の支持状況の変化 ○体重の変化 ○生活内容の変化 ○重要な既往歴からの観察 ○その他身体の異常徴候	○学習集中力の変化 ○顔の表情 ○動作行動の変化 ○学力の低下原因のはっきりしないもの ○感情の動揺 ○友だちづき合いの変化 ○欠席の状況 ○姿勢のわるさ ○給食の食べ方	○発熱 ○蒼白 ○発疹 ○頭痛 ○腹痛 ○嘔吐 ○けいれん ○むくみ ○頻尿

(2) 健康観察の方法

健康観察は以下のような観点で行っています。

朝の健康観察、随時の健康観察、帰りの学級活動時の健康観察では、次の項目について実施しています。

〈外見上からわかること〉

〈たずねてみること〉

●全身的な状態について ○子どもらしい元気、活発さ ○日常と変った様子は ○落ち着きは ○ぼんやりしている様子は ○沈んだ様子はないか ●顔つきをみて ○顔色（赤、黄色、青白い等） ○目（赤いか、眼やに、腫れ、涙） ○耳（耳垢、耳だれ） ○鼻（鼻づまり、鼻汁） ○皮膚（発疹、むくみ、けが、しもやけ、あかざれ等ないか） ○口（口角炎、あくび、よだれ）	○よく眠れたか ○朝の食事のようす ○便通があったか ○下痢や便秘はしていないか ○体がだるかったり、寒気がしたりしないか ○めまいや、嘔気はないか ○頭痛、腹痛、歯痛はないか ○衛生状態の観察 ○衣服の清潔状態 ○頭髪をきれいにしているか ○顔、手、足はきれいか ○爪は切っているか ○歯をみがいているか ○ハンカチ・チリ紙を持っているか
--	--

(3) 健康観察の結果の活用

健康観察の結果は次のように活用しています。

- ① 教師が具合の悪い児童生徒を発見したときは、保健室で養護教諭の観察を受けさせる。
- ② 急を要する場合（医師受診の必要なもの）は保護者に連絡し、適切な措置をとる。
- ③ 伝染病集団発生の徴候を発見した場合は校長に連絡し、学校医の意見を伺い、適切な措置をとる。
- ④ 健康観察の結果について、必要に応じて、その場で適切な保健指導を行う。
- ⑤ 継続観察の必要な児童生徒については健康相談の対象とする。
- ⑥ 養護学校における肢体不自由を主体とする重度重複障害児に対しては、その児童生徒の良い状態を把握しておき、平常時と比較し必要により、水分補給や排痰などの対応をする。
- ⑦ 健康観察の記録をまとめ、健康診断の際、保健調査結果と関連させながら活用していく。
- ⑧ 全校の記録を集計、分析し、学校保健計画作成の際の資料とする。

○○小学校 年 組

(A学校)

、 かげによる欠陥

(中学校例)

【自分で行うヘルスチェック】

定期健康診断は、ある特定の日時における健康のチェックですから、必ずしも日々変動する健康状態を把握する上では十分なものではありません。自分の健康状態を常時つかんでおくためには、自らヘルスチェックを行うことが大切です。

自ら行うヘルスチェックは、健康で正常なときの体の様子を基準として、自分で自分の健康をチェックするものです。自分の体温、脈拍、体重等のチェックにより、体がいつもどおり順調に活動しているかどうかを確認することができます。時には潜在している病気や異常を発見することもできます。自分の健康は自分で責任を持ち一生を健康で生き抜くためにも、ヘルスチェックの習慣を身につけることが大切です。ヘルスチェックは、生活のあらゆる機会に行うことが望ましいといえますが、確実に実施することはむずかしいので、起床時、就寝前というように、特定の時間に実施する習慣を身に付けるようにしましょう。

ヘルスチェックの項目とチェックポイントは、A校で用いられている以下の表を参考にしてください。

項 目		チ ェ ッ ク ポ イ ン ト
一般的な症状		痛み（頭痛・腰痛・耳痛など）だるさ、息切れ、 咳、痰、さむけ、ふるえ、動悸
食 大 尿	欲 便	有無、程度
		色、形、固さ、量、回数
	尿	色、量、勢い、時間、回数
	眠	目覚めの状態
体 温		熱感の有無、高熱の有無（体温を測る）
皮 膚		色、つや、むくみ、かゆみ、発疹の有無
顔 目		色（特に貧血、紅潮など）、むくみの有無
手 足		白目の色、視野（両目、片目）視力 動き、むくみ、しびれ、痛みなどの有無

異常が見られたら親や教師に相談しよう。必要があれば医師の診察を受けるようにしよう。

5 定期健康診断の結果の生かし方

定期健康診断の結果の生かし方に関する小学校の実践事例を以下に示しました。

定期健康診断の結果は学級経営、学校保健経営に大いに生かしましょう。

健康診断によって健康上の問題を発見するだけでなく、見出された問題をどのように管理し、さらに指導や教育へとどのように展開していくのか考えることが大切です。健康診断の結果は健康評価のための重要な資料となり、効果的な学校保健の推進にも役立てることができます。

健康診断の結果をまとめ、健康増進を図るために以下の表を参考にしてみてください。

定期健康診断の結果は学級経営、学校保健経営に大いに生かしましょう。

定期健康診断は、健康上の問題を発見するだけでなく、その結果から、見出された問題をどのように管理し、さらに指導や教育へと展開していくのかということに生かすことが必要です。定期健康診断は、健康評価のための重要な資料となり、効果的な学校保健の推進に役立てることができます。

まとめ〈小学校例1〉

平成 年度 健康診断の結果〈疾病異常傾向〉対策→健康増進を図る

学 年		男 1 女		男 2 女		男 3 女		男 4 女		男 5 女		男 6 女		男	女	全 %		対策と指導
受検児童		55	61	67	48	56	54	69	51	66	62	72	60	385	336	721	100.0	判定による生活
心臓	心中隔欠損							1						1	0	1	0.1	継続観察
	心臓、雑音	1	3				1			1	1			2	5	7	1.0	治療のすすめ
	期 外 収 縮	1	1	1										2	1	3	0.4	健康相談
	楽音様雑音			1	1					1				1	2	3	0.4	心電図等検査
腎 臓						1								1	0	1	0.1	腎臓手帳
ぜんそく		1	1	1	1	5	2	2	0	5	1	4	4	18	9	27	3.7	体力作り 母親教室
肥満160		3	0	2	0	3	4	4	3	4	3	1	0	17	10	27	3.7	
159-150		0	0	1	0	1	3	0	2	4	6	0	0	6	11	17	2.4	
視力0.2以下		1	1	1	1	3	1	0	0	2	10	14	6	21	19	40	5.5	
0.6～0.3		2	4	1	0	5	5	9	7	11	9	10	6	38	31	69	9.6	健康相談
0.9～0.7		10	7	5	7	1	1	5	5	8	4	6	5	35	29	64	8.9	

6 快適な学校生活を送れるよう、環境衛生活動に取り組んでいきましょう。

快適な学校環境は、児童生徒の学習能率を向上させ、心を豊かにもさせます。そして、環境衛生の検査・点検項目の内容によっては、児童生徒が教育活動として参加させることが望ましい場合もあります。その際には、学級活動、児童・生徒会活動、学校行事における保健指導として取り上げる等、教育課程の位置付けを明確にすることが大切です。

(1) 学校環境衛生の目的と管理

学校環境衛生の目的は次の3点にあります。

- ① 児童生徒の心身の発達を促し、健康の保持増進を図る
- ② 児童生徒の学習能率の向上を図る
- ③ 児童生徒の豊かな情操を高める

学校保健法においては、学校環境衛生について、次のように規定しています。

学校保健法

第2条 学校においては、児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施しなければならない。

第3条 学校においては、換気、採光、照明及び保温を適切に行い、清潔を保つ等、環境衛生の維持に努め、必要に応じてその改善を図らなければならない。

(2) 環境衛生活動と保健教育

環境衛生の検査・点検項目の内容によっては、児童生徒を教育活動として参加させることが望ましい場合もあります。その際には、学級活動、児童会活動・生徒会活動、学校行事における保健指導として取り上げるなど、教育課程の位置付けを明確にすることが大切です。

保健教育として取り上げることが考えられる内容としては次のようなものがあります。

- ① 身体の高さにあった机・いすの高さ
- ② 教室等の身近な環境の清潔と整理整頓
- ③ 飲み水や水飲み場の清潔と便所の清潔
- ④ 教室などの明るさの保ち方や換気の仕方
- ⑤ ごみの処理や利用の仕方、リサイクルの仕方
- ⑥ 大気や河川などの汚れとそれに対する対処の仕方

(3) 生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動

B中学校では、以下のような取り組みを展開してきました。

学校環境衛生意識調査を生かした学校環境づくり～生徒の主体的取り組みを育てて～というテーマを掲げ、次のような観点で学校環境衛生活動を展開しています。

- ①最近の子どもたちは、必要以上に環境衛生に過敏で逞しさに欠けて育っていないだろうか？生徒の心身のトラブルを聴いて手厚く養護する一方で、訴えの中にひ弱さを感じ、生徒との対応場面で葛藤を繰り返してきた。
- ②それを克服する一つの試みとして、学校環境衛生への取り組みを生徒主導に切り換えて、生徒のより主体的な意識の形成を図ろうとした。

→仮説(1)生徒が保護者や教職員から「してもらっている」限り、物事への受け身の態度や幼さ（過敏さ、ひ弱さ）は持続するだろう。

(2)学校環境衛生活動に生徒が取り組むことにより、自分も学校環境衛生の担い手だという自覚が生まれ、環境に気を配りながらも環境に負けない生徒に育つのではないだろうか。

具体的方法

- ア 生徒会保健執行部を中心に、学校環境意識調査を実施することで普段感じている本校の環境への意識を表現させ、同時に生徒自身に学校環境への問題意識を高めさせる。
- イ 同じ調査を同時に教職員にも実施することで、教職員の問題意識へも働きかける。
- ウ 調査結果を基に、生徒会保健執行部活動を展開する。
- エ その活動を全校生徒に向けて投げ掛ける働き掛けを生徒たちが行う。

そして、生徒会保健執行部が中心となって、次のようなアンケートを実施しました。

アンケートのお願い

生徒会保健執行部

保健執行部活動目標 B中の恵まれた環境を生かし、健康パワーを高めていこう！

保健執行部では、B中の恵まれた教育環境を生かし、さらに健康パワーを高めていくために自分たちの健康課題（学校生活をよりよく健康に送るために解決に向けて考えたい問題）を自分たち生徒の立場から見つけていこうと考えて全校アンケートをとることにしました。

アンケートは、1)自分のからだ 2)自分の生活感覚 3)学校の環境衛生 4)自由感想 から成り立っていますので、ふだん感じていることや考えていることをそのまま書いてください。ご協力よろしく願いいたします。

年	組	NO	名前
---	---	----	----

- 1) 自分のからだについて あなたは自分のからだについて、次のように思うことがありますか？
思い当たるものの番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① すぐおなかが痛くなる | ⑦ 毎年、歯の治療をすすめられる |
| ② すぐ頭が痛くなる | ⑧ すぐ目がいたくなる |
| ③ 気分が悪くなりやすい | ⑨ 喘息（ぜんそく）症状がある |
| ④ 睡眠不足になりがちだ | ⑩ 肩がこりやすい |
| ⑤ すぐからだのだるくなる | ⑪ アレルギー症状をおこしやすい |
| ⑥ かぜをひきやすい | ⑫ けがをしやすい |

その他、自分のからだに関して感じていることがあれば書いてください。

- 2) 自分の生活感覚について あなたは自分のふだんの生活の中で、次のように思うことがありますか？
思い当たる程度の番号に○をつけてください。

(1) かぜくらいなら、特に薬を飲まなくても、自然に治ってしまう。	① はい	② いいえ
(2) 頭が痛いと思っても、気にしないでいれば、そのうち治ってしまう。	① はい	② いいえ
(3) すり傷くらいなら、そのままにしておけば、自然に治ってしまう。	① はい	② いいえ
(4) 学校でいやなことがあっても、次の日には気にならなくなってしまう。	① はい	② いいえ
(5) 電気がついていたり、物音がする部屋でも、平気で眠れる。	① はい	② いいえ
(6) 朝ごはんは、必ず食べるようにしている。	① はい	② いいえ
(7) 新しいクラスになっても、すぐに慣れて友達ができる。	① はい	② いいえ

- 3) 学校の環境衛生について あなたはB中学校の生活の中で、環境をどのように感じていますか？
思いあたる程度の番号に○をつけてください。

(1) 自分は、B中学校で安全な生活を送っていると思う。	① はい	② いいえ
(2) 机とイスの高さは、自分の使いやすい高さに整っている。	① はい	② いいえ
(3) トイレはきれいに清掃されていて、使うのをためらうことがない。	① はい	② いいえ
(4) 電気をつけても教室がうす暗くて黒板の字がよく読めないことがある。	① はい	② いいえ
(5) 学校の周囲の音（車の騒音など）がうるさくてイライラすることがある。	① はい	② いいえ
(6) 授業中、先生の話が周囲の騒音のために、よく聞こえないことがある。	① はい	② いいえ
(7) 教室の風通しが悪いので、気持ちが悪くなることもある。	① はい	② いいえ
(8) 学校の中には、自分の気持ちの安らげる場所（空間）がある。	① はい	② いいえ
(9) 授業をしているときに、壁の色や掲示物が目にちらつき、目が疲れる。	① はい	② いいえ
(10) 飲み水のにおいが気になって飲めないことがある。	① はい	② いいえ

- 4) 自由感想 * アンケート内容についての感想や、保健執行部活動への前向きな意見をいただけたらありがたいと思います。

*ご協力、ありがとうございました。
終了後は、各学級の保健執行部に提出して下さい。

次のような実践例もあります。

飲料水の水質検査



毎朝、保健室では始業前に水質検査をしています。ほとんど0.1~0.3ppmの範囲で、ニッコリ！
♡

B棟1階末端水道の水を採取した。
DPD錠投入後、淡いピンクに変色。
塩素消毒を確認して、ホッと笑顔。

飲料水の水質検査



『私たちは守られている（人的、物的環境に）！』



水泳プールの管理

本年度、初めてのプール使用の日。
T学校薬剤師より、プールの水質検査の測定結果を教えてもらう。
いつもの飲料水水質検査よりも残留塩素濃度が強くビックリ！この日、1.0ppm。



中央廊下の保健コーナー

「職員室って静かだね。」

「いやいや、先生が騒音計を意識しているだけかもね!？」



職員室の騒音レベルの会話。

「優しいお姉さんの声は、何dbですか？」

「ふいっ、どう応えようかな。」

「B中の先生は、話声が大きいよ。」



保健室のお客さんに

「徐行している車は静かだよ。」
「スピードを出して突っ走るダンプカーは最悪だったね。」
「学校の前はゆっくり走ってくださいな。」



7 保健集会の実践例を紹介します

～B中の恵まれた環境を生かし、健康パワーを高めていこう～

全校アンケートをもとにB中の健康課題(飲料水、交通騒音、心の安らぐ場所づくりなど)に迫り、全校生徒・職員・学校医・学校薬剤師…、みんなに考えてもらいました。

保健執行部長

そうかあ、
頼りになるなあ。



学校医 ○○先生

心身の健康と環境衛生の
つながりは深いですよ。
みなさんを、B中地域の
一員としても、学校医と
しても、しっかり見守っ
ていますからね！

ステージ上では、全校アンケート結果を提示中。小太鼓の音響効果に合わせてグラフと割合を提示、そのタイミングにテクニックが必要

🎵 バッチリ



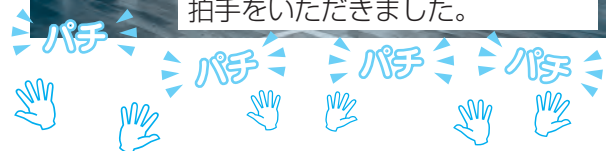
本校が誇る美しい歌声、ゴールデンスペシャルの6人の歌声は、93dbでも騒音じゃない!!



学校薬剤師 T先生

「う〜ん、690人の生徒からとったアンケート結果だからよく考えてコメントしよう。」

T先生は、保健集会前に何度も学校に足を運んでくださり保健執行部の活動を認め褒めてくれました。



[全校の拍手を浴びて、胸が張れた!!]
これが一番嬉しい時です。

8 学校環境衛生活動として取り上げる小学校のコンポスト活用例があります

T小学校では学校給食と学校環境衛生活動を関連づけて、次のような取組を展開しています。

横浜市立のT小学校では給食から出る生ゴミをコンポストにいれ、出来た堆肥を活用しての環境教育に取り組んでいます。給食の生ゴミを投入するのは調理員さんで、取組をよく理解して、心よく引き受けてくれています。

処理された生ゴミは、さらさらとした堆肥になり、学校菜園で、大根、さといも、サツマイモ、落花生などを作るための肥料にしています。種をまくことから収穫するまで、児童の手で行われていますが、生ゴミ処理機でできた肥料を使ったところ育ちがとてもよく、いい野菜ができました。収穫した野菜を使って「いも煮会」を行い、地域のみなさんも参加して大変な盛り上がりとなりました。

また、T小学校では、全校の児童が生ゴミの堆肥を使い1人1鉢植物を栽培して、校庭の周囲やベランダに飾っています。ゴミの減量化や資源化について児童の意識が高まっています。



V 学校保健に関する組織活動を推進しましょう

学校保健活動は、極めて内容が多岐にわたり、多くの人々の協力を得ながら展開される教育活動です。

また、保健管理の面で言えば、学校医、学校歯科医、学校薬剤師のみならず、地域の保健所、医療機関、研究機関などの協力を得なければ効果が上がりにくいものがあります。このような学校保健活動の特質から考えると、それに携わっている人々の共通理解を図り、共通の目標に向かって有機的な連携による、組織的な活動が必要になってきます。

保健主事は、これら組織活動が円滑に展開されるよう教職員や関係者との調整と、計画・準備・資料作り等において、企画力、リーダーシップを発揮することが期待されます。

1 学校保健の組織・体制を整備・充実させます

学校保健活動を効果的に推進するには、組織・体制を整備・充実することが不可欠です。全教職員が学校保健に関する共通理解に立ち、それぞれの責任を明確にし、互いに綿密な連携を保ちながら、校長と教頭の指導の下、保健主事（主任等）、養護教諭や教職員、学校医・学校歯科医・学校薬剤師との連絡・調整を円滑に行い、学校保健委員会の充実と活用を図り、学校・家庭・地域社会と連携を密にすることが重要です。

(1) 円滑に推進するためには、次のような観点に留意することが必要です

校務分掌組織との連携

学校保健活動の推進は、各学年、各学級でどのように実践されるかが重要であり、校務分掌組織との連携を図りながら、その実施の推進に努めます。

校内研修の充実

学校保健活動に関する校内研修を保健部等の教員、特に養護教諭と協力して計画し、実現に努めます。

学校医、学校歯科医、学校薬剤師が参加しての研修会も有効です。

保護者との連携

児童生徒の健康生活を実践する態度や習慣の形成は、家庭に期待するところが大きいため、保護者の啓発の仕方を工夫しその効果を高めるように努めます。

地域社会・関係団体との連携

学校における保健教育や健康診断の実施と事後措置、学校環境衛生検査の実施と事後措置等を円滑に推進するために、地域の関係機関や関係団体と連携を密にし、適切な協力が得られるように努めます。

学校保健委員会の 活性化

学校保健活動の充実とその推進を図るため、学校保健委員会を組織しその運営に当たります。

(2) 企画力とリーダーシップが求められます

学校保健活動は、先に述べたように非常に広範な領域にわたる内容について、多くの人々によって活動が展開されます。そのため、広い視野で物事をよく見て、確かな見通しをもった計画性と実行力が求められます。

児童生徒の実態や家庭・地域の実態等から学校の課題を明らかにし、活動の焦点を絞り、よりよい計画を立てることが学校保健活動を一層充実した活動へと高めることができます。

そこに、計画をたてる力、すなわち企画力が求められます。さらに、計画は、作成のみにとどまらず、実施に移していかなければなりません。それには、行動力、実行力が伴わなくてはなりません。

学校保健の大きな計画とその実施に当たって、保健主事としてのリーダーシップを発揮することが求められます。

(3) 学校保健委員会の開催は学校保健活動を活性化します

学校保健委員会とは、学校における健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進する組織です。

したがって、様々な健康問題に適切に対処するため、家庭、地域社会等の教育力を充実する観点から、学校と家庭、地域社会を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させることにより、「学校保健活動に関する組織活動の推進」を一層高めることになります。

2 組織活動の推進には、次のような課題があります

(1) あまりよく行われていない現状があります

平成13年度実施の「保健主事（主任等）の活動状況等に関する実態調査」によると、「保健主事の職務内容の6項目」のうち、「⑤学校保健に関する組織活動の推進」に関すること（問27～31）は、平均すると「行っている」と回答した割合が3割を切っており、比較的行われている割合の低い職務内容です。

「28. 学校保健に関する校内研修を計画し、実現に努める」については、どの学校種においても「行っている」と回答した割合が低くなっており、困っていると実感している割合も高くなっています。

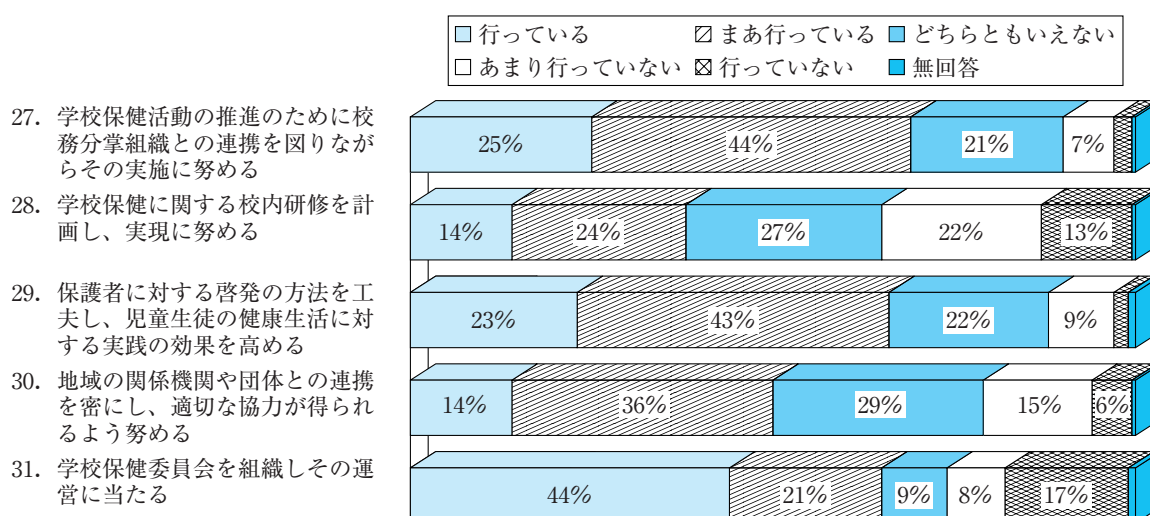
このようなことから、学校保健に対する教職員の共通理解や、意思の疎通は必ずしも十分に図られていないという実情がうかがえます。

「29. 保護者に対する啓発の方法を工夫し、児童生徒の健康生活に対する実践の効果を高める」については、学校種が上へ行くほど「行っている」と回答した割合が低い傾向がうかがえます。

「31. 学校保健委員会を組織しその運営に当たる」については、中学校においては他の学校種に比べ低い割合となっています。

また、各学校種とも、校務分掌との連携を図りながら、学校保健委員会を組織し運営にあたって職務を進めている傾向がうかがえられますが、学校種が進むにつれて地域の関係機関や団体との連携が

学校保健に関する組織活動の推進



図れていない傾向もうかがえます。

(2) いくつかの課題があります

「保健主事の職務内容の6項目」のうち、「⑤学校保健に関する組織活動の推進」に関することについて、困っている理由は、小学校、中学校で「自分自身の努力不足」を一番に上げています。

また、特に困っている項目については、「28. 学校保健に関する校内研修を計画し、実現に努める」について、困っていると実感している割合が高く。理由として、「研修会の機会が少ない」「自分自身の努力不足」「日程の調整がうまくいかない」「学級担任・養護教諭の職務で多忙」の順で回答率が高いことから、校内研修の立案・実践について保健主事としてどのように関与したらよいかが重要です。

「29. 保護者に対する啓発の方法を工夫し、児童生徒の健康生活に対する実践の効果を高める」について、困っている理由として、「保護者の意識の低さ」「保護者の協力不足」が高くなっていることから、保健教育の指導をととして家庭教育力の向上を図る必要があります。

「31. 学校保健委員会を組織しその運営に当たる」について、「行っている」と回答した割合が高いにもかかわらず、「困っている」と実感している割合も高く、その理由については、「日程の調整がうまくいかない」「運営組織の不備」「自分自身の努力不足」が高くなっています。

学校保健に関する組織活動の推進で困っている理由

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小学校	自分自身の努力不足	日程の調整がうまくいかない	学級担任・養護教諭の職務で多忙	運営組織の不備	保護者の意識の低さ
中学校	自分自身の努力不足	日程の調整がうまくいかない	運営組織の不備	研修の機会が少ない	学級担任・養護教諭の職務で多忙
高等学校	日程の調整がうまくいかない	自分自身の努力不足	保護者の意識の低さ	学担・養教で多忙	運営組織の不備

(3) 課題解決のための実践例を参考にしてください

組織活動の一步として、リーダーシップを発揮し、日常活動に取り組んでいきましょう！

日常活動において、保健主事（主任等）として自覚を持ちながら学校保健活動のリーダーシップをとりつつ、組織活動としての調整役となって活動することが必要です。

また、日頃から養護教諭と密接な連携を図り、専門的な立場を生かした協力を得ることが大切です。

活動内容	活 動 の ポ イ ン ト
保健指導のための情報の提供	年間指導計画に基づき、月ごとや週ごとに、題材のねらいや内容の展開に当たって必要な資料を提供し、教師の意識を高めるとともに、質の高い指導への働きかけを行う。
清掃活動	日常使用する場所や施設用具などの清掃や整備に関心をもち、清潔で落ち着いた環境をつくる態度や習慣を身に付ける。集団活動を通して協力、責任、奉仕などの好ましい社会的態度を育てる上で重要な教育的意義をもつものである。清掃活動のねらいや順序などの要領を作成し教職員の共通理解を図って徹底する。
健康観察	児童生徒がその日一日を健康に学校生活が送れるかどうかを把握することは、教育効果の確保や事故防止の上から欠くことができない。とりわけ、朝の健康観察は重要で体調の悪い子の状態、欠席者と欠席理由の確認などは、朝の時点で明確にし、適切な事後措置がとれるようにしておく。「健康観察のしおり」などを作成し、教職員の共通理解を図り、毎日励行するように働きかける。
学校環境衛生の日常点検	教室等の清潔の保持に努めるとともに、換気、採光、照明及び保湿並びに飲料水、学校給食用の食品及び器具、ごみ処理場、便所等の衛生管理を適切に行い、環境衛生の維持または改善を図らなければならない。これらは日常の清掃活動の中で分担し、処理できるもの、学級担任・学校給食担当部門・養護教諭が分担するものがあるので、学校薬剤師の参画を得て日常点検の観点を明確にし、誰が、何を、どのように行うかをはっきりさせておく。
昼食後の菌みがき	小中学校においては、昼食後に「さわやかタイム」「ブラッシングタイム」を設けて菌磨きの時間を設けている場合がある。洗口場の整備に努める。
心と体に問題をもつ児童生徒の相談・指導	保健室を訪れる児童生徒の実態をよく把握し、養護教諭と生徒指導担当教員、教育相談担当教員、学校担任等との連携を図り、適切な対応ができるように配慮する。養護教諭が相談・指導のための研修に参加するときは積極的に支援する。
養護教諭との協力	日常の保健活動を進める上で、養護教諭の専門性が随所に発揮できるよう十分配慮をする。

1 はじめに

本校では平成〇〇年〇月〇日に光化学スモッグによる被害を経験してから、同じ被害を繰り返さないように、事前に光化学スモッグの発生に全職員で注意するとともに、全児童に光化学スモッグの被害にあわないように啓発指導をしている。

しかし、近隣の小学校で被害が発生したという事実はなく、本校のみの何か特殊な事情があるのか解明したいと考え取り組むことにした。

2 取り組んだ内容・方法

本校の学校保健計画によれば、光化学スモッグについては、保健管理（対人管理の5月）の欄に『光化学スモッグ対応として（～10月）』と明記されている。

その具体的な指導については、水泳シーズンが近づくと学級活動の時間に各学級で毎年行われている。その結果、児童も先生方もとても光化学スモッグ被害に対する意識は高く、注意報が発令される以前に担任と子どもたちで対応している様子が見られる。

一般的に考えれば、光化学スモッグ注意報が発令された時点からの対応でよいと考えられる。しかし、平成〇〇年〇月〇日は14時20分に光化学スモッグ注意報が発令されたが、その時刻にはすでに被害が発生しており、被害者は保健室で手当を受けている。

このことより、本校に求められる対策は、注意報が発令される時刻より以前の具体的な対応であり、それは非常に難しいことと考えられる。そこで本校では被害をも防止するために、市環境局大気保全課のテレホンサービスで、事前にその日に光化学スモッグ注意報が発令される可能性があるかどうかを、判断して対応してきている。

その方法の一つとして、過去市内で光化学スモッグ注意報が発令された時のオキシダント濃度の変化をグラフ化しておき、発令が予想される天候の日には、30分から1時間おきにテレホンサービスによりオキシダント濃度を確認し、情報が替わるとにグラフに記載をしていき、オキシダント濃度変化と風向きから過去のデータと照らし合わせて対応の仕方を判断している。

二つ目として、光化学スモッグ校内連絡体制を作成し、発生が予想される時には、校内緊急対策本部を設置し対応している。

3 成果と課題

(1) 学校全体として

水泳シーズン中、毎日朝から1時間毎に、黒板にテレホンサービスの結果を記録しておく先生方がそれを見て、その日の午後は注意報が発令されるおそれがあるからと、水泳の授業時間を午前中に変更して実施するなどの成果があった。

また、今年度注意報が発令された2回とも事前に察知することが出来、水泳の授業中止や時間の変更、屋外活動を中止するなどの事前の手立てが取れ、子供たちが被害に遭うことはなかった。

(2) 保健主事の立場で

解明を目指していた本校の特殊事情については、まだまだデータが少なく、はっきりした原因を見つけることはできなかった。子どもたちを被害から守るために、今後も継続して原因の解明にあたっていこうと考えている。

実践例

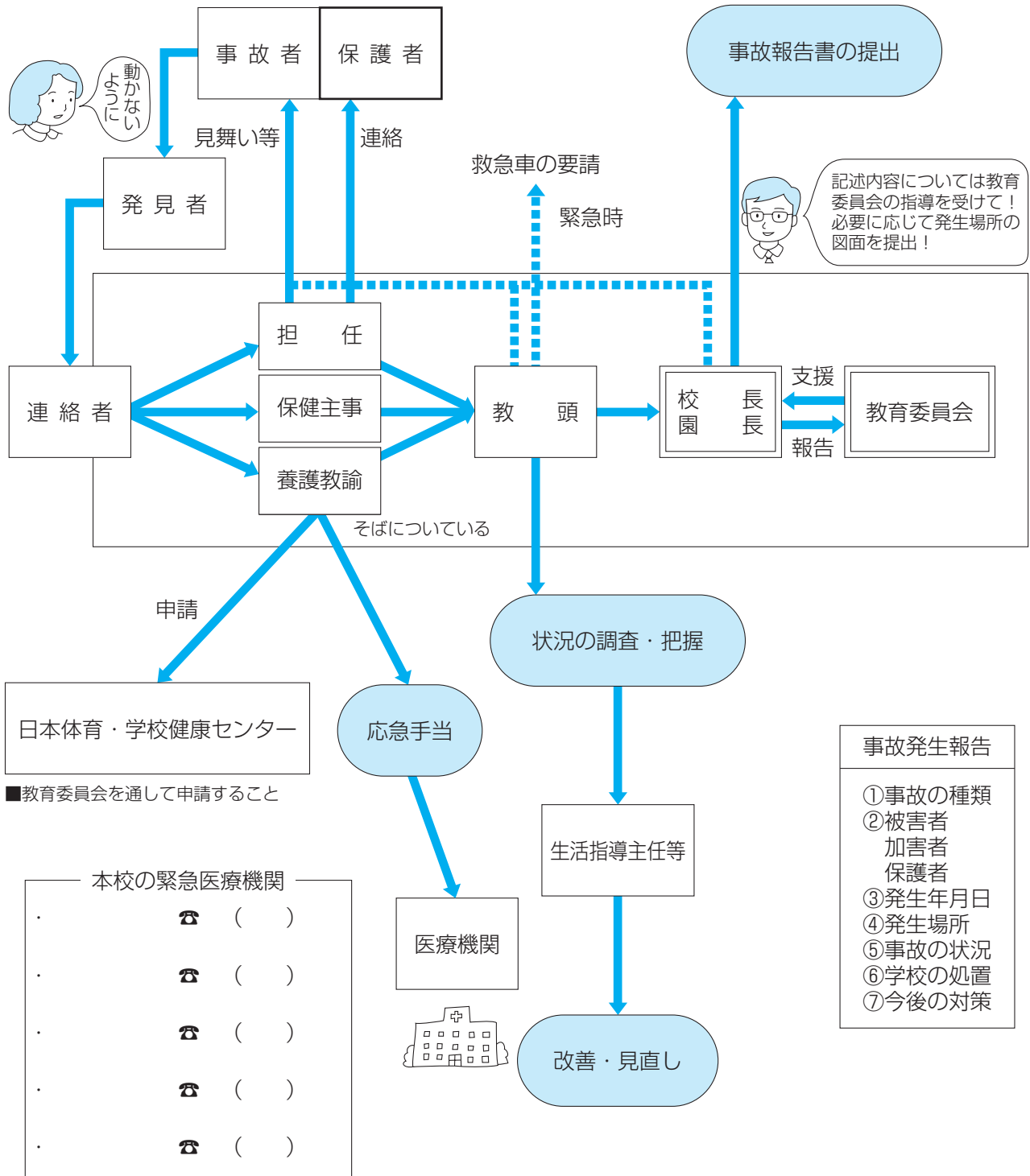
けがや病気への対応手順はどうすればよいのでしょうか？

けがや病気への対応手順

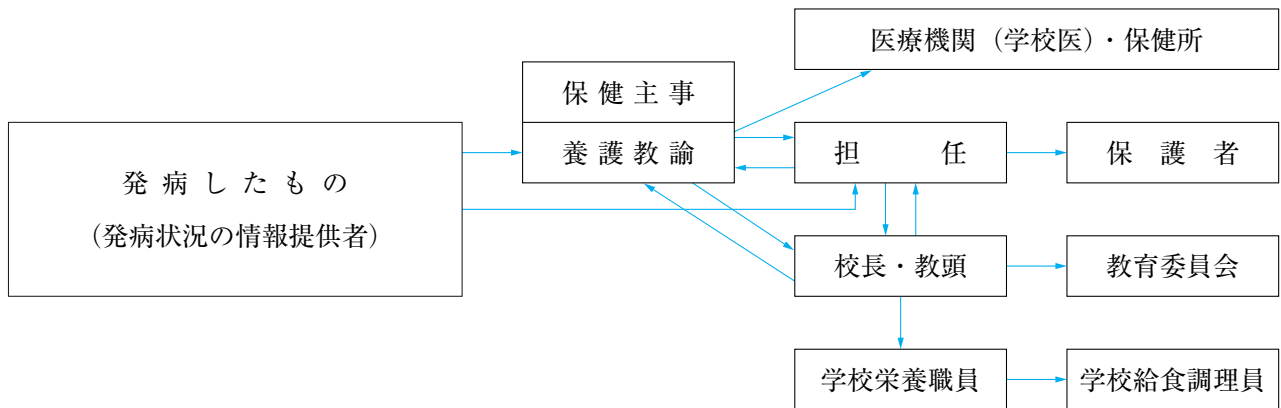
- 第一段階（救急処置）
- 第二段階（その後の対応）

■いじめ・不登校・問題行動への対応も準じる

- ☞ 人命優先で、誠意をもって対応する
- ☞ 迅速で適切な対応をする
- ☞ 時系列で記録をとっておく



1. 食中毒発生の際の連絡体制（傷病事故発生時の連絡体制に準ずる）



学校保健計画作成の際に、校内研修を位置付けましょう！

教職員が学校保健活動に対する認識を高めるために、保健部会等からの提案による保健指導の授業研究を学校保健計画作成の際にきちんと位置づけ、実践的な働きかけをすることも有効な手立てです。また、学校医・学校歯科医・学校薬剤師指導の下で、校内研修を実施することも有効です。

なお、保護者にも参加してもらうことにより、保護者の学校保健に対する意識を高め、家庭との連携を図る手段としても大切なことです。

5年 学校歯科医・養護教諭・校長・保護者との関りから

自分の体をみつめる子

「現在の自分の体や生活について、友だちと協力して調べたり、校医の先生に教えてもらったりする」、「自分たちの調べたことを保護者にも聞いてもらう」を手立てとして取り組んだ。

体に良い薬でも、悪いことがおこることがわかった。薬の中には、とっても怖いやくぶつがあるのを学べてよかった。



私は、この勉強で人の体というものが、とても大切なものだとわかりました。体をたいせつにしたいです。

10月 総合 健康と薬

総合的な学習の時間の中で、シンナーや酒、ちょうどオリンピックがあり問題になっていたドーピングの問題などについて、グループごとに調べた。調べた内容は、授業参観日に友達や保護者に発表した。

6月 体育科（保健） 私たちは、二次性徴のとき

二次性徴について（例 射精・卵巣）関心のある内容ごとにグループを作り、調べ学習した。その後、学習参観日を活用し、友達や保護者に発表した。

保護者の感想
母親にとっては話にくい、男子の成長について、校長先生が自分の体験談から話してくださったので、良かったです。我が子と一緒に学べるよい機会となりました。

「かんでると味が変わるんだ」



11月学級活動 かむことの大切さを知ろう

学校歯科医の先生から、「かむ力」について、実際にいろいろな食べ物をかんだり、かむ回数を変えたりして楽しみながら、学習した。

かむことは、頭のはたらきをよくし、のうに「まんぷく」を感じさせるなんて知りませんでした。口に入れた食べ物が、どんな形でおなかに入るかがよくわかりました。もっと学校歯科医の先生にいろいろなことを教えてもらいたいです……。

食べ物によって、かむ回数がちがうことが良くわかりました。それに、ぼくの歯ならびが悪い原因や太っている原因がよくわかりました。

「いつも皆さんの歯を見てくれている学校歯科医の先生です。今日は、かむ力について教えてもらいましょう。」



専門的知識をもっている学校歯科医の先生・養護教諭・人生の先輩である校長先生との関りから学んだことは、現在の自分の体や将来の自分の体について知るよい機会となった。「自分の体のことがよくわかった」「ちょっとこわい気もするが、勇気がでた」など子どもたちの感想がわかる。また、3つの活動には、保護者も参観する機会を作ったので、親子で共通の話題とするきっかけともなった。

児童生徒のライフスタイルにおける生涯の健康づくり推進のために、家庭・地域との連携を深めましょう！

家庭訪問（地域懇談会）や学校参観、学級PTA（保護者会）学校保健委員会などの機会に学校の方針を説明します。

各種通信（学校だより、保健だより、学年・学級通信等）を活用して、学校保健活動について啓発に努め、理解を深めるようにします。

定期健康診断の事後措置の指示は、単に治療の指示にとどめないで、日常生活行動の改善・向上に関する内容を加えるようにします。

1 基本的な考え方について

(1) 家庭との連携

◆児童生徒の「生涯の健康づくり」を進めていくためには、家庭、地域との連携が不可欠です。特に、健康に関する態度や習慣の形成は、保護者の姿勢に負うところが大きく、本年度からの学校週5日制の完全実施により、ますます家庭の教育力向上が重要になってきています。



(2) 地域社会との連携

◆地域関係機関・団体との連携が必要です。

地域の保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会等との交流を図っておくことは緊急事態の際にスムーズな対処が出来るだけでなく、日常の学校保健活動の推進に欠かせないことです。



2 保護者との協力について

- (1) 家庭訪問や学校参観、保護者会、懇談会等の学校行事などで学校の基本方針を説明し、理解を求める。
- (2) 学校だより、学年だより、保健だより等で学校保健活動の理解を深め、家庭での実践を呼びかける。
- (3) PTA、保護者会等の広報誌をとおして、健康づくりについての情報を流す。
- (4) PTA、保護者会等の協力を得て、講演会、講習会等を開催し、生涯の健康づくりについての考え方の普及を図る。

3 開かれた学校をめざして

(1) 幼・小・中を通しての学校保健活動

◆児童生徒の健康の保持増進のため、自校での個々の健康情報の把握をもとにして、幼稚園・保育

所と小学校との連携、小学校と中学校との連携を密にし、一貫した学校保健活動が実施できるように努めることが大切です。

(2) 学校保健委員会の活用をととして家庭・地域との連携を

- ◆家庭・地域との共通の話し合いの場として学校保健委員会を考えていく。児童生徒の健康について、それぞれの立場から具体的な話し合いができるので、連携を図るうえで重要な機会となります。
- ◆地域の医療機関のみならず、地域諸団体が参加しての地域学校保健委員会も必要になってきています。

様々な健康問題に適切に対処するため、学校保健委員会の充実に取り組んでいきましょう！

学校保健委員会の役割は、子ども自身の健康的な生活行動の確立等を目指した実践と家庭、地域社会の支援をとおして、健康な生活向上に必要な資質や能力を子どもに培うことでもあり、その活性化は、子どもに「生きる力」をはぐくむことになります。

1 学校保健委員会の開催でこんなことが期待できます。

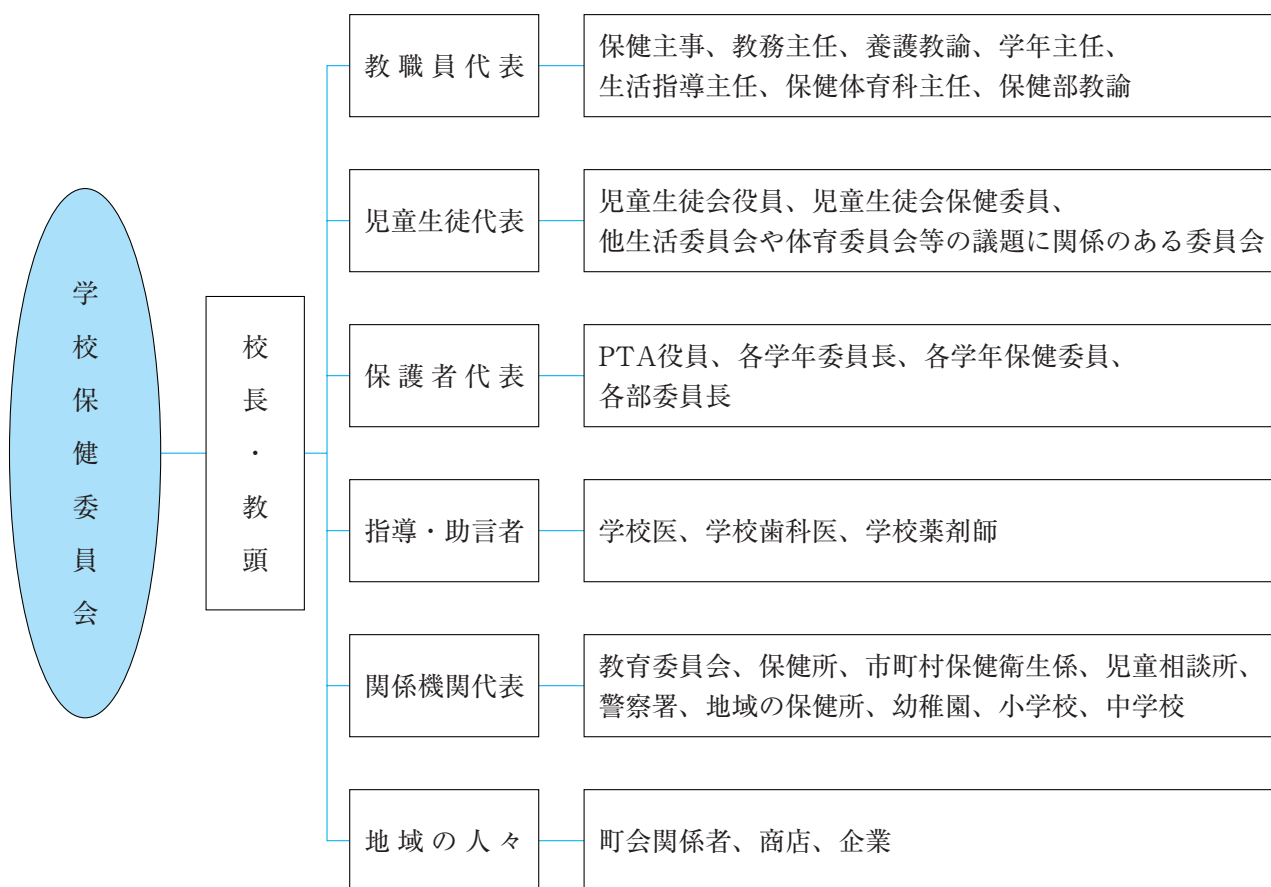
- (1) 食事、運動、休養及び睡眠など規則正しい生活の習慣づくり
- (2) 性に関する問題、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等。また、いじめや不登校の問題など心の健康問題への取り組みの充実
- (3) 水、空気など健康で安全な環境づくりと管理の徹底
- (4) 定期健康診断の適切な事後措置の徹底
- (5) 感染症の予防・対策についての取り組み
- (6) 食中毒の予防・対策の徹底
- (7) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校等が連携した健康づくりの推進
- (8) 災害時の避難や対策等について家庭、地域社会の理解と協力
- (9) 交通安全や生活安全など地域社会等と協力した環境づくりの推進
- (10) 障害のある児童生徒が健康に生活ができる地域社会づくりの推進

2 学校が当面する健康課題の解決に役立つ、生きて働く組織を考えましょう。

学校保健委員会は、学校と家庭、地域社会が連携して、子どもたちの健康問題の解決を推進していくものです。

組織づくりのポイントは、それぞれの学校の実態にてらして、どのような健康問題を解決したいのかを明確にし、その上で構成メンバーを考えましょう。

3 学校保健委員会の構成例



地域の人材の活用

課題により、地域の様々な人々を訪ねたり、委員会に参加していただいたりして多用な課題の解決を図りましょう。

- ・保健所職員
- ・区長、民生委員
- ・栄養士、給食従事者
- ・福祉施設職員
- ・行政関係者
- ・ALT
- ・ボランティア活動をしている人
- ・商店など自営業者
- ・学校医、学校歯科医以外の医師（産婦人科、精神科、小児神経科、歯科医師等）、薬剤師
- ・地区内の他の学校の教師、児童生徒
- ・その他

※安全などについて取り上げるときは、警察や消防などの機関や関係の方々を加えて実施できるよう工夫します。

実践例

これから学校保健委員会を開催しようとする学校のために

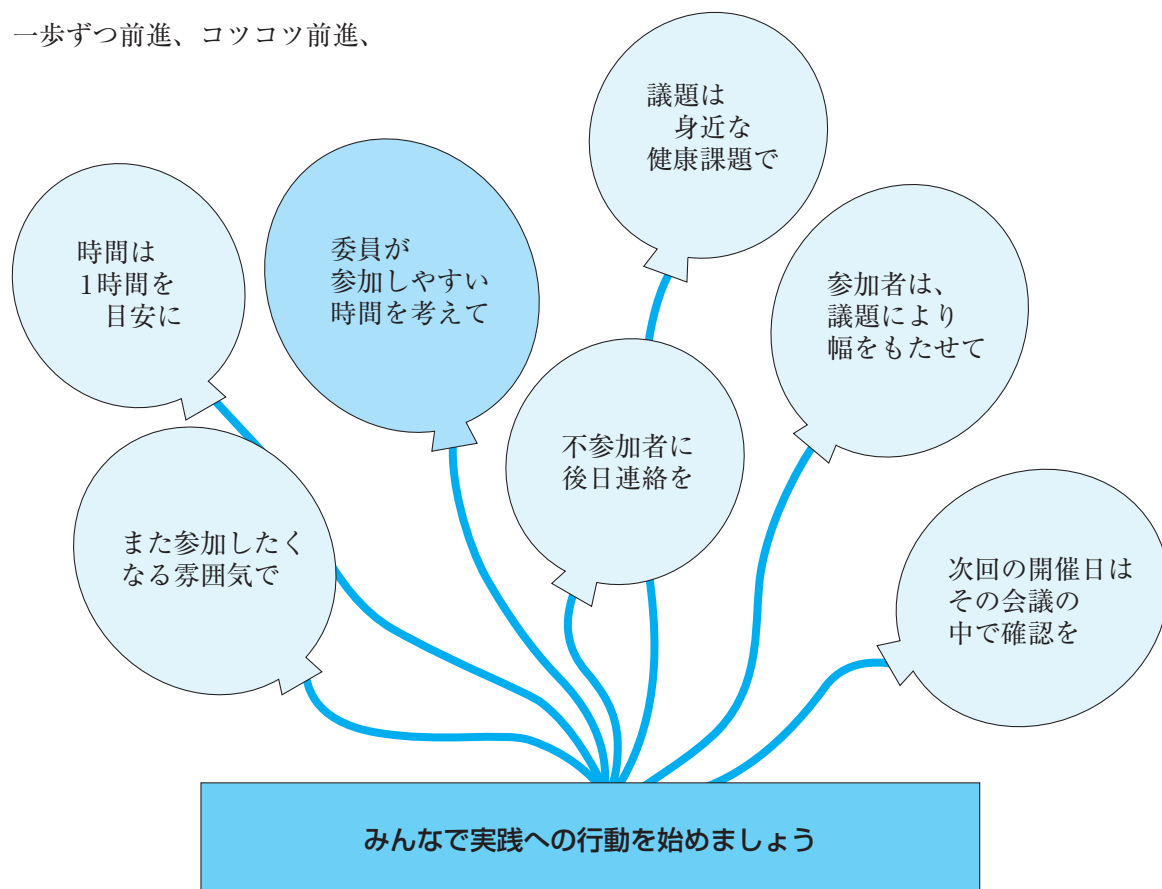
自分の学校に学校保健委員会がないことをどう考えていますか。

必要性を感じなければ、開催はできません。理想を求め過ぎるとクリアしなければならないことが多すぎて、考えているだけで前に進みません。自分の学校の現状を考え、できることは何かを見つけ、とにかくできることから始めることが肝心です。行動を起こすことにより、理解者、協力者の輪が広がっていきます。その行動を起こすのは保健主事のあなたです。

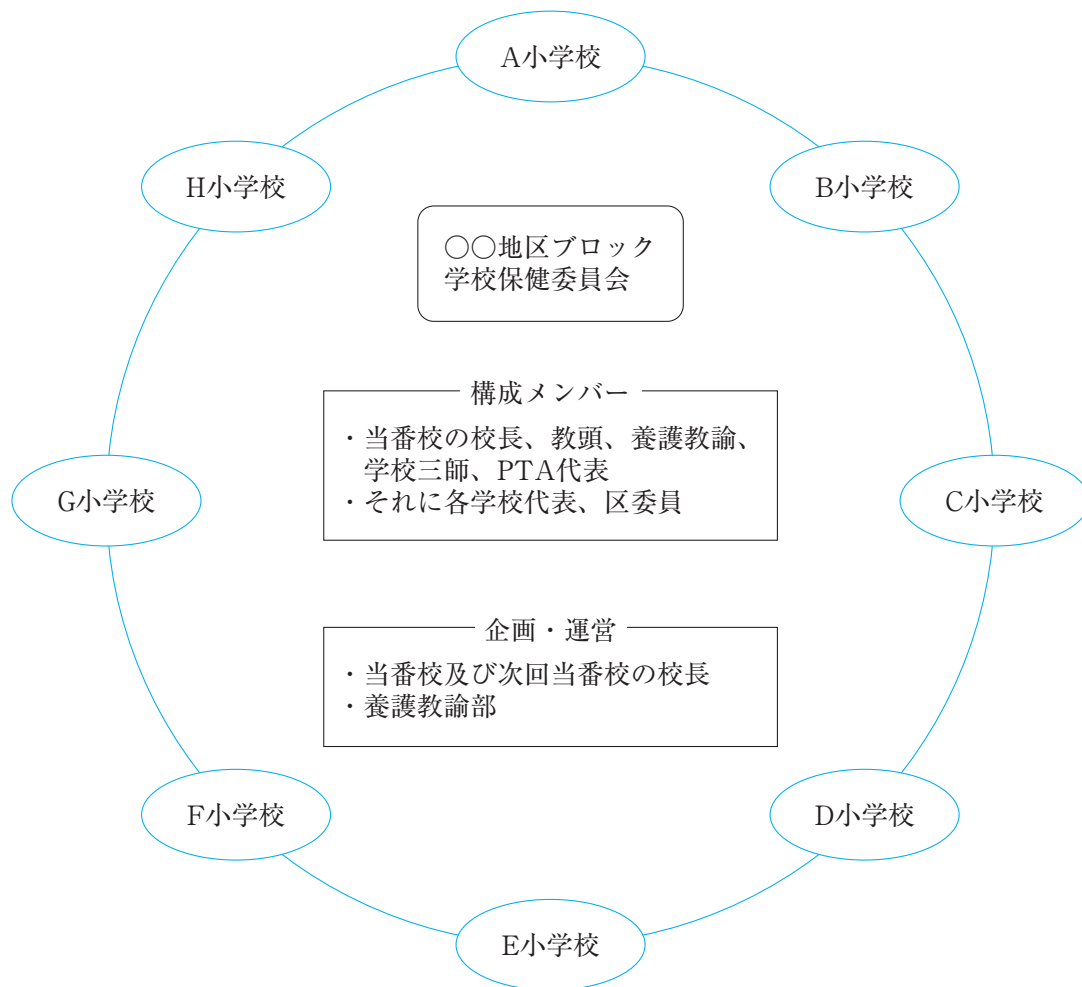
できることから はじめよう

- 1 保健主事のあなた自身、認識していますか？（学校保健委員会の必要性を）
- 2 養護教諭と力をあわせて
- 3 校長先生に相談して
- 4 校内保健部で具体的な計画案の作成を
- 5 企画委員会、運営委員会で共通理解を
- 6 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の協力を
- 7 PTA（保護者会）等の協力を
- 8 評価をしっかりと

一歩ずつ前進、コツコツ前進、



必要感から自然発生的に同種の学校間で組織された例（東京都〇〇地区）



◎各学校に共通した課題等を議題として取り上げるようにする。

◎当番校は8校の持ち回り

◎当番校が会場となり、各校と連絡をとりながら運営

実践例	学校保健委員会の活性化に向けて
-----	-----------------

〇〇県 〇〇高等学校実践例

1. 学校保健委員会構成メンバー

・教職員代表	校長、教頭、事務部長、教務主任、保健主事、養護教諭、生徒指導主事、関係各部担当教員（教育相談、家庭科等）
・生徒代表	生徒保健委員代表
・保護者代表	PTA会長、PTA厚生委員
・指導助言者	学校医、学校歯科医、学校薬剤師
・関係機関代表	S保健所栄養士

2. 実践例 平成〇〇年度 第2回学校保健委員会

(1) 日 時	平成〇〇年9月14日（木） 13:00～14:00
(2) テーマ	「朝食を摂っていきいきとした1日を始めよう」
(3) 議題	①生徒の朝食の現状 ②元気の出る朝食の作り方

(4) 活動の状況

○生徒保健委員

- ・食生活調査（夕食の時刻、夕食後の間食の有無、就寝時刻、起床時刻、朝食の時刻、朝食の準備状況、朝食にかける時間等）
- ・食生活調査の結果の集計と考察およびスライド作成
- ・VTR制作（S高生の朝食インタビュー）
- ・食生活についての素朴な疑問（グループ研究）
- ・骨密度測定

○保健主事・養護教諭等

- ・会議運営案の作成
- ・資料の作成
- ・学校医、学校薬剤師、保健所栄養士との打ち合わせ
- ・PTA厚生委員との打ち合わせ

○学校医等

- ・講演会（保護者・職員対象）「生活習慣病と食生活」
- ・講演会（生徒保健委員対策）「食生活と健康作りQ & A」
- ・食生活調査結果についての指導助言

(5) 議事の展開

○司会…全体（保健主事）、議事の進行（教頭）

○準備…補助教材、VTR資料「S高生の朝食の現状」

スライド資料「食生活調査集計結果」、ノートパソコン、プロジェクター

〈議事の進行〉（所用時間60分）

(5分)	開会（保健主事） 校長挨拶
(20分)	課題〔生徒の朝食の現状〕 養護教諭：現在までの取り組み・本会テーマの説明 生徒：VTR「S高生の朝食の現状」を映写 保護者：我が子の朝食について報告 教職員：生徒の学校生活と朝食摂取の関係について各教員が考察を発表
(22分)	課題〔元気の出る朝食の摂り方〕 生徒：スライド「食生活調査集計結果」を用いての現状分析 生徒：調査結果から気づいた事を発表 ・塾や受験勉強のため夜型の不規則な生活になっているのが朝食を摂れていない原因なのだとわかった。これが将来の生活習慣病につながる心配がある。 ・私は毎日おいしく朝食を食べているのだが、この会に参加しているうちにそれは学校が楽しくて、学校に行きたいからだと気づいた。朝食の摂取状況には精神面の影響もあると思う。 保護者：各家庭の朝食について、工夫していることや問題点を発表 教職員：教科指導の現状と生徒への期待（知識が行動に結びつくように） 生徒：会に参加しての意識変化と今後どのようにしていきたいかを発表 ・この1週間朝食を食べてみたところ、これまでとは違い1時間目から授業に集中できた。朝食は「心と身体の準備運動」だと実感した。
(10分)	学校医等指導助言 学校栄養職員：朝食に必要な栄養素と調理法の工夫について指導 ・体型に敏感な高校生が多いがバランスの良い食事が大切である 学校薬剤師：朝食に対する意識づけの必要性について指導 学校医：スライド「朝食の欠食について」を用いて指導 ・朝食を摂らなくなる時期は高校卒業までが3分の2を占めており、高校時代が朝食摂取を習慣付けるラストチャンスである。
(3分)	次回予告（養護教諭） 閉会

(6) 事後の活動

- 生徒保健委員
 - ・学校保健安全委員会便りの発行
 - ・文化祭保健展の実施
- 保健主事・養護教諭
 - ・教員会議での報告
 - ・参加者アンケートの集計
 - ・S高新聞へ会議資料の提供
- PTA厚生委員
 - ・PTA新聞へ寄稿
 - ・PTA評議会等で報告

実践例

学校保健委員会の事後活動と評価が大切です。

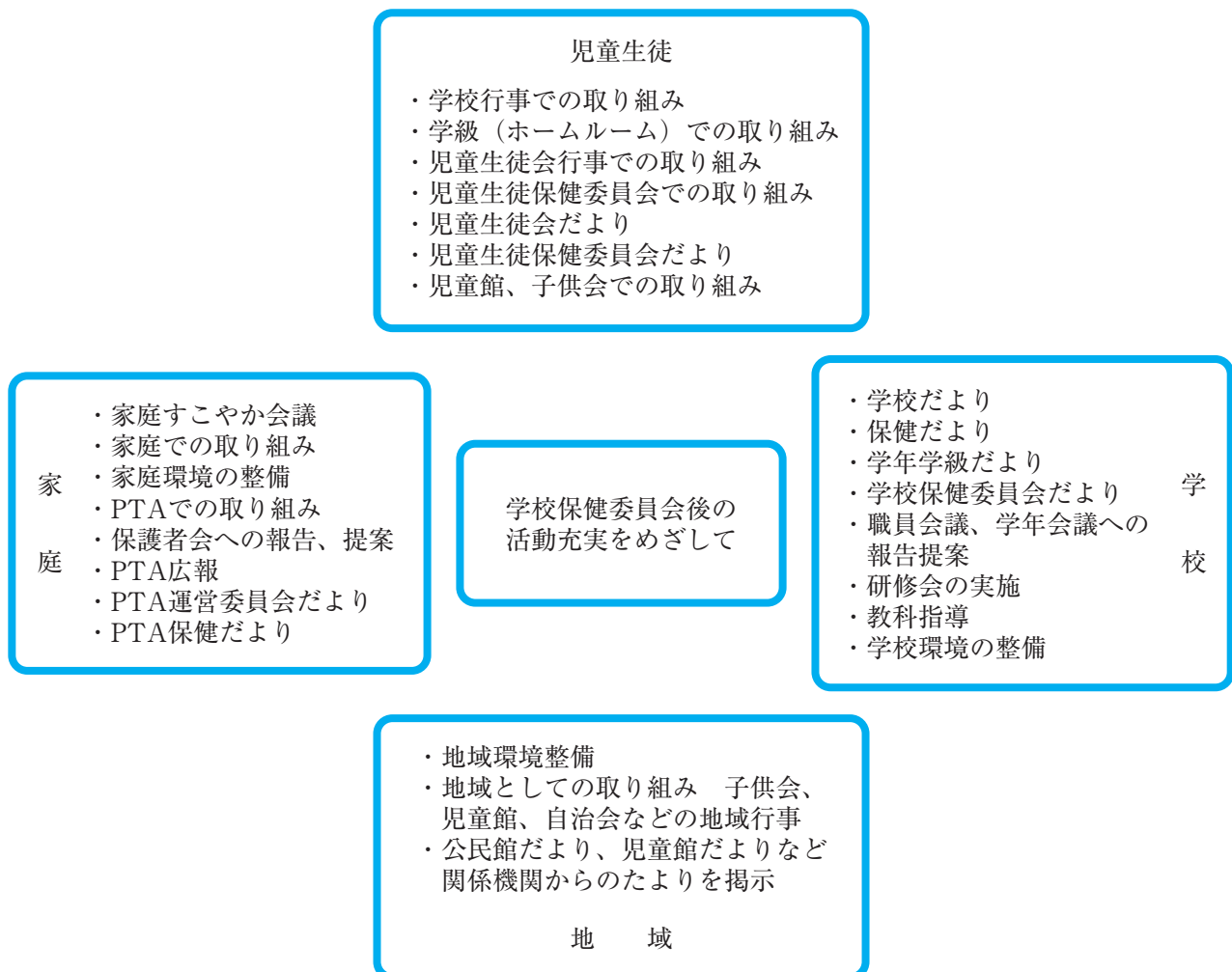
「学校保健委員会マニュアル」(財)日本学校保健会

学校保健委員会を開催してみてどうだったでしょうか。

「開いて良かった!」と、次回が楽しみに待たれるような運営だったでしょうか。学校栄養保健委員会開催のめざすものは、子どもの健康問題を解決し、健康づくりを推進することにあります。

そのため、その後の活動が大変重要となってきます。また、協議された事項のその後の活動が、有機的に結び付くことで効果が期待できます。

①事後の活動



②評 価

次回をさらによくするためにも、評価は大切です。

学校保健委員会は、児童生徒の心身の健康の保持増進につながるものです。ですから、その評価は計画の立案から実施にいたるまでの経過、手順や方法、内容および活動の成果などについて総合的に実施しなければなりません。その際、次の活動の改善ができるように配慮して行うことが大切です。

【保健主事の仕事】

- 保健主事は、学校保健委員会終了後、協議された内容に関し、それぞれの活動内容が計画的に進められるように働きかけましょう。また、その内容が多岐に渡っているため、職員会議などで報告をするとともに、今後の活動計画についても、だれでもはっきりと分かるようにしましょう。全職員の共通理解を図ることが大切です。
- 保健主事は養護教諭と協力し、評価の観点および内容の設定、評価の実施、評価結果の分析を行いましょう。そして、的確な問題把握と問題解決を積極的にすすめましょう。
- 自校の学校保健委員会をさらに魅力的なものにするために、他校の学校保健委員会を参観したり情報交換をすると新しいアイデアやヒントが得られ、それぞれの学校保健委員会の活性化が図られ、充実します。

VI 評価することで自校の学校保健活動のよさを引き出します

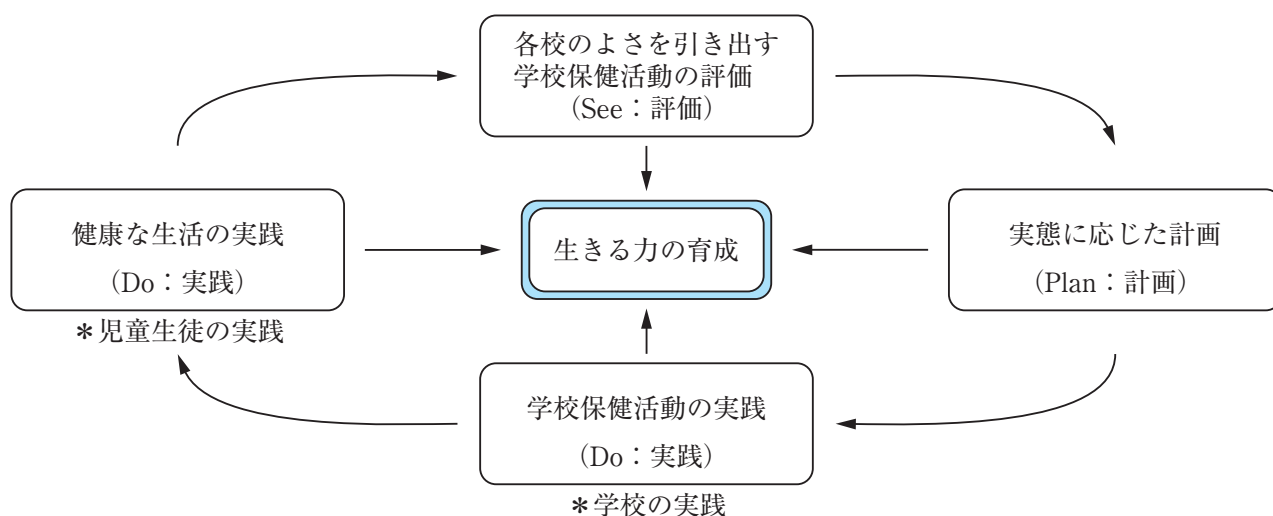
学校保健活動の評価は、学校保健目標を達成するために必要な諸条件の整備状況を確認したり、あらかじめ計画した目標にどの程度到達し、児童生徒がどのように変容したのかなどを明らかにすることにより、改善点を明確にし、より効果的な学校保健活動の実現を図ることをねらいとして行われるものです。

適切な評価が行われることにより、各校の学校保健活動のよさが引き出され、新しい時代にふさわしい学校保健活動を展開することが可能となります。

また、適切に学校保健の評価を行い、総合的な視点から正しく実態を把握し、その後の活動に十分に活かすよう努めることは、保健主事の重要な職務のひとつです。

1 評価を生かした学校保健活動の実践が大切です

学校保健の評価を行うことは、児童生徒の生きる力を育て、一人ひとりが生涯にわたり健康な生活を実践する力を養うことにつながります。



2 学校保健活動は評価から始まります

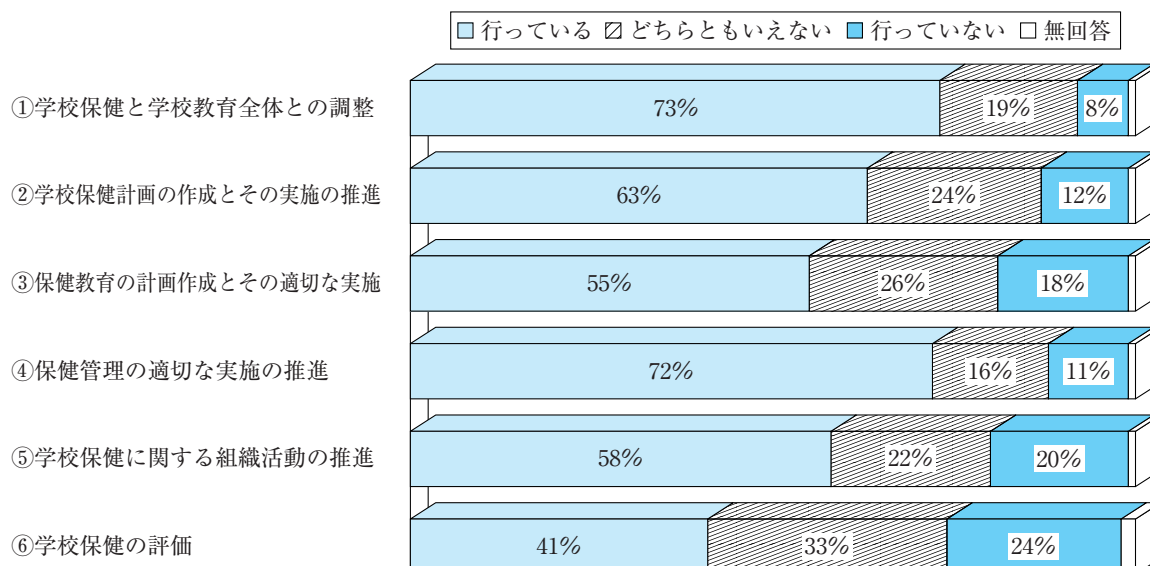
評価が生かされず、毎年（回）同じ反省が繰り返されていませんか？

評価を出発点として考えると、課題、目標、改善策など、いろいろなことが見えてきます！



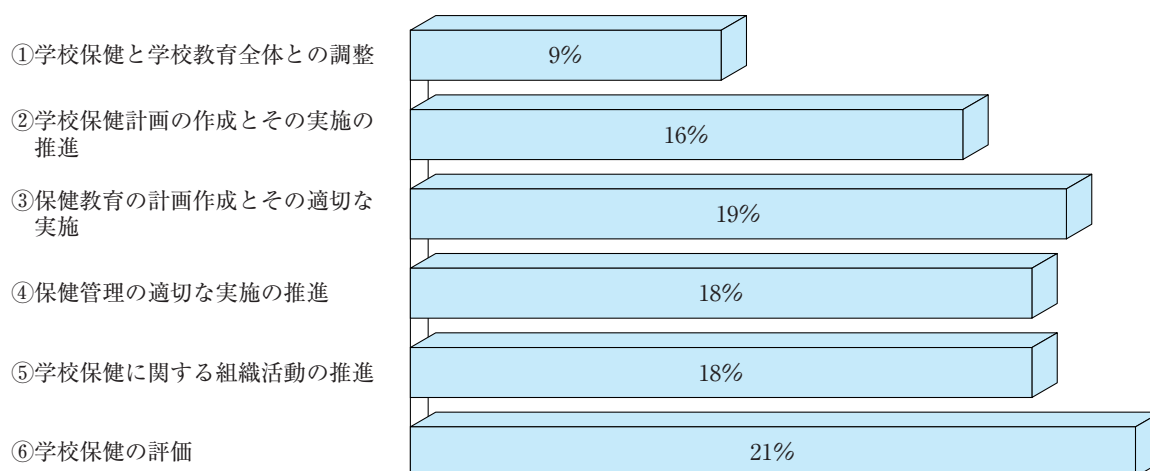
3 いくつかの課題があります

平成13年度実施の「保健主事（主任等）の活動状況等に関する実態調査」によると、保健主事の6つの職務のうち、保健主事が最も「行っている」と回答した割合の最も低かったのが「⑥学校保健の評価」に関するものでした。



保健主事の職務遂行に対する実感

37の具体的な職務内容のうち、保健主事が「困っている」ことの第2位に「学校保健活動の評価について基準を明確にする」をあげていましたが、この他にも学校保健の評価に関する6項目のうち5項目が上位14位までにあげられていました。保健主事の職務のうち、学校保健の評価について困って



保健主事の職務内容6項目について困っていると回答した割合

いる割合が高いことが下のグラフからもわかります。

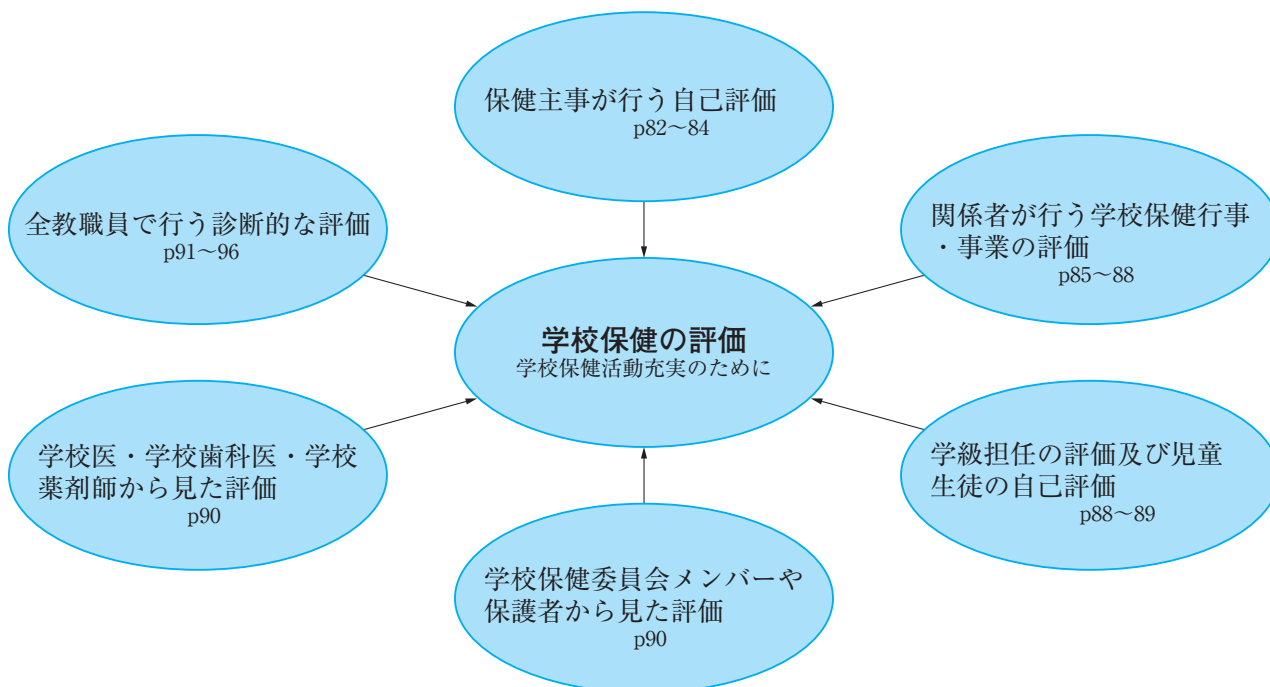
しかし、保健主事が特に留意している職務内容については、評価に関する項目は上位には全く取り上げられておらず、困ってはいるもののあまり改善の意識がうかがえないと言えます。

以上のように、学校保健について適正な評価が行われていないことは明らかであり、各学校で改善が図られずに、毎年同じ課題を抱えたままの状態になっていると考えられます。

○これらの課題を解決するためにも、自校に応じた効果的な評価の実施が必要です。

4 学校保健活動の評価は次のように進めます

学校保健活動の評価には、保健主事が学校保健全体について行う評価、職員が分担して行う評価、職員以外から見た評価など、観点や対象により様々な評価があります。



○この他にも、たくさんの評価のケースが考えられます。評価は学校保健活動の充実に向けて意欲的に取り組めるような評価となることが何よりも重要です。以下の事項を参考に学校保健活動の評価を見直してみましょう。

(1) 分かりやすい方法で評価します

学校では、手軽に評価することができて、しかも分かりやすい評価方法が望まれます。学校保健活動の評価を充実させるには、保健主事として次のような心がけが大切です。

POINT 1

簡単な方法から始める

POINT 2

評価例をまねてみる

POINT 3

反省と改善を重ね、3年程度のスパンで自校に応じた評価方法確立する

(2) 評価にはいくつかの方法があります

評価の方法として、よく用いられる2つの類型を示しますが、これらを使い分けたり、併用したりするとより効果的です。また、この他にも様々な方法があります。

保健主事として、どのような方法が効果的で正しく実態を把握できるのか検討することが重要なポイントとなります。(保健主事の手引(改訂版) P. 80参照)

記述によるもの

各自の意見・感想・要望等を記述し分析する方法で、多くの関係者の意見やアイデアが生かされます。

チェックリストによるもの

チェックリスト表などを用いて、一連の基準により質問事項が用意され回答する方法で、客観的な視点で確認し分析することができます。

評価の規準（基準）

評価を行う際の評価の観点や内容について、次のような点に留意して設定してみましょう。

- ・全国、県、市町村、地域などの実態や目標値と自校を比較しての設定
- ・自校の評価の記録やアンケート結果を累積しての設定
- ・学校保健委員会等で協議し多くの意見を参考に設定

＊地域学校保健委員会等を開催し、複数の学校で共通した観点について確認し合うことは効果的です。

(3) タイムリーに評価します

学校保健の活動ごとに評価の時期や評価の視点が異なります。活動に応じて適切かつタイムリーに評価することが効果的です！

〈学校保健の活動別に見た評価時期や評価の視点〉

◎特に適している ○適している

学校保健活動	評 価 時 期			評 価 の 視 点
	学期ごと	月・週ごと	各活動ごと	
学校保健の基本的な捉え方についての評価	◎			・学校保健の重要性が認識され、学校教育活動全体を通じてその推進が図られているか。 〔教育目標への位置づけ、教師の意識、自校の健康課題への取り組み等について〕
学校保健計画の作成及び改善についての評価	◎		○	・学校保健計画が適切に作成され改善が図られているか。 〔総合的な基本計画としての立案、関係者の意見の反映等について〕
保健教育に関する事項についての評価	◎		○	・保健指導が適切に行われているか。 〔教科、学級活動・ホームルーム、学校行事、児童会活動・生徒会活動、日常生活等について〕
保健管理に関する事項についての評価	◎	◎	◎	・適切に実行または管理されているか。 〔健康診断、健康相談、健康相談活動、学校環境衛生検査及び点検、保健室の備品や薬品管理、表簿の管理等について〕
組織活動に関する事項についての評価	◎		◎	・教職員の協力体制、家庭や地域との連携、学校保健委員会の運営等が円滑・密接に行われているか。 〔学校保健委員会の計画的な開催、推進体制の機能、児童生徒の参加等について〕

(4) 評価は手順よく進めましょう

評価の手順としては、次の表を参考にしながら進めるとよいでしょう。その際に、評価方法によって企画・実行の内容が異なることに注意しましょう。

＜学校保健評価の手順（例）＞

			評価方法	
			記述	チェックリスト
評価の企画	前回（前年）の評価			
	評価の目標は？	何のために評価を行うのか目的を明らかにする。	●	●
	実態は？	聞き取り・アンケート等により、問題点を明らかにする。		●
	評価の目安は？	具体的な評価観点を設定する。 （保健主事の手引きP77を参照し） （自校に必要な観点を選定する）		●
	どんな方法で？	内容に応じて、記述式、チェックリスト方式等の評価方法を決定する。 （保健主事の手引きP80参照）		●
	何と（を）比べるの？	それぞれの観点の到達目標である評価規準を設定する。また、その評価が適切かどうか判断するための比較対照となる評価基準を明確にすると客観的な評価が可能となる。		●
	みんながわかるの？	実施対象者、実施日、時間、実施者、回収方法等について明記し関係者へ周知する。	●	●
評価の実施	誰がするの？	評価者への趣旨説明、データ収集の協力を依頼する。	●	●
	回収・集計は？	データ・資料を収集し、どのような手順で集計し、どのように整理して生かすのか確認する。	●	●
	分析・考察は？	関係者により問題点を明らかにし、その対応・改善策について検討する。	●	●
応用	関係者への報告は？	職員会議や学校保健委員会で協議したり、文書等で関係者へ報告する。	●	●
	改善に向けて……	関係者で改善策（案）を検討し、実際に取り組む。	●	●
			次回へ！	

5 保健主事としての自己評価をしてみましょう

まずは、実際に保健主事としてどのくらい職務を遂行しているか自己評価をしてみましょう。

あなたは、保健主事として十分に職務を果たしていると思いますか。次の37の項目は、保健主事の主な職務としてあげてきた6つの事項をさらに詳しく取り上げたものです。それぞれについて自己評価し、保健主事として職務を遂行する上での課題や改善すべき事項をチェックしてみましょう。

【評価の方法】

37項目の評価

＊職務の具体内容ごとに3点満点で
 十分満足できる……………3点
 おおむね満足できる……………2点
 努力を要する……………1点
 行っていない……………0点

平均点の計算

＊6つの職務内容ごとに記入

グラフへ記入

＊実態を把握し課題を見つける

対応策の検討

＊目標値を設定し、グラフへ記入

＜保健主事の職務内容別自己評価＞

ア 学校教育全体との調整

NO	保健主事の職務の具体内容	4段階評価	合 計 均
1	児童生徒の健康状態や健康生活の実態等を把握していますか？		合計点 〔 〕 5
2	児童生徒の健康問題を学校運営の重点課題とし、解決が図られるよう努めていますか？		
3	学校運営組織の中に学校保健の分野を適切に位置づけるよう努めていますか？		
4	学校保健の分野の運営組織を全教職員が役割分担して活動できるよう調整していますか？		平均点 〔 〕
5	教務主任や教科主任と連携し、保健教育、保健管理と教育活動全体との調整を図っていますか？		

イ 学校保健計画の作成と実施

NO	保健主事の職務の具体内容	4段階評価	合 計 均
6	学校保健計画の作成に当たって、学校保健の評価記録を生かすよう努めましたか？		合計点 〔 〕 6
7	学校保健計画の作成に当たって、児童生徒の実態を生かすよう努めましたか？		
8	学校保健計画の作成に当たって、保護者、関係機関等の意見も生かすように努めましたか？		
9	学校保健計画の内容について、保健指導での時間が適切に確保されるように努めましたか？		平均点 〔 〕
10	学校保健の内容が全教職員に理解されるよう、作成の過程を大切にしましたか？		
11	学校保健計画の内容について、個に応じた、行き届いた指導ができるよう調整に努めましたか？		

ウ 保健教育の計画と実施

NO	保 健 主 事 の 職 務 の 具 体 内 容	4 段階 評 価	合 平 計 均
12	保健指導の年間計画について、学年ごとの題材名、ねらい、内容を明らかにしましたか？		合計点 〔 〕 5
13	題材ごとや活動ごとの指導計画を作成し、適切な時期に提供できるよう努めていますか？		
14	保健指導が特別活動の計画に位置づけられるよう、特別活動主任などとの調整を図りましたか？		
15	保健学習の内容について保健指導との関連が図れるように努めていますか？		平均点 〔 〕
16	保健指導に必要な指導資料や教材・教具等について整備し、活用できるようにしていますか？		

エ 保健管理の実施

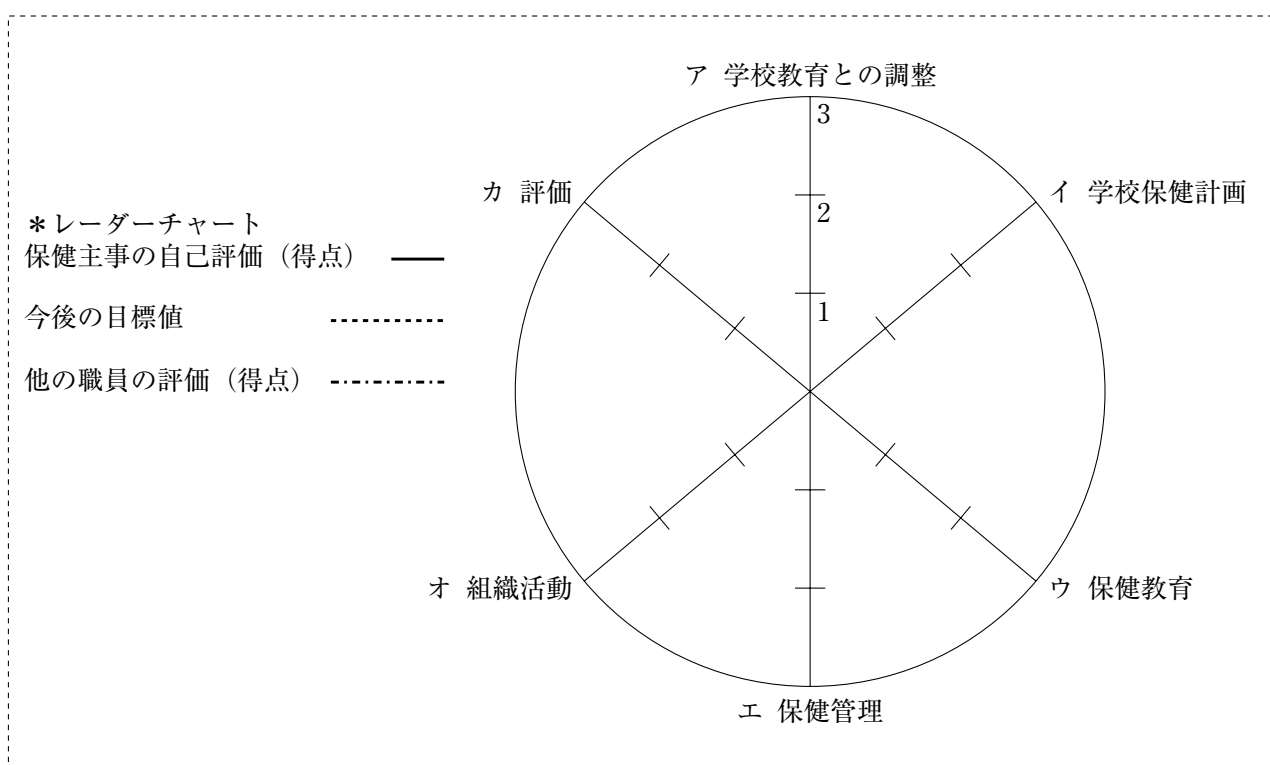
NO	保 健 主 事 の 職 務 の 具 体 内 容	4 段階 評 価	合 平 計 均
17	毎朝の健康観察における目的や方法について、全教職員に周知徹底するよう努めていますか？		合計点 〔 〕 10
18	健康観察を通して児童生徒の心身の状態を把握し、教育活動に生かせるよう努めていますか？		
19	定期健康観察に際して、全校的に健康意識が高められるよう配慮していますか？		
20	学校環境衛生の定期点検や日常点検が適切に行われるようにしていますか？		
21	学校環境衛生の定期点検や日常点検の結果を生かし、適切な環境の維持・改善を図っていますか？		
22	児童生徒が快適な学校生活をおくれるよう美化活動を推進していますか？		平均点 〔 〕
23	児童生徒の健康生活の実践状況を把握し、保健指導の計画や改善に役立てるよう努めていますか？		
24	健康診断や学校環境衛生の定期検査後、教職員との懇談の機会をもち、相互理解を深めていますか？		
25	健康診断の後、学校医、学校歯科医との懇談の機会をもち、相互理解を深めていますか？		
26	学校環境衛生の定期検査後、学校薬剤師との懇談の機会をもち、相互理解を深めていますか？		

オ 組織活動の推進

NO	保 健 主 事 の 職 務 の 具 体 内 容	4 段階 評 価	合 平 計 均
27	学校保健活動の推進のために校務分掌組織との連携を図りながらその実施に努めていますか？		合計点 〔 〕 5
28	学校保健に関する校内研修を計画し、実現に努めていますか？		
29	保護者に対する啓発の方法を工夫し、児童生徒の健康生活に対する実践の効果を高めるようにしていますか？		
30	地域の関係機関や団体との連携を密にし、適切な協力が得られるよう努めていますか？		平均点 〔 〕
31	学校保健委員会を組織しその運営に当たっていますか？		

カ 学校保健の評価

NO	保健主事の職務の具体内容	4段階評価	合計点 平均
32	学校保健活動の評価について目的を明確にしていますか？		合計点 〔 〕 6
33	学校保健活動の評価について対象事項（保健教育、保健管理、組織活動）を明確にしていますか？		
34	学校保健活動の評価について基準を明確にしていますか？		
35	学校保健活動の評価について時期を明確にしていますか？		平均点 〔 〕
36	学校保健活動の評価について全教職員の理解と協力を得ていますか？		
37	学校保健活動の評価の結果を次の計画と活動に生かしていますか？		



保健主事としての反省はいかがでしたか？

自己評価から課題を明らかにし、次の評価例を参考にして改善に努めましょう。

6 さまざまな評価の事例があります

学校保健活動全体を評価する場合の例

* 文書記述による評価

項 目	評 価 の 視 点	反省・課題・提言
学校保健の基本的な捉え方	- 学校保健の重要性が認識され、学校教育活動全体を通じてその推進が図られているか。 〔教育目標への位置づけ、教師の意識、自校の健康課題への取り組み等について〕	
学校保健計画の作成及び改善	- 学校保健計画が適切に作成され改善が図られているか。 〔総合的な基本計画としての立案、関係者の意見の反映等について〕	
保健教育に関する事項	- 保健指導が適切に行われているか。 〔教科、学級活動・ホームルーム活動、学校行事、児童会活動・生徒会活動、日常生活等について〕	
保健管理に関する事項	- 適切に実行または管理されているか。 〔健康診断、健康相談、健康相談活動、学校環境衛生検査及び点検、保健室の備品や薬品管理、表簿の管理等について〕	
組織活動に関する事項	- 教職員の協力体制、家庭や地域との連携、学校保健委員会の運営等が円滑・密接に行われているか。 〔学校保健委員会の計画的な開催、推進体制の機能、児童生徒の参加等について〕	

保健活動についての評価の例

*チェックリストと文書記述を併用した評価

平成〇〇年度 学校保健活動評価票

担当者名 ()

これまでの保健活動を反省し、今後の活動に生かしたいと思いますので、皆さんのご意見をお願いします。

次の項目について自己評価をし、反省事項・課題・提言・要望等があればご記入ください。

(1) 学校保健活動全体について

ア 健康教育の重点事項を考慮し活動できましたか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

イ 学校保健計画に基づいて活動できましたか。また、計画に問題はありませんでしたか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

ウ 教科等において保健教育は十分行われましたか。また、問題点はありませんでしたか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

エ 健康診断、健康相談、学校環境衛生検査等が適切に行われましたか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

オ 教職員の協力体制、学校保健委員会の開催内容、家庭や地域との連携は適切でしたか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

(2) 児童生徒について

カ 健康について関心を持って生活していますか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

キ 基本的な生活習慣が確立されていますか。

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い ()

ク 本校の健康課題とは何だとお考えですか。

()

ケ 次年度に向けて、改善すべき事項をあげてください。

()

コ その他、要望や改善策などあればお書きください。

()

御協力ありがとうございました。

なお、この用紙を〇月〇日までに、保健主事〇〇まで御提出ください。

学校保健委員会を評価する場合の例

評価基準と記述式を併用した評価

評価基準

A：大変良い

B：良い

C：改善を要する

評 価 内 容	評 価 の 観 点	評 価			反省・課題・提言
計 画	①計画に沿って開催できたか	A	B	C	
	②前回の反省を生かして開催したか	A	B	C	
運 営	①日程、時間帯は適切であったか	A	B	C	
	②会場、配置は適切であったか	A	B	C	
	③参加メンバーは適切であったか	A	B	C	
	④テーマに沿った協議ができたか	A	B	C	
	⑤協議のテーマは適切であったか	A	B	C	
	⑥参加者が主体的にかかわれたか	A	B	C	
	⑦要項・資料は適切であったか	A	B	C	
	⑧会の進行はスムーズであったか	A	B	C	
実践に向けて	①参加者が実践すべき活動を明確に捉えていたか	A	B	C	
	②今後の具体的活動を明確にしたか	A	B	C	
	③次会のテーマ、開催日時等を示したか	A	B	C	
特 記 事 項					

学校保健行事の実施後に行う評価の例

*評価の参考資料とする質問用紙

平成〇〇年度〔 〕の感想

記入者 *〇で囲んでください	本事業の実施についてご意見をお聞かせください。 *主な視点			
	ア 実施の時期	イ 実施内容	ウ 実施方法	エ その他
校長	ア	イ	ウ	エ
教務主任				
教頭	イ	ウ	エ	オ
生徒指導主事				
研修主任	ウ	エ	オ	
学年主任				
養護教諭	エ	オ		
体育主任				
学校医	オ			
学校歯科医				
学校薬剤師				
PTA ()				
その他 ()				

学級担任が児童生徒の保健（健康・衛生）について行う評価例

*評価の参考資料とする質問用紙

日頃から、学級担任が児童生徒の健康状態について意識していることが重要です。次のような評価を定期的に行うことで、学級の健康課題が発見されやすくなります。

中学校 年 組の保健評価（ 月 日）

担任

* A 満足できる B 普通 C 改善が必要

次の項目について評価し、学級の健康課題はないか確認してください。反省事項については、保健主事や養護教諭と検討し改善に努めてください。

(1) 学級の評価

ア 児童生徒が自己の健康に関心を持って生活していますか？	A	B	C
イ 手洗い・うがいなど衛生的な生活を送っていますか？	A	B	C
ウ 食生活、睡眠など規則正しい生活を送っていますか？	A	B	C
エ その他、健康に関して気づいたことはありませんか？			
{ }			

(2) 教師の自己評価

ア 学校保健計画に基づいて活動できましたか。	A	B	C
イ 学級活動・教科等において保健教育は十分に行われましたか。	A	B	C
ウ 不安や悩みをもつ生徒の把握・援助に努めましたか。	A	B	C
エ その他、保健活動等について反省事項等ありませんか？			
{ }			

児童が行う自己評価を活用した例

* アンケート結果集計する評価

健康生活アンケート

年 組 番 なまえ

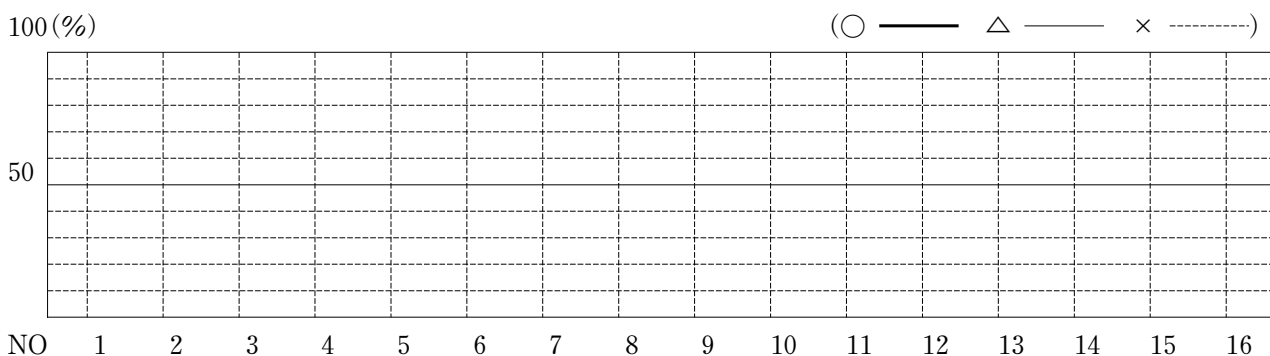
1 年を振り返り、元気に生活できたかどうか反省をしてみましょう。

(よくできた○、だいたいよくできた△、できなかった×)

	○・△・×
1 はやねはやおきができましたか？.....	
2 食事のまえやトイレのあとに手を洗いましたか？.....	
3 朝ごはんをまいにち食べましたか？.....	
4 朝、だいべん（うんこ）をしてから学校へきましたか？.....	
5 食べたあと、はみがきをしましたか？.....	
6 いつもハンカチをもっていましたか？.....	
7 いつもチリガミをもっていましたか？.....	
8 けがをしませんでしたか？.....	
9 びょうきにかかりませんでしたか？.....	
10 むしばをちりょうしましたか？.....	
11 食べもののすききらいをなくそうとしましたか？.....	
12 べんきょうちゅう、しせいを良くしようと思いましたか？.....	
13 テレビやファミコンをする時間をみじかくしようと思いましたか？.....	
14 スナックがしやジュースのとりかたに注意しましたか？.....	
15 まいにちお風呂に入り、からだのせいけつにつとめましたか？.....	
16 からだ（けんこう）によいことを何かしましたか？.....	
*○の人はどんなことをしましたか？	
{	}
17 今年のはんせいと、来年の目標を書きましょう	
{	}

【教師集計用グラフ】

* 問いの番号ごとに ○ △ × と答えた児童生徒の割合を折れ線でグラフに記してみましょう。



学校保健委員会（教職員以外）メンバーが評価する例

*評価基準をもとに観点について行うの評価

A 積極的に、継続して実施

B 必要に応じて改善が必要

C 改善が必要

（保健主事の手引〈改訂版〉より）

〈観点〉学校保健計画が適切に作成され改善が図られているか。（○で囲む）

①学校保健計画が保健教育、保健管理及び組織活動を含む基本的な総合計画となっているか。

A B C

②保健教育、保健管理及び組織活動に関する内容がもれなく盛り込まれているか。

A B C

③学級担任等教職員の意見、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の意見が反映されているか。

A B C

④養護教諭の情報や意見を反映し、共に協力して作成しているか。

A B C

⑤児童生徒の実態や地域社会の実態等が反映されているか。

A B C

⑥前年度の学校保健に関する評価の結果が生かされているか。

A B C

学校保健活動について保護者の意見を聞くアンケート例

お子さんの健康についてのアンケートです。ご協力ください。

〇〇小学校

	生活の様子	該当を○で囲む	反省やご意見等
お子さんについて	①お子さんは健康に関心を持って生活していますか	良い 普通 悪い	
	②お子さんは規則正しい生活を送っていますか	良い 普通 悪い	
	③お子さんの心やからだの健康について心配なことはありませんか	ある ない	
学校の保健活動について	④学校で行われている保健活動（教育）に関心がありますか	はい いいえ	
	⑤健康診断の結果について関心を持ってご覧になっていますか	はい いいえ	
	⑥学校医の先生をご存じですか	はい いいえ	
	⑦学校歯科医の先生をご存じですか	はい いいえ	
	⑧学校薬剤師の先生をご存じですか	はい いいえ	
	⑨お子さんの学校の養護教諭をご存じですか	はい いいえ	
ご家庭の声	⑩学校で行う健康教育についてご意見やご要望があればお書きください。		

全職員が分担して行う評価の例

*チェックリストによる評価

より効果的な評価を行うためには、保健主事ひとりが評価するのではなく、保健関係職員または全職員により客観的に評価することが大切です。

そのためには、評価者が共通理解のもとで同じ視点に立ち、評価を行うための評価規準や評価基準を設ける必要があります。

各学校の実態に応じた評価の規準・基準、評価の観点を設定し、担当者を割り振って評価してみましょう。

活 用 例

* 複写用は次ページから

〇〇中学校 学校保健活動 評価表 (例)

*記入例

- 1 チェック欄に、次のような視点から記入する。
「積極的に行った・特に努力した」など◎
「良好・普通」は○
「していない・今後努力したい」は空白
- 2 評価基準を元に、評価の欄にA～Cを記入する。
- 3 反省・課題・提言の欄に記入する。

評価基準

- *評価観点について◎や○が
半数を超えている……………A
- *◎や○がない……………C
- *それ以外……………B

学校保健の基本的な捉え方について

〔記載者名〕 2 学年 保健担当 ○○○○○○

評価規準	評 価 の 観 点	◎○	評 価	反省・課題・提言
学校保健に対する考え方、捉え方が適切である。	(1)学校保健に対する考え方が確かなものになっているか (2)学校保健の基本的な内容を保健教育と保健管理ととらえ、それを組織的に推進しているか (3)保健主事の役割及び学校保健を推進する校内の体制の重要性が認識されているか (4)学校保健に関する家庭、地域社会との連携の重要性について、教職員の共通理解が図られているか (5)学校保健計画が保健教育、保健管理及び組織活動を含む総合的な基本計画となっているか (6)学校保健委員会を設置するなど、積極的に家庭及び地域社会との連携に努めようとしているか	○ ◎ ◎	A [評価基準] ◎と○が 4つ以上…A 1～3 ……B 0 ……C	「健康」について、教育目標にしっかりと位置づけ、組織的に取り組むことができた。 学校保健委員会を組織化しているものの、年間1回の開催ではその効果が生まれなかった。 年間3回は開催すべきであり、次年度の年間計画に組み込むべきである。

ア 学校保健の基本的なとらえ方について

〔記載者名〕

評価規準	評 価 の 観 点	◎○	評 価	反省・課題・提言
学校保健に対する考え方、捉え方が適切である	(1)学校保健に対する考え方が確かなものになっているか (2)学校保健の基本的な内容を保健教育と保健管理ととらえ、それを組織的に推進しているか (3)保健主事の役割及び学校保健を推進する校内の体制の重要性が認識されているか (4)学校保健に関する家庭、地域社会との連携の重要性について、教職員の共通理解が図られているか (5)学校保健計画が保健教育、保健管理及び組織活動を含む総合的な基本計画となっているか (6)学校保健委員会を設置するなど、積極的に家庭及び地域社会との連携に努めようとしているか		〔評価基準〕 ◎と○が 4つ以上…A 1～3 ……B 0 ……C	

イ 学校保健計画について

〔記載者名〕

評価規準	評 価 の 観 点	◎○	評 価	反省・課題・提言
学校保健計画が適切に作成され、必要に応じて改善が図られている	(1)学校保健計画が保健教育、保健管理及び組織活動を含む総合的な基本計画となっているか (2)保健教育、保健管理及び組織活動に関する内容がもれなく盛り込まれているか (3)学級担任等教職員の意見、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の意見が反映されているか (4)養護教諭の情報や意見を反映し、ともに協力して作成しているか (5)児童生徒の実態や地域社会の実態等が反映されているか (6)前年度の学校保健に関する評価の結果が生かされているか		〔評価基準〕 ◎と○が 4つ以上…A 1～3 ……B 0 ……C	

ウ 保健教育について

〔記載者名〕

評価規準	評価の観点	◎○	評価	反省・課題・提言
教科や特別活動において、保健に関する知識の理解や技能が養われるよう配慮されている	(1)保健学習が計画的、効果的に行われているか (2)各教科や道徳の学習を通して保健に関する知識の理解や技能の習得、生命尊重の態度などが育成できるよう指導計画の作成や指導の段階で十分な配慮がなされているか		◎と○が 2つ……………A 1つ……………B 0……………C	
学級活動における保健指導が効果的に行われている	(1)学級活動における保健指導の年間指導計画が立てられているか (2)指導内容が生徒や地域の実態等に即して、適切なものになっているか (3)1単位時間・短い時間の指導と学校行事、日常指導との関連が図られているか (4)指導の時間が適切に確保され、計画的に指導されているか (5)指導が、生徒の興味・関心や実践意欲を高め、思考力や判断力を育てるよう配慮されているか (6)指導に必要な教材、教具、資料が整備され、活用されているか (7)評価の結果が、指導計画や指導法の改善に生かされているか		◎と○が 4つ以上…A 1～3………B 0……………C	
学校行事等における保健指導が適切に行われている	(1)健康安全・体育的行事における保健に関する行事が、計画的かつ効果的に行われているか (2)その他の行事等において、保健に配慮して行われているか		◎と○が 2つ……………A 1つ……………B 0……………C	
生徒会活動等において、保健に配慮して行われている	(1)生徒会活動における保健に関する活動が、自発的、自主的に推進されているか (2)部活動などその他の活動は、生徒の保健に配慮して行われているか		◎と○が 2つ……………A 1つ……………B 0……………C	
学校生活における日常の保健指導が適切に行われている	(1)児童生徒の行動や気象の変化、学校や地域での疾病の発生状況等に応じた適時の指導が行われているか (2)各教科や学級活動での保健指導の実践化が図られるよう継続的な指導が行われているか		◎と○が 2つ……………A 1つ……………B 0……………C	
個別の指導計画が適切に行われている	(1)学級担任等により個別の保健指導が適切に行われているか (2)養護教諭による個別の保健指導が適切に行われているか (3)家庭との連携が図られて個別の保健指導が行われているか		◎と○が 2つ以上…A 1つ……………B 0……………C	

評価規準	評 価 の 観 点	◎○	評 価	反省・課題・提言
健康診断が適切かつ効果的に行われている	(1)全教職員が生徒の健康診断の意義を理解し、教育活動の一環として計画的、組織的に行われているか (2)児童生徒の定期健康診断の項目、対象及び方法が、法令等に基づいて行われているか (3)児童生徒の定期健康診断の事後措置が適切に行われているか (4)児童生徒の臨時健康診断及び事後措置が、必要に応じて適切に実施されているか (5)児童生徒の定期及び臨時の健康診断の結果が、保健教育に生かされているか (6)教職員の健康診断及び事後措置が適切に行われているか (7)プライバシーの保護について配慮されているか		◎と○が 4つ以上… A 1～3 …… B 0 …… C	
学校医、学校歯科医による健康相談が計画的に行われている	(1)学校保健計画に、健康相談が盛り込まれているか (2)健康相談の結果が、その後の個別の指導等に生かされているか		◎と○が 2つ…… A 1つ…… B 0 …… C	
健康相談活動が積極的に行われている	(1)学級(ホームルーム)担任等による健康相談活動が、積極的に行われているか (2)養護教諭による健康相談活動が、積極的に行われているか (3)教育相談活動との関連や他の教職員との協力・連携が図られているか (4)プライバシーの保護について配慮されているか		◎と○が 3つ以上… A 1～2 …… B 0 …… C	
学校環境衛生検査及び学校環境衛生活動等が適切に行われている	(1)定期的環境衛生検査が計画的に行われ、事後措置が適切に行われているか (2)臨時の環境衛生検査が必要に応じて行われ、事後措置が適切に行われているか (3)日常の環境衛生活動や環境美化などが、適切に行われているか (4)検査の結果の適切な記録や環境教育の実践が行われているか		◎と○が 3つ以上… A 1～2 …… B 0 …… C	

評価規準	評 価 の 観 点	◎○	評 価	反省・課題・提言
健康に問題を持つ生徒の管理が適切に行われている	(1)健康に問題を持つ児童生徒及びその対応が明らかにされているか (2)家庭及び学校医、主治医等との連携が図られているか (3)教職員の共通理解が図られ、適切な対応ができているか		◎と○が 2つ以上… A 1つ……… B 0 ………… C	
保健室の備品や薬品の管理等が適切に行われている	(1)保健室の備品の整備や管理が適切に行われ、活用できるようになっているか (2)保健室の備品の整備等に関する台帳の整備や記録が適切に行われているか (3)健康診断、応急手当て及び健康相談活動などが適切に行われるよう配慮されているか		◎と○が 2つ以上… A 1つ……… B 0 ………… C	
法令集及び学校教育法、学校保健法等の法令に基づく公表簿等が、適切に整備されているまた、必要な記録が整理されている	(1)必要な法令集等が保管され、活用できるようになっているか (2)児童生徒等の健康診断票及び歯の検査票が適切に作成・整理され、保管されているか (3)児童生徒等の進学に伴う送付や必要年限の保存が適切に行われているか (4)職員健康診断票が適切に作成され、異動に伴う送付や保存が適切に行われているか (5)学校医、学校歯科医、学校薬剤師執務記録簿が、適切に記入され、保管されているか (6)保健教育や保健管理に役立つ記録や資料が整理され、活用できるようになっているか		◎と○が 4つ以上… A 1～3 …… B 0 ………… C	

オ 学校保健の組織活動について

〔記載者名〕

評価規準	評価の観点	◎○	評価	反省・課題・提言
教職員の協力体制が確立され、活動が円滑に行われている	(1)保健主事と養護教諭が密接な連携を保って、円滑な学校保健の推進に努めているか (2)養護教諭、学級担任、教科担任等との役割分担と協力が円滑に行われているか (3)学校医、学校歯科医、学校薬剤師との円滑な連携が図られているか (4)学校保健に関する現職教育が、計画的に行われているか		◎と○が 3つ以上… A 1～2 …… B 0 …… C	
家庭やPTA等との連携が密接に図られている	(1)広報等により、学校保健に関する情報が、家庭に適切に提供されているか (2)家庭からの相談や情報が得られやすく、学校と連携した活動ができるよう工夫されているか (3)PTA等との連携による活動が推進されているか		◎と○が 2つ以上… A 1つ …… B 0 …… C	
学校保健委員会が設置され、健康に関する課題が解決されている	(1)学校保健委員会が設置され、問題解決のための活動を行っているか (2)課題解決に適した構成であり、効果的な開催や運営に努めているか (3)実際に、課題解決が図られているか		◎と○が 2つ以上… A 1つ …… B 0 …… C	
関係機関・団体など地域社会との連携が、密接に図られている	(1)保健所、市町村の保健担当部局、病院等との連携が図られているか (2)市町村の教育委員会及び学校保健関連団体等の連携が、図られているか (3)地域の保健関係行事等に、積極的に参加しているか		◎と○が 2つ以上… A 1つ …… B 0 …… C	

本書は、本会が平成14年度文部科学省補助金により実施している「学校保健センター事業」のうち下記の委員会において編集作成した。

保健主事資質向上委員会名簿

委員長	吉 田 瑩一郎	日本体育大学名誉教授
副委員長	林 眞 示	前千葉県立松尾高等学校校長（前全国学校保健主事会長）
委員	安 藤 節 子	愛知県春日井市立東部中学校養護教諭
	赤 田 信 一	静岡大学教育学部助教授（平成12年度）
	井 筒 次 郎	日本体育大学教授
	伊 村 欣 祐	東京都渋谷区本町小学校学校医
	岡 本 雄 二	大阪市立城東中学校教諭（全国学校保健主事会副会長）
	上迫田 健 二	埼玉県さいたま市立尾間木小学校校長
	小久保 昇 治	大阪体育大学教授
	小檜山 宗 浩	前福島県立盲学校教諭（平成12・13年度）
	高 橋 伸 明	福島県教育庁スポーツ健康課指導主事（平成14年度）
	齋 藤 俊 昭	元山形県教育庁保健福利課保健主幹（平成12年度）
	梶 川 英 毅	前山形県教育庁スポーツ保健課保健主幹（平成13年度）
	高 橋 藤 徳	山形県教育庁スポーツ保健課保健主幹（平成14年度）
	坂 田 つた江	岡山県立岡山操山高等学校養護教諭
	佐 藤 晴 壽	日本学校薬剤師会副会長
	成 毛 博 光	千葉市教育委員会保健体育課保健係長・指導主事
	田 邊 須美枝	横浜市教育委員会学校保健課主任指導主事
	中 間 芳 秀	千葉県立君津高等学校教諭（全国学校保健主事会理事長）
	已 野 直 之	奈良県奈良市立青和小学校教諭
	村 上 元 一	(社)日本学校歯科医会理事
	米 山 和 道	東京都文京区立千駄木小学校校長（小委員長）

なお、本書の作成に当たり、文部科学省スポーツ・青少年局体育官 戸田芳雄のほか、下記の方々から多大のご援助とご助言をいただきました。

鬼頭 英明	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育企画室健康教育調査官
田嶋八千代	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育企画室健康教育調査官
大竹 輝臣	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課専門官

学校保健活動推進マニュアル

平成15年 2 月20日 発行

発行者

財団法人 日本学校保健会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2 ― 3 ―17

虎の門 2 丁目タワー 6 階

☎03 (3501) 3785・0968

印刷所

勝美印刷株式会社

©財団法人 日本学校保健会

